

(様式第 10)

東北病医 第 159 号

平成 30 年 1

厚生労働大臣

殿

東北大学病院

八重樫 伸

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院

3 所在の場所

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号	電話(022)717-7000
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
⑤神経内科	⑥血液内科
⑨感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
	③循環器内科
	7内分泌内科
	④腎臓内科
	8代謝内科
	⑩リウマチ科
診療実績	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腎臓・内分泌内科 2 糖尿病・代謝内科 3 漢方内科 4 老年内科 5 心療内科 6 腫瘍内科 7 肝臓・胆のう・膵臓外科 8 胃腸外科 9 移植・食道・血管外科 10 乳腺・内分泌外科 11 形成外科 12 小児腫瘍外科 13 頭頸部外科 14 リハビリテーション科 15 病理診断科 16 17 18 19 20 21
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40 床	2 床	床	床	1165 床	1207床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	379人	183人	552.9人	看 護 補 助 者	105人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	93人	71人	155.6人	理 学 療 法 士	26人	臨床検査技師	117人
薬 剤 師	88人	1人	88.6人	作 業 療 法 士	8人	衛生検査技師	3人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	12人	そ の 他	0人
助 産 師	54人	1人	54.4人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1204人	15人	1212.6人	臨 床 工 学 士	30人	医療社会事業従事者	30人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	189人
歯科衛生士	10人	14人	23.7人	歯 科 技 工 士	9人	事 務 職 員	402人
管理栄養士	13人	0人	13人	診 療 放 射 線 技 師	69人	そ の 他 の 職 員	130人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	90人	眼 科 専 門 医	13人
外 科 専 門 医	88人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	16人
精 神 科 専 門 医	11人	放 射 線 科 専 門 医	27人
小 児 科 専 門 医	34人	脳 神 経 外 科 専 門 医	12人
皮 膚 科 専 門 医	13人	整 形 外 科 専 門 医	17人
泌 尿 器 科 専 門 医	8人	麻 酔 科 専 門 医	20人
産 婦 人 科 専 門 医	25人	救 急 科 専 門 医	14人
		合 計	388人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (八重樫 伸生) 任命年月日 平成27年 4月 1日

医療安全担当の副病院長を平成22年4月1日から平成24年3月31日まで担当し、医療安全推進室長も兼務しており、医療安全推進室会議の議長、医療安全推進委員会の委員としても、医療に係る安全管理の業務に従事している。
また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員長を担っており、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	935.0人	26.1人	961.1人
1日当たり平均外来患者数	2,279.3人	616.1人	2,895.4人
1日当たり平均調剤数			1,339.6剤
必要医師数			231人
必要歯科医師数			23人
必要薬剤師数			33人
必要(准)看護師数			583人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	377.08m ²	鉄筋コンクリート	病床数	18床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 366m ² [移動式の場合] 台数 0台		病床数	25床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 82m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	705m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学、免疫検査装置			
細菌検査室	334m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	417m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	106m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台			
研究室	6837m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	526m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	収容定員	460人
図書室	4476m ²	鉄筋コンクリート	室数	4室	蔵書数	41万冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	77.4%	逆紹介率	42.3%
算出根拠	A: 紹介患者の数	21, 298人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13, 214人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2, 857人		
	D: 初診の患者の数	31, 177人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療 報酬支払基金 宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律 事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
原 忠篤	東北医科薬科 大学病院		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	2人
LDLアフェレシス療法	1人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
腹腔鏡下スリーブ状胃切除及び十二指腸空腸バイパス術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
重症低血糖発作を伴うI+A44:B54インスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピュータ断層撮影による不明熱の診断(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る)	0人
初発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する照射前大量メトトレキサート療法後のテモゾロミド併用放射線治療+テモゾロミド維持療法	0人
リツキシマブ点滴静注後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る)	0人
自己心膜及び弁形成リングを用いた僧房弁置換術 僧帽弁閉鎖不全症(感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六ヶ月以上経過した患者(再手術の適応が認められる患者に限る。)に係るものに限る。)	1人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	343人
当該医療技術の概要 肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要 出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	105人
当該医療技術の概要 乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とわかれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要 内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	193人
当該医療技術の概要 早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィー	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要 肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	85人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要 新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			

医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	114人
当該医療技術の概要 テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			

医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	62人
当該医療技術の概要 食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要 胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や癍痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要 従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	93人
当該医療技術の概要 歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	523人
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(抜歯等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要 大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			

医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	74人
当該医療技術の概要 甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御の治療としては数少ない手段である。			
医療技術名	産後出血による経皮的塞栓術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 出産後の予期せぬ出血に対し開腹することなく低侵襲で経皮的、経カテーテル的に出血減となる血管を同定し塞栓する治療。			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	164人
当該医療技術の概要 急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要 血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健康な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	53人
当該医療技術の概要 緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			
医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。			
医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			

医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			
医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能のため、術後早期回復に有用である。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取・調整・保存)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植患者の再発やウイルス感染に対し、移植ドナーの血液を連続的に体外循環してリンパ球分画を採取する(骨髄バンクでは100ml/ドナー体重(kg)を処理量上限と定めている)。漸増投与を行う場合は、CD3陽性Tリンパ球をカウントして患者体重あたりの細胞数で分割し、同日投与分以外は凍結保存する。			
医療技術名	Convection-enhanced delivery (CED)による悪性脳腫瘍の治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 再発悪性脳腫瘍および外科的治療が困難な脳幹部悪性脳腫瘍に対して、定位的に挿入したカテーテルから抗癌剤を持続陽圧下に脳細胞間隙に局所注入し、高濃度かつ広範囲の薬剤分布を得る新規薬剤投与方法。高度の医療技術を要し、開発途上にある医療である。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球、あるいは自己抗体を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			
医療技術名	二重濾過プラスマフェレーシス(血漿製剤で置換)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 血漿分離器で血漿成分を分離後、原因物質を含む血漿分画を廃棄して、アルブミン製剤等で置き換える治療法。新鮮凍結血漿を用いる場合は輸血に関連する感染事故のリスクやフィブリノーゲンの減少などが生じるなど、総合的な治療管理の資源を要する治療である。対象は神経疾患、天疱瘡、膠原病の難治性病態を呈する各種の内科疾患、および外科系では肝不全が対象となっている。			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法で有り、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			

医療技術名	多系統萎縮症に対する鍼治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 多系統萎縮症は進行性であり、従来の治療を行っていても自律神経系、歩行障害、嚥下障害などが徐々に進行する。鍼治療は自律神経系、歩行障害、嚥下障害に効果があることが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療方法である。			
医療技術名	クローン病に対する鍼治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 クローン病は慢性の炎症性腸疾患であり、従来の治療を行い採血上炎症反応がコントロールされていても排便障害や腹痛、血便などがコントロールされない症例もある。鍼治療は海外の報告でこれらの症状のコントロールに効果があることが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療方法である。			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			
医療技術名	食道アカシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 食道アカシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	意識下気胸手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 呼吸不全を伴う難治性気胸に対し、全身麻酔を回避した意識下による気胸手術で、海外では報告例があるが、本邦では一般化されていない。東北大学では以前から意識下気胸手術を行っており、呼吸不全を有し内科治療無効で、全身麻酔手術不能といわれた症例に対し本手術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	顆粒球採取	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 造血幹細胞移植など高度な血球減少時期に細菌感染を併発し、抗生剤等の既存の対応では血球回復まで持ちこたえるのが困難な場合、健常な第三者にG-CSFを投与しアフレーション機器にて顆粒球を採取し、放射線照射を行ったのち患者に投与する。			
医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	57人
当該医療技術の概要 センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			
医療技術名	子宮癌に対するロボット支援下手術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 子宮頸癌または子宮体癌に対して、内視鏡手術ロボット「da Vinci」を用いて手術を行うもの。当院で高難度新規医療として申請、認可済み。			
医療技術名	腹腔鏡補助下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。			
医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術+十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少+糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。			

医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	139人
当該医療技術の概要 多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。			
医療技術名	小腸内圧検査	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に空腸内に挿入留置し、小腸の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびにバリウム透視では検出されない小腸運動異常を検出する検査である。慢性偽性腸閉塞症などの指定難病の診断に必須の検査である。			
医療技術名	大腸内圧・バロスタット検査	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 下部消化管内視鏡下に内圧カテーテルおよびバロスタットバックを下行結腸およびS状結腸内に挿入留置し、ネオスチグミン刺激および大腸拡張伸展刺激に対する運動変化および内臓知覚閾値を計測し、内視鏡ならびに大腸バリウム透視では検出されない大腸運動ならびに知覚異常を検出する検査である。慢性偽性腸閉塞症、大腸無力症、巨大結腸症などの診断を行う。			
医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	49人
当該医療技術の概要 慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			
医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	249人
当該医療技術の概要 心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO, Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	多元的情報ソースを活用して早期診断を目指した認知症診断	取扱患者数	327人
当該医療技術の概要 以下の手法を用いた高度な人的物的資源による認知症診断:①脳脊髄液中のバイオマーカー(アミロイドβ蛋白、リン酸化タウ蛋白)の定量、②脳MRIによる形態画像解析(VSRAD advance)および脳血流シンチによる脳機能画像解析(3D-SSP)と読影専門医による総合評価、③専任臨床心理士による精神心理検査。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 胃癌組織(バラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	がんゲノムシークエンス検査	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 次世代シークエンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。			
医療技術名	審査腹腔鏡および腹腔ポートを利用した膵癌腹腔洗浄液細胞診陽性症例に対する集学的治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 遠隔転移のない膵臓癌でも20-30%で腹腔洗浄細胞診(CY)が陽性となり、これらの予後は不良である。膵癌症例全例に審査腹腔鏡を行い、CY陽性症例については腹腔ポートを留置し、化学療法を行いながら腹腔ポートからの細胞診を行い、陰性化の確認を行ってから切除を行う。化学療法、化学放射線療法などと手術を組み合わせたハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 2 低位前方切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度(ステージ)が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除(根治手術)可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置(ロボット)を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。			

医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下動脈後壁支持吻合術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顕微鏡下動脈後壁支持吻合術は動脈にねじれの力をかけずに再建できる有用な手法である。これを生体部分肝移植における微小動脈再建に導入することで、動脈合併症軽減(閉塞、解離の軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	生体部分肝移植ドナー手術における小開腹ドナー肝切除法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 生体部分肝移植におけるドナーの体力的負担は非常に大きい。従来ドナー手術では安全性確保のため逆T字切開による大開腹が基本であったが、腹直筋が横断されるため術後筋力低下が指摘されていた。これは、ドナーの負担軽減と筋力低下阻止を目的として上腹部正中切開(小開腹+場合によっては腹腔鏡補助)のみでのドナー手術を施行する新しい手術法である。			
医療技術名	自家静脈を使用した遠位動脈へのバイパス手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 足関節の動脈を末梢吻合部とする自家静脈を使用したバイパス手術は閉塞性動脈硬化症や下腿複雑外傷に対する下肢救済の上で有用な手技である。豊富な経験と高度な技術を要する。			
医療技術名	ハイブリッド手術による下肢動脈血行再建	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 血管内治療と外科手術を組み合わせる開存性の高い血行再建を行う手術である。血管内治療手技と外科手術手技の両方の高い技術を要する手術手技である。			
医療技術名	植込み型補助人工心臓治療	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 深刻なドナー不足のため現在心臓移植待機期間は3年を超えている。内科的治療抵抗性の重症心不全で、心臓移植が唯一の治療手段だったとしても、待機中に亡くなってしまう患者が多い。植込み型補助人工心臓は、心臓移植までの橋渡し治療として、2011年に保険償還が下り、当院でも患者数が増えている。患者は在宅治療が可能になりQOLが向上。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腎盂尿管狭窄による先天性あるいは後天性の水腎症に対する手術である。従来は開腹あるいは腹腔鏡下での手術を行っていたが、ロボット支援手術による繊細な形成術と吻合によって良好な成績を収めている。			
医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対する ω 3系脂肪製剤投与	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、 ω 3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤は ω 6系脂肪製剤のみである。入手可能な ω 3系脂肪製剤はOMEGA VENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。			
医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	29人
当該医療技術の概要 婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の腔内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。			
医療技術名	腎癌に対する凍結凝固療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 小径腎癌に対してCTガイド下に経皮的に凍結針を刺入し、癌細胞を凍結・解凍することにより壊死を惹起し治療を行うもの。局所麻酔下で施行可能な低侵襲治療である。東北地方では東北大学病院にのみ本治療装置が導入されているため、東北で唯一の実施施設である。			
医療技術名	重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 難治性高コレステロール血症に随伴して重度蛋白尿を呈する糖尿病性腎症によるネフローゼ症候群に対し、生命及び腎予後の改善を目指してLDLアフェレシス治療を行う。LDLアフェレシスは確立された治療法であり、家族性高コレステロール血症途等に対し保険適応となっている。			

医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
<p>歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎位復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚙下機能、審美的満足度の向上がはかられる。</p>			
医療技術名	グラスファイバー補強高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
<p>コンポジットレジンブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。</p>			
医療技術名	リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
<p>リンパ浮腫に対して、1mm以下の細いリンパ管を静脈と吻合する、高度な技術を必要とする手術である。</p>			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	161
2	筋萎縮性側索硬化症	115	57	特発性拡張型心筋症	203
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	29
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	23	60	再生不良性貧血	56
6	パーキンソン病	201	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	15	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	91
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	18
11	重症筋無力症	72	66	IgA 腎症	22
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	32
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	308	68	黄色靱帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	25	69	後縦靱帯骨化症	61
15	封入体筋炎	8	70	広範脊柱管狭窄症	7
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	65
17	多系統萎縮症	44	72	下垂体性ADH分泌異常症	15
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	97	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	20	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	15
21	ミトコンドリア病	14	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	167	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	177
24	亜急性硬化性全脳炎	2	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	9	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	7
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	316
30	遠位型ミオパチー	8	85	特発性間質性肺炎	73
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	101
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	95
34	神経線維腫症	51	89	リンパ脈管筋腫症	37
35	天疱瘡	36	90	網膜色素変性症	58
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	6	93	原発性胆汁性肝硬変	90
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	8
40	高安動脈炎	94	95	自己免疫性肝炎	6
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	365
42	結節性多発動脈炎	51	97	潰瘍性大腸炎	430
43	顕微鏡的多発血管炎	24	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	24	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	8
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	14	101	腸管神経節細胞減少症	4
47	パージャー病	28	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	12	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	526	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	235	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	78	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	77	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	54	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	21	109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	20
113	筋ジストロフィー	11	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	4
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシビタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	5	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	4	208	修正大血管転位症	4
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	7
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	5	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	9	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	4	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	3	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	31	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	13
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	7	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	9	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	3
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	5	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	1	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	2	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	14
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	2
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	2
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	42
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	3
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	1
256	筋型糖原病	3	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算1、3
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)(精神病棟13対1)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・救命救急入院料3
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・看護職員夜間配置加算1(16対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)(新生児集中治療室管理料)
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1、2	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	・緩和ケア病棟入院料1
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・糖尿病合併症管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・精密触覚機能検査
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来緩和ケア管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)(造血幹細胞移植後)	・検体検査管理加算(IV)
・糖尿病透析予防指導管理料	・国際標準検査管理加算
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・遺伝カウンセリング加算
・外来放射線照射診療料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ニコチン依存症管理料	・胎児心エコー法
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト
・がん治療連携計画策定料	・ヘッドアップティルト試験
・排尿自立指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・脳波検査判断料1
・薬剤管理指導料	・神経学的検査
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料1、2	・ロービジョン検査判断料
・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料	・内服・点滴誘発試験
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・画像診断管理加算1、2
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・歯科画像診断管理加算1、2
・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝学的検査	・冠動脈CT撮影加算
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・外傷全身CT加算
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・心臓MRI撮影加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・乳房MRI撮影加算	・手術用顕微鏡加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・CAD/CAM冠
・外来化学療法加算1	・手術時歯根面レーザー応用加算
・無菌製剤処理料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・センチネルリンパ節加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・皮膚移植術(死体)
・運動器リハビリテーション料(I)	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・児童思春期精神科専門管理加算	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・認知療法・認知行動療法1	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・羊膜移植術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・口腔粘膜処置	・網膜再建術
・口腔粘膜血管腫凝固術	・人工中耳植込術
・レーザー機器加算	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・硬膜外自家血注入	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・人工腎臓	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	
・同種死体肺移植術	
・生体部分肺移植術	
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
	・腹腔鏡下肝切除術
	・生体部分肝移植術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体肝移植術
・内視鏡下筋層切開術	・体外衝撃波膵石破碎術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・磁気ナビゲーション加算	・同種死体小腸移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・同種死体腎移植術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・生体腎移植術
・補助人工心臓	・膀胱水圧拡張術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・同種心移植術	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・同種心肺移植術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

(様式第)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)(子宮頸がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・口腔病理診断管理加算2
・輸血管理料 I	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・自己生体組織接着剤作成術	・入院時食事療養(I)
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・
・麻酔管理料(I)(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	290回
剖検の状況	剖検症例数 28 例 / 剖検率 4.6 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
極早期緑内障患者の視野障害発生に対してプロスタグランジン関連薬が有する網膜血流改善効果が及ぼす影響に関する観察研究	中澤 徹	眼科	5,000,000	補 ⑤ 参天製薬株式会社
非弁膜症性心房細動患者における脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究	下川 宏明	循環器内科	24,200,000	補 ⑤ バイエル薬品株式会社
活性型レニン、アルドステロン測定試薬の開発に関する共同研究	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	1,000,000	補 ⑤ 和光純薬工業株式会社
慢性腎臓病における経口アルカリ性化剤による腎保護効果の検討	阿部 倫明	腎・高血圧・内分泌科	12,320,000	補 ⑤ 日本ケミファ株式会社
食道および胃観察におけるレーザー光源内視鏡システムの有用性に関する検討	小池 智幸	消化器内科	1,100,000	補 ⑤ 富士フイルム株式会社
緑内障早期診断及び進行検出に関する研究	中澤 徹	眼科	2,200,000	補 ⑤ 興和株式会社
X線格子干渉計(タルボ・ロー干渉計)による関節リウマチ軟骨病変の検討	石井 智徳	血液・免疫科	1,375,000	補 ⑤ コニカミノルタ株式会社
optimized response assessment or gastrointestinal stromal tumors using dual-energy CT in a trial, organized by Mannheim University, in patients undergoing targeted therapy with a TKI inhibitor	大田英揮	放射線診断科	300,000	補 ⑤ Siemens Japan k.k
偏光OCTによる眼球の繊維構造に関連した病態の評価	中澤 徹	眼科	330,000	補 ⑤ 株式会社トーマコーポレーション
13C-Glucoseを用いた糖代謝研究	片桐 秀樹	糖尿病代謝科	1,500,000	補 ⑤ 大塚製薬株式会社
希少アミノ酸の機能評価	中澤 徹	眼科	2,160,000	補 ⑤ キッコーマン株式会社
歩行解析に基づく人間-機械IF・制御技術の開発	出江 紳一	肢体不自由リハビリテーション科	1,980,000	補 ⑤ 日本電気株式会社
脳梗塞モデル動物におけるMuse細胞の有効性に関する研究	富永 悌二	脳神経外科	9,900,000	補 ⑤ 株式会社生命科学インスティテュート
マウス緑内障モデルの網膜神経節細胞障害におけるSp1の関与	中澤 徹	眼科	4,752,000	補 ⑤ 千寿製薬株式会社
隔離診察室における空気環境のモニタリングとその効果的な運用について	賀来 満夫	検査部	1,000,000	補 ⑤ アズビル株式会社
生体活性物質による眼疾患に対する作用の確認	中澤 徹	眼科	7,222,300	補 ⑤ 日本たばこ産業株式会社

電解水を応用した電解水血液透析と水素(H2)付加腹膜透析に関する研究	中山 昌明	慢性腎臓病透析治療 共同研究部門	20,000,000	補 委	株式会社日本トリム
ラットにおけるタフルプロスト持続剤単回硝子体内投与での神経保護効果の検討	中澤 徹	眼科	1,060,000	補 委	参天製薬株式会社
Rho-キナーゼ阻害剤(リパシジル塩酸塩水和物)および関連物質の癒痕化抑制作用の検討	中澤 徹	眼科	11,002,000	補 委	興和株式会社
老人性乾皮症に対する通常治療の課題抽出を目的とした症例研究	相場節也	皮膚科	8,662,500	補 委	株式会社ポーラファルマ
緑内障診療を支援する計測・評価ツールの研究開発	中澤 徹	眼科	1,100,000	補 委	株式会社トブコン
ICTを介した認知行動アプローチによる地域住民の健康増進支援研究	松本 和紀	精神科	1,140,000	補 委	NECソリューションイノベータ株式会社
利便性を提供する自動化技術に基づく新規医療機器、システム、サービス実用化に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	500,000	補 委	エムテックスマツムラ株式会社
IgG4測定試薬の多施設での評価	正宗 淳	消化器内科	200,000	補 委	国立大学法人信州大学
高齢者にも操作容易な在宅用医療機器の豊富な開発経験、および訪問看護、コールセンターによる患者フォロー体制を生かした医療現場ニーズに即した新規機器、システム、サービスの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	帝人ファーマ株式会社
膠原病患者の形質細胞様樹状細胞(pDC)およびB細胞に対するSBI-3150抗体の結合評価	石井 智徳	血液・免疫科	5,000,000	補 委	SBIバイオテック株式会社
オーディオ・ビジュアル・関連技術等を生かした医療現場ニーズに即した新規機器、システム、サービスの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社
磁気センサー技術を応用したてんかん臨床診断用脳磁計測システム・サービス実現に向けた医療現場ニーズ探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	株式会社リコー会
高分子材料技術を活かした新規医療機器開発に向けた医療現場のニーズ探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	JSR株式会社
医療機器および医療情報システムのデータ活用高度化支援サービス実現に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	500,000	補 委	株式会社日立ソリューションズ東日本
入出力・センシング・精密加工技術を応用した新規医療機器・モジュール開発に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	アルプス電気株式会社
脳機能に関する新規医療機器、システム、サービス実用化に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	フクダ電子株式会社

皮膚状態の測定・評価	菊地 克子	皮膚科	732,000	補 委	アルケア株式会社
原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリング支援システム開発	高瀬 圭	放射線診断科	3,948,000	補 委	株式会社島津製作所
「眼内炎症性疾患におけるマクロファージの病態関与」に関する解明研究	中澤 徹	眼科	6,974,220	補 委	第一三共株式会社
生体由来ガスの高精度分析システム、サービス実用化に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	株式会社富士通研究所
治療機器及び診断機器の設計技術を活かし医療現場ニーズに即した新たな治療機器、診断機器、システム、サービスの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	2,000,000	補 委	日本ゼオン株式会社
パスリーダーとトレッドミルを用いた障害者の歩行能力改善	出江 紳一	肢体不自由リハビリテーション科	2,200,000	補 委	株式会社大武・ルート工業
オーディオ・ビジュアル・関連技術等を生かした医療現場ニーズに即した新規機器、システム、サービスの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社
ドラッグリポジショニング及び生体情報モニタに基づく新規医薬品、医療機器、コンビネーションプロダクト、システム、サービス実用化に向けた医療現場ニーズ探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	大日本住友製薬株式会社
高齢者にも操作容易な在宅用医療機器の豊富な開発経験、および訪問看護、コールセンターによる患者フォロー体制を生かした医療現場ニーズに即した新規機器、システム、サービスの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	帝人ファーマ株式会社
住宅の水周り空間における高齢者の安全性配慮に関する研究	出江紳一	肢体不自由リハビリテーション科	1,009,800	補 委	TOTO株式会社
緑内障における個別化医療の実現を目的とした研究	中澤 徹	眼科	10,800,000	補 委	参天製薬株式会社
Hydro Ag+アルコールスプレー・クロスの臨床的有用性の研究	賀来 満夫	検査部	2,000,000	補 委	富士フィルム株式会社
S1P5作動薬の作用機序解明	長谷川 隆文	神経内科	2,750,000	補 委	小野薬品工業株式会社
新たなアプローチによる臨床研究	西村 壽晃	顎口腔機能治療部	100,000	補 委	東京歯科大学
利便性を提供する自動化技術に基づく新規医療機器、システム、サービス実用化に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	500,000	補 委	エムテックスマツラ株式会社
薬効群を横断した血中薬物濃度分析系の開発	眞野 成康	薬剤部	2,632,000	補 委	株式会社島津製作所
光技術に基づく新規医療機器の実用化に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,500,000	補 委	浜松ホトニクス株式会社
新規脳梗塞治療薬TMS-007の臨床開発	富永 悌二	脳神経外科	5,832,000	補 委	株式会社ティムス
磁気センサー技術を活用したかんかん臨床診断用脳磁計測システム・サービス実現に向けた医療現場ニーズ探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	株式会社リコー

SGL5213の尿毒素、腸内細菌叢及び腎機能に対する作用	阿部 高明	腎・高血圧・内分泌科	1,650,000	補 委	大正製薬株式会社
人工知能による救急傷病患者の画像診断支援システムの開発	久志本 成樹	救急科	1,155,000	補 委	株式会社ディパータ
嚥下機能回復を目的とした磁気刺激コイルの試作	出江 紳一	肢体不自由リハビリテーション科	198,000	補 委	株式会社IFG
画像診断支援AI実用化に向けた医療現場ニーズの探索	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	ウイン・パートナーズ株式会社
腎不全モデルに対するプロバイオティクスの尿毒素軽減効果	阿部 高明	腎・高血圧・内分泌科	1,100,000	補 委	ビオフェルミン製薬株式会社
X線格子干渉計(タルボ・ロー干渉計)による下肢疲労骨折の診断・治療評価の検討	森 優	整形外科	3,993,000	補 委	コニカミノルタ株式会社
CTストレイン解析による陳旧性心筋梗塞における左室壁運動異常の検出能およびMRIタギングとの検出比較試験	大田 英揮	放射線診断科	748,737	補 委	ザイオソフト株式会社
高分子材料技術を活かした新規医療機器開発に向けた医療現場のニーズ探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	JSR株式会社
機能性化学品材料に基づく新規医療機器、システム、サービス実用化に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	三洋化成工業株式会社
高機能樹脂を活用した新規メディカルデバイス開発に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	積水化学工業株式会社
創薬における探索研究	片桐 秀樹	糖尿病代謝科	500,000	補 委	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
入出力・センシング・精密加工技術を応用した新規医療機器・モジュール開発に向けた医療現場ニーズの探索(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	アルプス電気株式会社
医療現場ニーズ探索に基づく对患者・医療従事者 情報提供技術の開発(「アカデミック・サイエンス・ユニット」)	富永 悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	ユーシービージャパン株式会社
CSAplusの信頼性と妥当性の検証	出江 紳一	肢体不自由リハビリテーション科	2,475,000	補 委	株式会社コーチ・エイ
サイクロフィリンAを用いた冠動脈疾患の新規診断薬に関する研究	下川 宏明	循環器内科	110,000	補 委	住友ベークライト株式会社
治験実施体制整備支援を通じたARO機能強化に関する調査研究	池田 浩治	臨床研究推進センター	3,000,000	補 委	ミズホ株式会社
化学療法前の去勢抵抗性前立腺癌患者に対して新規ホルモン治療薬を用いた適切な治療ストラテジーを探索する研究	三塚 浩二	泌尿器科	20,000,000	補 委	アステラス製薬株式会社
子宮癌肉腫に対するdose-dense TC療法とtriweekly TC療法による術後補助化学療法、再発後化学療法を比較するランダム化第II/III相比較試験:JGOG2047試験	山口 拓洋	臨床試験データセンター	2,794,375	補 委	特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構
パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究(介入研究)	山口 拓洋	臨床試験データセンター	7,257,954	補 委	協和発酵キリン株式会社

観察研究Loop PsA “Cross-sectional observational study evaluating clinical specialty setting as determinant of management of patients with psoriatic arthritis” (関節症性乾癬患者の治療決定する診療科における横断的観察研究)	山崎 研志	皮膚科	259,200	補 ⑤委	アヅヴィ合同会社
婦人科腫瘍登録事業に関する統計処理およびデータマネジメント業務	高橋 史朗	臨床研究推進センター	1,400,000	補 ⑤委	公益社団法人日本産科婦人科学会
セレンディピターを用いた細胞検出技術の確立	富永 悌二	脳神経外科	14,190,000	補 ⑤委	国立研究開発法人科学技術振興機構
不妊・不育に関する専門的な相談及び生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	立花 眞仁	婦人科	1,416,720	補 ⑤委	宮城県
難聴に対する漢方薬の有用性の評価	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補 ⑤委	クラシエ製薬株式会社
320列エリアディテクターCT(以下320列CT)を用いた形態、機能評価に対する低侵襲画像診断法の研究	高瀬 圭	放射線診断科	1,487,800	補 ⑤委	東芝メディカルシステムズ株式会社
Varian's development of an intracranial class solution for non-coplanar beam arrangements	神宮 啓一	放射線治療科	1,731,680	補 ⑤委	Varian Medical Systems, Inc.
婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫 伸生	婦人科	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立がん研究センター
Dysferlinopathyおよび類似疾患の次世代シーケンサを用いた診断および結合蛋白に注目した病態研究	青木 正志	神経内科	1,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
治験戦略立案における業務	池田 浩治	臨床研究推進センター	2,031,500	補 ⑤委	朝日インテック株式会社
研究倫理教育に関するモデル教材・プログラムの開発	高野 忠夫	臨床研究推進センター	8,320,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
MUC4遺伝子多型とEGFR-TKIによるILD発症との相関性を検証するためのコホート内ケースコントロールスタディの施行と症例収集	井上 彰	緩和医療科	500,000	補 ⑤委	学校法人自治医科大学
薬事申請支援業務を通じたARO機能強化に関する調査研究	池田 浩治	臨床研究推進センター	2,535,000	補 ⑤委	カールストルツ・エンドスコーピー・ジャパン株式会社
バイオマーカー実用化研究	下川 宏明	循環器内科	480,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
慢性便秘薬ルビプロストンの慢性腎不全治療薬としての適応拡大を目指す臨床研究	阿部 高明	腎・高血圧・内分泌科	11,050,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多能性幹細胞(Muse細胞)による中枢神経再生療法の開発	富永 悌二	脳神経外科	70,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
RAS-MAPK シグナル異常症の症例登録と遺伝子診断に関する研究	青木 洋子	遺伝科	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
医療機器開発戦略の最適化に関する研究	鈴木 由香	臨床研究推進センター	780,000	補 ⑤委	ゲンゼ株式会社
個体・臓器老化研究拠点	片桐 秀樹	糖尿病代謝科	526,997,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

医療機器開発戦略の最適化に関する研究	鈴木 由香	臨床研究推進センター	2,600,000	補 委	ニプロ株式会社
ピペット開発試作機の評価	中澤 徹	眼科	540,000	補 委	株式会社アイカムス・ラボ
脳血管内治療における暗黙知の可視化とデジタル画像処理に基づいたカテーテル治療支援システムの開発	富永 悌二	脳神経外科	6,890,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討免疫組織的検討	渡辺 みか	病理部	10,618,000	補 委	国家公務員共済組合連合会東北公済病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺 みか	病理部	650,000	補 委	気仙沼市立病院
若年女性の心身の健康をサポートする包括的な異分野融合研究	八重樫 伸生	婦人科	8,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
チオプリン不耐例を判別するNUDT15 R139C遺伝子多型検査キットの開発を軸とした炎症性腸疾患におけるゲノム医療実用化フレームワークの確立	角田 洋一	消化器内科	60,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器の材質における薬剤との相互作用に関する研究	藤盛 啓成	医療安全推進室	2,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	青木 正志	神経内科	150,110,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の2/3相試験	青木 正志	神経内科	124,991,317	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
全県型医療情報連携ネットワークを用いた農村・離島住民の健康管理サポートの実践	中山 雅晴	メディカルITセンター	7,800,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
オミックス解析に基づく心不全発症・重症化予測マーカーの開発と心不全発症・重症化機序の解明	坂田 泰彦	循環器内科	19,760,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
住民健診・職域健診で使用可能な心房細動発症リスクスコアの開発と心房細動の再発・重症化予防戦略の確立	下川 宏明	循環器内科	15,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
乳がん治療における心臓合併症の画像診断を用いた新たなリスク因子探索と心機能評価法標準化に関する研究-Cardio-oncologyの実践	杉村 宏一郎	循環器内科	14,989,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
心房細動症例における抗血栓療法の問題点の解明とその対処法の開発に関する研究	下川 宏明	循環器内科	20,020,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
成人先天性心疾患の遠隔期合併症・問題点の解明とリスク低減への対処法開発に関する研究	建部 俊介	循環器内科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	八重樫 伸生	婦人科	11,740,170	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
代謝疾患克服のための臓器間ネットワーク機構の統合的機能解明	片桐 秀樹	糖尿病代謝科	49,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
COPD合併喘息の酸化窒素化制御による新規治療剤開発に関する研究	一ノ瀬 正和	呼吸器内科	45,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

医療機器・難病・希少疾患などに対するアカデミア主導の臨床研究	八重樫 伸生	婦人科	60,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
嚥下障害に対する包括的嚥下障害基礎訓練法の開発と有効性の検討	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	4,240,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	大内 憲明	乳腺・内分泌外科	113,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多職種協働による地域包括ロビジョンケアシステム開発に関する研究	鈴嶋 よしみ	肢体不自由リハビリテーション科	9,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
胆道閉鎖症診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	仁尾 正記	小児外科	8,190,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	齋木 佳克	心臓血管外科	8,320,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細胞内シグナル伝達異常による先天性疾患の新しい治療パスウェイ探索と治療法開発	青木 洋子	遺伝科	3,190,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
世界初・日本発ミトコンドリア病治療薬MA-5のオールジャパン臨床治験	阿部 高明	腎・高血圧・内分泌科	149,890,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	保坂 正美	整形外科	200,000	補 ⑤委	国立大学法人岡山大学
未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	呉 繁夫	小児科	59,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
B型肝炎ウイルスの感染性エンベロープ形成を阻害する治療法の開発	井上 淳	消化器内科	2,000,000	補 ⑤委	公立大学法人名古屋市立大学
高齢者誤嚥性肺炎の発症及び再発リスクとフレイル・サルコペニアの関連性の探索	岡崎 達馬	呼吸器内科	1,276,600	補 ⑤委	学校法人杏林学園 杏林大学
機械学習によるアウトカム定義の作成・評価手法の確立、複数拠点におけるアウトカム定義の作成・評価基準の確立	中山 雅晴	メディカルITセンター	7,000,000	補 ⑤委	独立行政法人医薬品医療機器総合機構
希少・難治小児脳幹部神経腫瘍に対する塩酸ニムスチン局所投薬による新規治療法開発:多施設共同医師主導治験	富永 悌二	脳神経外科	71,318,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
JCOG1408の患者登録	神宮 啓一	放射線治療科	975,000	補 ⑤委	国立大学法人広島大学
リンパ脈管筋腫症に対するラパマイシン長期内服の効果と安全性評価のためのコホート調査	玉田 勉	呼吸器内科	500,000	補 ⑤委	国立大学法人新潟大学
新生児マスキング対象疾患等の診療に直結するエビデンス創出研究	坂本 修	小児科	390,000	補 ⑤委	国立大学法人岐阜大学
自己心膜製ステントレス僧帽弁置換術の安全性と効果に関する研究	齋木 佳克	心臓血管外科	741,000	補 ⑤委	公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属榑原記念病院
大量出血を伴う外傷に対する適切な輸血、血液製剤使用法の検討	久志本 成樹	救急科	130,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター

臓器移植後成績向上のための、 脳死臓器提供におけるドナー評 価・管理システム	齋木 佳克	心臓血管外科	250,900	補 委	国立研究開発 法人国立循環 器病研究セン ター
小児・周産期領域難治性疾患の ゲノム・エピゲノム・トランスクリプ トーム・メタゲノム・グライコーム解 析	呉 繁夫	小児科	7,999,999	補 委	国立研究開発 法人国立成育 医療研究セン ター
境界型リンパ管疾患の診断基準 の策定	青木 洋子	遺伝科	520,000	補 委	国立研究開発 法人国立成育 医療研究セン ター
リンパ節転移リスクを有する子宮 体癌に対する標準的リンパ節郭 清確立のための多施設共同臨 床試験	徳永 英樹	婦人科	260,000	補 委	国立大学法人 北海道大学
①冠動脈ハイリスクブランク診断法 の予測精度を検証する多施設共 同前向き観察研究の画像診断、③ PMRの自動測定のための quantitative HIP analysis software (q-HIP)の開発と検証	高瀬 圭	放射線診断科	1,500,001	補 委	国立研究開発 法人国立循環 器病研究セン ター
脳卒中を含む循環器病対策の 評価指標に基づく急性期医療体 制の構築に関する研究	富永 悌二	脳神経外科	416,000	補 委	国立大学法人 九州大学
宮城県におけるユースメンタル ヘルスの包括的な地域連携モデ ルの構築	松本 和紀	精神科	1,000,000	補 委	学校法人東邦 大学
進行上顎洞癌に対する超選択 的動注化学療法を併用した放射 線治療による新規治療法開発に 関する研究	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	520,000	補 委	国立大学法人 北海道大学
自閉スペクトラム症中核症状に 対する初の治療薬実用化のため の医師主導多施設治験	本多 奈美	精神科	450,000	補 委	国立大学法人 浜松医科大学
早期子宮頸がんに対する機能温 存低侵襲手術の確立に関する研 究	新倉 仁	婦人科	1,499,999	補 委	東京都立墨東 病院
60歳以上の高齢発症もやもや病 に関する多施設共同研究 (MODEST)	富永 悌二	脳神経外科	500,000	補 委	国立大学法人 北海道大学
未治療低腫瘍量進行期濾胞性リ ンパ腫に対するリツキシマブ早期 介入に関するランダム化比較第 Ⅲ相試験:JCOG1411	福原 規子	血液・免疫科	1,950,000	補 委	国立大学法人 山形大学
縦断的データベースの臨床効果 データベースによる循環器疾患 データベース構築に関する研究	中山 雅晴	メディカルITセンター	1,000,000	補 委	国立研究開発 法人国立循環 器病研究セン ター
症例の探索、治験の分担国際臨 床研究用(原発性中性脂肪蓄積 心筋血管症対象)中鎖脂肪酸カ プセル開発	杉村 宏一郎	循環器内科	300,001	補 委	国立大学法人 大阪大学
分子標的治療薬によるご瘡様皮 膚炎に対する標準的ケア方法の 確立に関する研究	菊地 克子	皮膚科	1,131,000	補 委	国立研究開発 法人国立がん 研究センター
筋萎縮性側索硬化症患者の疾 患登録システムの構築と施設登 録体制の整備	青木 正志	神経内科	500,000	補 委	国立大学法人 名古屋大学
研究規制環境の変化に対応した 新たな研究倫理支援体制の構 築に関する研究	高野 忠夫	臨床研究推進セン ター	1,499,999	補 委	国立研究開発 法人国立がん 研究センター
慢性血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH) に対する balloon pulmonary angioplasty(BPA)の有効性と安全性に 関する多施設レジストリー研究	下川 宏明	循環器内科	100,000	補 委	国立研究開発 法人国立循環 器病研究セン ター
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治 療の対象拡大のための非ランダ ム化検証的試験	新倉 仁	婦人科	1,000,000	補 委	国立大学法人 筑波大学

自閉症スペクトラム障害に対する新規治療薬の開発	呉 繁夫	小児科	56,174,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
認知症に対する経頭蓋超音波治療装置の開発	下川 宏明	循環器内科	71,008,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医薬品開発等における安全性向上のため、医薬関係者からの副作用等情報の活用方策に関する研究	眞野 成康	薬剤部	4,940,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
耳鳴診療ガイドラインの開発に関する研究	川瀬 哲明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	403,000	補 委	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺癌のEGFR阻害薬耐性をポリノスタット併用で克服する研究(PEOPLE-J:症例登録、VICTORY-J:症例登録と治療および治験責任医師)	井上 彰	緩和医療科	300,000	補 委	国立大学法人金沢大学
希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究	青木 正志	神経内科	520,000	補 委	独立行政法人国立病院機構新潟病院
プリオン蛋白質の伝播阻害による治療法開発	長谷川 隆文	神経内科	3,120,000	補 委	国立大学法人大阪大学
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	下川 宏明	循環器内科	200,000	補 委	国立大学法人九州大学
Adenosine Deaminase 2 (ADA2)欠損症の病態解明と治療薬開発の基盤構築	笹原 洋二	小児科	1,300,000	補 委	国立大学法人京都大学
神経疾患特異的iPS細胞を活用した病態解明と新規治療法の創出を目指した研究	青木 正志	神経内科	5,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
認知症対応型共同生活介護施設における施設職員の配薬業務軽減のための配薬支援装置と運用方法の開発	鈴木 亮二	臨床研究推進センター	2,457,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
各電子カルテメーカーからの診療情報の取り込み形式の統一、取り込み内容の決定	中澤 徹	眼科	1,961,107	補 委	国立大学法人筑波大学
臨床医療における数理モデリングの新たな展開	植田 琢也	放射線診断科	1,170,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
脳神経外科学分野に関する学術研究動向	中里 信和	てんかん科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成	下川宏明	臨床研究推進センター	283,290,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
国産医療機器創出促進基盤整備等事業	八重樫 伸生	臨床研究推進センター	18,710,252	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	下川 宏明	臨床研究推進センター	171,000,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業	八重樫 伸生	臨床研究推進センター	37,000,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構

StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	海野(大沼)	肝・胆・脾外科	¥32,400	補 委	財団法人がん集学的治療研究財団
Borderline resectable膵癌に対する術前治療としてのGemcitabine+S-1(GS)化学放射線療法第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	山口拓洋	肝・胆・脾外科	¥640,000	補 委	膵癌術前治療研究会
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究)	高橋潤	循環器内科	¥70,200	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
J-DREAMS=ホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	片桐秀樹	糖尿病代謝科	¥300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
医療情報データベースに保存された医療情報の実践的な活用のためのデータ検証(バリデーション)業務	中山雅晴	メディカルITセンター	¥11,172,000	補 委	独立行政法人医薬品医療機器総合機構
医療・救護活動等の非常用通信システムの適正な利用にかかる人的能力強化に関する調査検討の請負	石井正	総合地域医療教育支援部	¥3,427,380	補 委	公益財団法人日本無線協会
プレクリニカル期におけるアルツハイマー病に対する客観的画像診断・評価法の確立を目指す臨床研究	富田尚希	老年科	¥80,686	補 委	大阪市立大学
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究	新倉 仁	婦人科	¥156,000	補 委	財団法人国際科学振興財団
高度視野狭窄患者の視野障害が自動車運転能力に与える危険性の評価と運転支援	国松 志保	眼科	600,000	補 委	日本学術振興会
緑内障の客観的早期診断法の開発に向けて～脳MRIはバイオマーカーとなり得るか？	舘脇 康子	加齢核医学科	500,000	補 委	日本学術振興会
シリコンフォトマル薄型PEMを用いた乳房温存ナビゲーション手術の確立	渡部 剛	乳腺・内分泌外科	3,200,000	補 委	日本学術振興会
結晶構造解析を用いた、HIV-1のEFdA耐性獲得機序の解明	林 宏典	検査部	1,500,000	補 委	日本学術振興会
腱板断裂術後における肩関節運動量及び筋活動量を指標とした評価法の開発	村木 孝行	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	700,000	補 委	日本学術振興会
心臓と骨の連関から考える運動療法による慢性心不全・骨粗鬆症の革新的治療戦略	松本 泰治	循環器内科	500,000	補 委	日本学術振興会
乳歯および永久歯における必須微量元素の分布と子どもの健康背景	猪狩 和子	障害者歯科治療部	1,100,000	補 委	日本学術振興会

TP53 signatureの診断キット開発と検証のための後ろ向き観察研究	高橋 信	腫瘍内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
腎周皮細胞と腎臓病コホートサンプルを用いた腎線維化抑制治療の探索	山本 多恵	腎・高血圧・内分泌科	800,000	補委	日本学術振興会
ミトコンドリア品質管理機構から見た薬物の副作用・ミトコンドリア機能障害分子機構	野村 亮介	高度救命救急センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
長期的な前向きリンパ腫コホート研究の確立に基づく難治性リンパ腫の臨床病理学的研究	一迫 玲	造血器病理学寄附研究部門	1,100,000	補委	日本学術振興会
B型肝炎ウイルスの生活環に利用される小胞輸送経路の解明とその治療応用	井上 淳	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
非手術適応慢性血栓性肺高血圧症に対する新しい診断・治療・評価法の確立	杉村 宏一郎	循環器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
活性化内皮特異的エクソソーム解析によるCOPD病態マーカーの開発	山田 充啓	呼吸器内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
気道粘液線毛輸送の攪乱因子となる肺microbiome由来抗原の同定とその制御	玉田 勉	呼吸器内科	700,000	補委	日本学術振興会
肝臓でのmTOR制御シグナルのメタボリックシンドロームに及ぼす役割の解明	宇野 健司	糖尿病代謝科	1,100,000	補委	日本学術振興会
赤血球特異的ノックダウン法による貧血モデルマウスの作製	藤原 亨	血液・免疫科	1,100,000	補委	日本学術振興会
骨髄微小環境の老化は多発性骨髄腫の治療標的になりうる:細胞老化と個体老化の接点	兼平 雅彦	呼吸器外科	700,000	補委	日本学術振興会
乾癬患者におけるTNF α アンタゴニスト二次無効のメカニズム解析	木村 裕	皮膚科	1,100,000	補委	日本学術振興会
乳房拡散強調画像推奨プロトコール作成とADC値標準化に関する研究	前川 由依	放射線診断科	800,000	補委	日本学術振興会
新規パルスジェットメスを用いた内視鏡下肝臓手術の開発	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
5-FUによる効果・有害事象を規定する薬理遺伝学的バイオマーカーの同定と機能解析	大沼 忍	胃腸外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
膵・消化管神経内分泌腫瘍の転移機構の解明	水間 正道	肝・胆・膵外科	900,000	補委	日本学術振興会
低弾性チタン人工股関節モデルでの応力遮蔽抑制効果の検討	森 優	整形外科	500,000	補委	日本学術振興会
高周波超音波および光音響特性を利用した軟部肉腫の術中イメージング法の確立	綿貫 宗則	整形外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
日本人前立腺癌患者に対するホルモン療法の有害事象の検証と対策	三塚 浩二	泌尿器科	800,000	補委	日本学術振興会

新規パルスジェットメスによる無阻血腎部分切除術の開発	山下 慎一	泌尿器科	900,000	補委	日本学術振興会
子宮内膜癌における筋層浸潤と局所免疫反応の解析	徳永 英樹	婦人科	1,400,000	補委	日本学術振興会
オーダーメイド歯髄選択血流計を試作し、血流検出に基づく新しい歯髄診断法を確立する	井川 資英	歯周病科	600,000	補委	日本学術振興会
義歯床用材料に着目した顎堤吸収の分子機構探索	奥山 弥生	咬合修復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
歯列接触癖を有する患者の表情筋活動、咀嚼筋活動および顔貌との関連に関する検討	塙 総司	咬合回復科	900,000	補委	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症における骨吸収メカニズムの解明に向けたRunx2の機能解析	福永 智広	矯正歯科	1,000,000	補委	日本学術振興会
13番染色体異常による硬組織への影響	齋藤 幹	小児歯科	1,000,000	補委	日本学術振興会
食道癌発現促進因子としての口腔細菌叢機能の網羅的解析	丹田 奈緒子	予防歯科	700,000	補委	日本学術振興会
ARDSにおける内皮微小粒子の役割	齋藤 浩二	麻酔科(集中治療部)	800,000	補委	日本学術振興会
前転移状態リンパ節のニッチ形成をとらえた高周波超音波画像診断システムの開発	阪本 真弥	口腔診断科	900,000	補委	日本学術振興会
振動性脳刺激を用いた他者間脳シンクロによる教育学習とリハビリ効果促進法の開発	竹内 直行	肢体不自由リハビリテーション科	500,000	補委	日本学術振興会
末梢動脈疾患患者における歩容変化の機序解明と新たな治療介入への応用	柿花 隆昭	リハビリテーション部	700,000	補委	日本学術振興会
呼吸・循環障害を合併した高度肥満症への包括的リハビリテーションの有効性の確立	高橋 珠緒	内部障害リハビリテーション科	700,000	補委	日本学術振興会
弾性力を利用した剛性調整型足関節装具と股関節装具による片麻痺患者の歩行再建	関口 雄介	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	300,000	補委	日本学術振興会
統合失調症に対する認知行動療法の実践的指導体制の確立と日本での実施可能性の検討	砂川 恵美	精神科	1,100,000	補委	日本学術振興会
遠隔ネットワークを用いた医学生に対する症例報告執筆プログラムの確立	柿坂 庸介	てんかん科	400,000	補委	日本学術振興会
子宮頸がんに対する外部照射と腔内照射の高精度な積算線量評価システムの開発	角谷 倫之	放射線治療科	1,100,000	補委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎術後の回腸嚢炎における内因性抗菌タンパクの病態関与と治療応用の研究	渡辺 和宏	胃腸外科	900,000	補委	日本学術振興会
マウス受精卵における受精卵呼吸量測定装置を用いた呼吸量測定の安全性の検討	志賀 尚美	婦人科	900,000	補委	日本学術振興会

次世代シークエンサー、マイクロアレイを用いた頭頸部多段階発がん機構の解明	中目 亜矢子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	600,000	補委	日本学術振興会
バイオフィルム代謝活性評価と表面腐食評価によるチタンの生物学的腐食モデルの構築	福島 梓	咬合回復科	900,000	補委	日本学術振興会
咀嚼機能の向上は代謝性疾患治療の基盤となる	土谷 忍	顎口腔機能治療部	700,000	補委	日本学術振興会
妊婦および小児におけるインフルエンザワクチンの有効性・安全性評価	小原 拓	薬剤部	1,200,000	補委	日本学術振興会
長期的有酸素運動の抗加齢効果とその機序の解明および高齢化社会問題解決策の検討模索	伊藤 大亮	総合地域医療教育支援部	1,300,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病における代謝性アンダーシスの治療介入がもたらす腎保護機序の解明	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	600,000	補委	日本学術振興会
胃において自然免疫が粘膜の老化・発癌を制御する機序の解明	浅野 直喜	消化器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
門脈血代謝産物一斉解析による非アルコール性脂肪性肝炎と肝小胞体ストレスの関係解明	嘉数 英二	消化器内科	500,000	補委	日本学術振興会
難治性冠攣縮性狭心症患者における冠微小循環障害バイオマーカーに関する検討	高橋 潤	循環器内科	800,000	補委	日本学術振興会
マルチバイオマーカーによる慢性循環不全患者の多臓器障害連関の病態解明	建部 俊介	循環器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
血管機能検査による内腸骨動脈塞栓に伴う腎筋跛行の予測	赤松 大二朗	移植・再建・内視鏡外科	700,000	補委	日本学術振興会
COPD病態における自然リンパ球の関与およびその制御機構の解明	小荒井 晃	呼吸器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
ミネラルコルチコイド受容体コリプレッサーを標的にした糖尿病性腎症治療薬の創薬	工藤 正孝	腎・高血圧・内分泌科	1,200,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患の肝臓におけるインスリンシグナル関連遺伝子発現の解析	澤田 正二郎	糖尿病代謝科	1,100,000	補委	日本学術振興会
転写因子GATA-2による造血微小環境の維持機構の解明	沖津 庸子	血液・免疫科	1,400,000	補委	日本学術振興会
ミトコンドリア関連新規髄鞘化障害遺伝子の機能解析	植松 貢	小児科	1,100,000	補委	日本学術振興会
毛様細胞性星細胞腫微小残存病変の検出と臨床応用	渡辺 祐子	小児科	700,000	補委	日本学術振興会
ABCA3変異を有する2型肺胞上皮細胞前駆細胞を用いた肺胞修復薬剤の探索	大田 千晴	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会
ヒツジ胎仔の長期哺育によるポンプレス人工胎盤システムの安全性評価	渡邊 真平	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補委	日本学術振興会

妊娠中期に動脈管の血管リモデリングを促進させる因子の解明	齋藤 昌利	産科・婦人科	1,200,000	補委	日本学術振興会
腫瘍随伴性マクロファージをターゲットとした悪性黒色腫新規免疫療法の開発	藤村 卓	皮膚科	1,400,000	補委	日本学術振興会
簡便な認知機能評価による早期精神病の転帰予測研究	大室 則幸	精神科	1,000,000	補委	日本学術振興会
形態・機能画像と数値流体力学による慢性血栓性肺高血圧症の肺血流解析	大田 英揮	放射線診断科	500,000	補委	日本学術振興会
副腎静脈サンプリング技術を応用した原発性アルドステロン症の低侵襲的治療法の開発	清治 和将	放射線診断科	1,200,000	補委	日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応の病態解明とIL-17を介した新規治療法の開発	松田 安史	呼吸器外科	1,700,000	補委	日本学術振興会
スタンフォードB型解離の大動脈径拡大のメカニズムの解析と予測方法の開発	吉岡 一朗	心臓血管外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
音響性リゾソームと超音波による血管新生療法の開発と最適な治療部位の解明	高地 崇	形成外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
経口放射性薬剤による乳癌胸の重症度・胸管損傷部位の非侵襲的診断法の確立	高浪 健太郎	放射線診断科	800,000	補委	日本学術振興会
整形外科術後感染症早期診断に向けた手術侵襲による全身性炎症反応の病態解明	小坏 知明	整形外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
DNAメチル化を介した軟骨基質破壊機構の解明	橋本 功	整形外科	400,000	補委	日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スキンスのトランスクリプトーム解析によるPONVの機序解明	杉野 繁一	手術部	1,200,000	補委	日本学術振興会
胎児心電図装置を応用した胎児脳機能発達異常検出法の開発	西郡 秀和	産科・婦人科	1,100,000	補委	日本学術振興会
パルスジェットメスによる精度の高い腹腔鏡下神経温存広汎子宮全摘出術の開発	岡本 聡	産科・婦人科	1,100,000	補委	日本学術振興会
神経線維腫症II型に対する蝸牛温存型低侵襲水中内視鏡下経迷路法の確立に関する研究	山内 大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による頭頸部非扁平上皮癌の新規ターゲット分子解析	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
ウェアラブル機器を用いた妊婦の身体活動の可視化による活動パターンと評価指標の検討	伊藤 直子	医・保健学科ウイメンズヘルス看護学分野 中村 康香助教(東6階病棟)	1,300,000	補委	日本学術振興会
新しいドナー肺保存法CVLPの開発	野田 雅史	呼吸器外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
Liquid Biopsy臨床応用に向けた循環腫瘍細胞と循環腫瘍DNAの統合解析	八重樫 伸生	産科・婦人科	1,500,000	補委	日本学術振興会

口腔癌リンパ節転移に対する抗癌剤封入ナノ粒子のリンパ行性投与による治療法の開発	森 士朗	歯学研究科内 医工学研究科腫瘍医工学分野 小玉研究室 (歯科顎口腔外科)	1,300,000	補委	日本学術振興会
精神病発症リスク状態に対するメタ認知トレーニングの実施可能性と有効性の検討	濱家 由美子	精神科	900,000	補委	日本学術振興会
日本人の散発性大腸癌発生におけるMUTYH遺伝子変異の意義の解明と臨床応用	小峰 啓吾	腫瘍内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
12誘導心電図伝送システムが急性心筋梗塞診療に及ぼす影響に関する研究	羽尾 清貴	循環器内科	500,000	補委	日本学術振興会
「腸-腎連関」から導く腎臓病の病態解明と新規治療法の開発	三島 英換	腎・高血圧・内分泌科	1,300,000	補委	日本学術振興会
炎症性中枢神経疾患の病態に基づいた脳脊髄液中診断・予後推測因子の確立	西山 修平	神経内科	800,000	補委	日本学術振興会
ミトコンドリア遺伝子発現不全に伴う新たな髄鞘化障害疾患概念の提唱	市野井 那津子	小児科	800,000	補委	日本学術振興会
膵癌神経周囲浸潤におけるFbxw7/Notch1/ケモカインによる制御機構の解明	益田 邦洋	肝・胆・膵外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
膵癌新規予後規定因子SLP-2の機能解析-抗癌剤感受性予測因子としての検証-	有明 恭平	肝・胆・膵外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
胆道癌移植モデルを用いた脱ユビキチン化酵素の機能解析と新規薬物療法の開発	石田 晶玄	肝胆膵外科	700,000	補委	日本学術振興会
二次性大動脈食道瘻の病因解明と早期診断システムの構築	早津 幸弘	心臓血管外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
Nr2誘導剤による放射線粘膜炎の緩和効果の検討	大越 明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
酸化ストレスからアプローチした緑内障治療	檜森 紀子	眼科	1,200,000	補委	日本学術振興会
緑内障臨床応用を見据えた網膜・眼表面におけるRho kinase阻害薬の作用解明	横山 悠	眼科	1,000,000	補委	日本学術振興会
血管新生を誘導する新しい高骨親和性生分解マグネシウム合金の開発	梅山 広勝	形成外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
浮遊培養による純化間葉系幹細胞スフェアを用いた顎骨組織再生技術の確立	新部 邦透	咬合修復科	1,600,000	補委	日本学術振興会
OCP/CollagenとMSCの複合体による顎骨再建法の確立	川井 忠	歯科顎口腔外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収におけるADAMTS4発現に対する高分子量ヒアルロン酸の効果	片岡 良浩	歯科顎口腔外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
歯科用インプラントのチタン表面処理による骨形成促進と機能安定性に関する基礎研究	井田 裕人	矯正歯科	1,500,000	補委	日本学術振興会

機械的刺激下の骨リモデリングにおける骨細胞のアポトーシスとp53,CCN2の関与	高野 郁子	矯正歯科	1,800,000	補委	日本学術振興会
脂肪酸受容体GPR120の破骨細胞形成および矯正学的歯の移動に対する影響の検討	木村 桂介	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症の歯の移動遅延解明を目的としたRunx2ストレス応答機構解析	坂東 加南	矯正歯科	1,500,000	補委	日本学術振興会
体液中脂質プロファイルの効率的解析に基づくニューマンピック病C型新規診断法の構築	前川 正充	薬剤部	1,500,000	補委	日本学術振興会
切削用医療機器に固着するヒト由来組織の安全な除染法と自動化に関する研究	金澤 悦子	材料部	2,400,000	補委	日本学術振興会
語性失読の障害機序の解明と、それに基づいた訓練手技の開発に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部門	500,000	補委	日本学術振興会
低悪性度神経膠腫症例における言語機能再編の解明と言語療法の確立	飯塚 統	高次脳機能障害科(リハビリテーション部)	1,400,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による神経栄養因子発現と二次損傷抑制	菅野 晴夫	整形外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
甲状腺未分化癌に対する新規治療法および治療薬の開発	西條 憲	腫瘍内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
抗CCP抗体産生B細胞レパトア解析による新規関節リウマチモニタリング方法の開発	石井 智徳	血液・免疫科(臨床研究推進センター)	1,800,000	補委	日本学術振興会
認知行動療法が心身症患者の自己評価機能に及ぼす効果の脳画像による検証	佐藤 康弘	心療内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
原因不明の消化器症状と食思不振患者における脳-消化管神経機能の類似性の検討	庄司 知隆	心療内科	900,000	補委	日本学術振興会
高齢患者むけ自記式調査票のユニバーサルデザイン化を実現するための研究	富田 尚希	加齢・老年病科	1,900,000	補委	日本学術振興会
食道ESD後難治性狭窄に対する自家細胞移植を用いた狭窄予防効果に関する研究	櫻井 直	移植・再建・内視鏡外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
α シヌクレインを介するヒストン修飾機構の解明	菅野 直人	神経内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
生体内分化誘導によるALS神経再生戦略の開発	割田 仁	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
肝臓-膵 β 細胞間神経ネットワークによる膵 β 細胞増殖制御分子機構の解明	今井 淳太	糖尿病代謝科	1,900,000	補委	日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症における2型自然リンパ球の役割	城田 祐子	血液・免疫科	1,800,000	補委	日本学術振興会
病因特異的治療の可能性を秘めた新規コレステロール合成経路代謝異常症の疾患概念確立	菊池 敦生	小児科	1,400,000	補委	日本学術振興会

胎生期のsubplate neuron損傷が脳の成長発達に与える影響の解析	埴田 卓志	(小児科)周産母子センター	1,200,000	補委	日本学術振興会
表皮内鉄代謝と炎症性皮膚疾患	浅野 雅之	皮膚科	2,400,000	補委	日本学術振興会
口腔癌の顎骨浸潤と浮腫・炎症の鑑別に有効な客観的画像診断指標の確立	村田 隆紀	放射線診断科	1,700,000	補委	日本学術振興会
マージナルドナー肝移植とMuse細胞移植を融合した新たな末期肝不全治療法の開発	宮城 重人	移植・再建・内視鏡外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
代謝手術のNASH改善効果 酸化ストレスからみた空置空腸の意義	田中 直樹	胃腸外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
緑色蛍光タンパク質結合一本鎖人工抗体を用いた癌可視化システムの構築および臨床応用	林 洋毅	肝・胆・膵外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
膵インスリノーマにおけるプロゲステロン受容体発現意義の解明	青木 豪	肝・胆・膵外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
心筋炎における新たな細胞治療	高橋 悟朗	心臓血管外科	2,200,000	補委	日本学術振興会
ナノバブル発生技術を用いた脊髄液酸化による対麻痺への新たな治療法の探求	秋山 正年	心臓血管外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
動脈瘤壁の治療と穿通枝温存を両立する紡錘状動脈瘤治療用ステントの開発	遠藤 英徳	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
日本人ゲノム解析ツールによる股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の探索	千葉 大介	整形外科	2,100,000	補委	日本学術振興会
麻酔薬によるKv1.3チャンネルを介した免疫抑制作用の機序解明と予後改善戦略	外山 裕章	麻酔科	800,000	補委	日本学術振興会
骨盤内臓器神経クロストークの病態解明と難治性骨盤痛症候群における新規治療法の開発	川守田 直樹	泌尿器科	1,300,000	補委	日本学術振興会
子宮頸部非扁平上皮癌に対する新たな治療法確立の試み	島田 宗昭	婦人科	1,100,000	補委	日本学術振興会
ハイドロゲル埋め込み電極を用いた治療的電気刺激による嚥下障害治療モデルの開発	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
マイクロ波ドライプロセスによる歯科インプラントアバットメントのTiN表面改質	伊藤 彩	咬合回復科	1,500,000	補委	日本学術振興会
経年的CTデータ分析に基づく顎骨リモデリングFEAの開発	重光 竜二	咬合回復科	1,900,000	補委	日本学術振興会
頭頸部腫瘍切除に伴う下顎骨付着筋の切断が及ぼす下顎位偏位、歯列変形への影響	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療部	1,500,000	補委	日本学術振興会
Hif1 α の役割解明に基づくiPS細胞由来歯性上皮細胞への新規分化誘導方法の確立	吉田 倫子	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会

矯正歯の移動時における振動刺激の骨リモデリング亢進に対するTGF β の機能解析	佐々木 紀代	矯正歯科	1,500,000	補委	日本学術振興会
γ δ T細胞が制御する骨代謝機構の解明と骨破壊性疾患分子標的薬の可能性の検討	西村 寿晃	顎口腔機能治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
主観的評価による臨床評価手法の最適化に基づく革新的医療機器開発促進のための研究	保坂 実樹	臨床研究推進センター	1,400,000	補委	日本学術振興会
心臓リハビリテーションにおける肺高血圧症の新たな非侵襲的重症度評価法の開発	秋月 三奈	リハビリテーション部門	800,000	補委	日本学術振興会
腱板修復術後患者の修復腱板に加わる張力の定量的評価法の開発	石川 博明	リハビリテーション部門	1,300,000	補委	日本学術振興会
T細胞,B細胞受容体レバトア解析新技术を用いた乳癌治療効果予測モデルの開発	宮下 穰	乳腺・内分泌外科	2,300,000	補委	日本学術振興会
左室駆出率が保たれた心不全の日米比較	後岡 広太郎	臨床研究推進センター	1,400,000	補委	日本学術振興会
食道・胃上皮内アセトアルデヒド濃度測定とL-システイン製剤による発癌抑制への試み	八田 和久	消化器内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
微小血管狭心症の病態機序における内皮由来過分極因子の重要性の解明	白戸 崇	臨床研究推進センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
筋疾患の封入体形成に共通する病態基盤の解明と治療的分子の探索	井泉 瑠美子	神経内科	900,000	補委	日本学術振興会
中枢性炎症性脱髄疾患における虚血性組織障害の関与とその治療応用	高井 良樹	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
MYC陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫における免疫監視機構分子発現の意義	市川 聡	血液・免疫科	1,700,000	補委	日本学術振興会
ターゲットシーケンス法による全前脳胞症の遺伝学的診断基盤の確立	阿部 裕	小児科	1,500,000	補委	日本学術振興会
Pelizaeus-Merzbacher病治療薬の簡便なスクリーニング法の開発	植松 有里佳(沼田)	小児科	1,600,000	補委	日本学術振興会
ポンプレス人工胎盤システムの開発: 人工羊水に対する濾過殺菌法の検討	佐藤 信一	小児科(周産母子センター)	1,000,000	補委	日本学術振興会
尋常性白斑の治療への応用をモデルとしたMuse細胞再生医療応用可能性の検討	土山 健一郎	皮膚科	1,500,000	補委	日本学術振興会
神経膠腫の術前画像診断のためのT1rho MRIの撮像法と評価法の確立	明石 敏昭	放射線診断科	2,100,000	補委	日本学術振興会
Metomidateを使った原発性アルドステロン症の新たな診断法の確立	外山 由貴	放射線診断科	1,700,000	補委	日本学術振興会
補体結合性抗HLA抗体とIgGサブクラスの臓器移植後慢性拒絶反応における役割	戸子台 和哲	移植・再建・内視鏡外科	1,200,000	補委	日本学術振興会

てんかんモニタリング入院精査の心理社会的介入効果の実証:術前多施設コホート研究	藤川 真由	てんかん科	1,100,000	補委	日本学術振興会
新規低弾性チタン合金であるTi-Nb-Sn合金を用いた骨折治療インプラントの開発	上村 雅之	整形外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
腱板断裂に対する肩関節再建手術後の筋活動評価ー新たな定量的解析の試みー	八田 卓久	整形外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
患者皮膚から誘導する神経膠様細胞を用いた難治性疼痛に対する移植治療	村上 徹	麻酔科	1,000,000	補委	日本学術振興会
子宮内膜症への網羅的TCRレパートリー解析の導入;新規子宮内膜症治療戦略に向けて	渡邊 善	婦人科	1,100,000	補委	日本学術振興会
MRI構造解析と安静時機能的結合解析による聴覚過敏の発生機序解明と治療戦略構築	高梨 芳崇	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補委	日本学術振興会
マウス緑内障モデル動物の網膜神経節細胞死における転写因子Sp1の関与	津田 聡	眼科	1,300,000	補委	日本学術振興会
骨形成能を有する生体吸収性マグネシウム合金の可能性ー骨代謝に与える影響の検討ー	三浦 千絵子	形成外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
インフラマソームを標的とした低出力超音波パルスを用いた新規歯内治療の基盤構築	須藤 瑞樹	歯周病科	900,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞のNotchシグナル制御を基盤とした顎骨再生の試み	鎌野 優弥	咬合修復科	1,500,000	補委	日本学術振興会
非侵襲的脳機能イメージング法を用いた歯根膜感覚受容変化メカニズムの解明	日原 大貴	咬合回復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
Scleraxisによる歯根膜間葉系幹細胞の分化制御の解明と歯周組織再生への応用	川津 正慶	矯正歯科	800,000	補委	日本学術振興会
アクチン結合蛋白質の歯胚形成における役割の解析	日野 綾子(宮本綾子)	小児歯科	1,100,000	補委	日本学術振興会
ナノアパタイトと低出力超音波パルスを基軸とした新規歯周組織再生療法の基盤構築	向阪 幸彦	歯周病科	1,300,000	補委	日本学術振興会
失語症患者のためのQOL評価尺度の開発とQOL予測アルゴリズムの作成	成田 渉	高次脳機能障害科	900,000	補委	日本学術振興会
妊娠期における男性の肯定感尺度の開発と検証	武石 陽子	医・保健学科ウィメンズヘルス看護学分野(産科)	1,500,000	補委	日本学術振興会

トランスプロフェッショナル教育モデルを用いた卒前医学教育プログラム開発とその検証	田中 淳一	総合地域医療教育支援部	1,200,000	補委	日本学術振興会
マルファン症候群から迫る新規歯周病ペプチドの創製	折本 愛	保存修復科	1,000,000	補委	日本学術振興会
診断群分類包括評価データの人工知能解析を基盤とする新規の集中治療管理戦略	志賀 卓弥	集中治療部	2,000,000	補委	日本学術振興会
頭部外傷後精神疾患:包括的な支援体制の構築と発症要因特定のための研究基盤の形成	佐久間 篤	精神科	1,700,000	補委	日本学術振興会
高精度日本人ゲノム参照パネルに基づいた日本人炎症性腸疾患感受性遺伝子の高密度解析	角田 洋一	消化器内科	400,000	補委	日本学術振興会
組織切開・形態学的温存下に切開周囲に薬液浸潤可能な衝撃波メスの開発	中川 敦寛	脳神経外科(臨床研究推進センター)	3,500,000	補委	日本学術振興会
日本人標準ゲノムとジャポニカアレイを用いた子宮内膜症発症の遺伝要因解明	八重樫 伸生	産婦人科	4,100,000	補委	日本学術振興会
歯を用いた内部被曝量のスクリーニング	高橋 温	障害者歯科治療部	1,600,000	補委	日本学術振興会
遺伝的背景を揃えたコントロールiPS細胞を用いたALSの細胞種特異的な病態の解明	鈴木 直輝	神経内科	5,500,000	補委	日本学術振興会
MST法による卵細胞質機能低下克服への挑戦:次世代への安全性の担保も目指して	立花 眞仁	産科・婦人科	2,400,000	補委	日本学術振興会
エクソソーム解析を用いた再生医療等製品の安全性評価方法の確立	沖田 ひとみ	臨床研究推進センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
アルツハイマー病患者における脳内タウ蛋白蓄積が日常生活動作に及ぼす影響の評価	石木 愛子	老年科	1,100,000	補委	日本学術振興会
COPDの気道上皮リモデリングにおけるAxl受容体チロシンキナーゼの役割の解明	藤野 直也	呼吸器内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
ヒトiPS細胞に低酸素培養を応用した三次元骨様組織の作製およびその骨組織再生効果	大川 博子	咬合修復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
支歯形態とセメントのひずみに着目したCAD/CAM冠脱離のリスクファクター探索	勝田 悠介	咬合修復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
未来型検査技師育成のための分野横断的な臨地実習カリキュラムの構築	武田 卓也	検査部門(診療技術部)	520,000	補委	日本学術振興会
腎不全患者の薬物投与設計最適化を目指した薬物トランスポーターOATP4C1の評価	白木 美香	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
経口抗がん薬服用による手足症候群発現の要因分析	小林 美奈子	薬剤部	360,000	補委	日本学術振興会
心不全患者における内服スクリーニング法および心不全手帳を用いた教育法の確立	鈴木 寿樹	薬剤部	330,000	補委	日本学術振興会

フェブキソスタット用量別の腫瘍崩壊症候群予防効果に関する費用対効果分析	八木 舞	薬剤部	310,000	補委	日本学術振興会
がん科学療法における吃逆の実態把握とエビデンスに基づく治療法の精査・確立	大柳 元	薬剤部	330,000	補委	日本学術振興会
放射線認知障害: Advanced MRによる発症機構解明と動物モデルによる検証	麦倉 俊司	放射線診断科(放射線部)	9,100,000	補委	日本学術振興会
脳内広範囲薬剤送達技術を用いたChemicalSurgery確立に向けた基礎研究	齋藤 竜太	脳神経外科	6,600,000	補委	日本学術振興会
味覚障害の病因解明と治療戦略の構築 ー日本一タイ二国間比較研究ー	庄司 憲明	口腔診断科	4,500,000	補委	日本学術振興会
数値流体力学に基づく脳動脈瘤血流解析・リスク評価システムの構築	新妻 邦泰	脳神経外科	6,900,000	補委	日本学術振興会
網羅的解析で家族性ALSに見出した新規遺伝子変異の病原性解明	西山 亜由美	神経内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
S-アデノシルメチオニン合成阻害による骨髄赤芽球成熟促進機構の解明	加藤 浩貴	血液・免疫科(輸血・細胞治療部)	1,100,000	補委	日本学術振興会
ゲノム編集を応用したFGFRシグナル制御によるヒトiPS細胞の歯胚分化誘導	堀江 尚弘	咬合修復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
PJDを用いたフッ素化アパタイト成膜による歯質への機能性コーティングに関する研究	泉田 一賢	顎顔面口腔再建治療部	1,100,000	補委	日本学術振興会
歯科口腔保健指標とフレイルに関わる前向きコホート研究	小宮山 貴将	高齢者歯科治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
小児期発症の希少難治性肝臓疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	仁尾 正記	小児外科	11,500,000	補委	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	21,420,000	補委	厚生労働省
免疫毒性評価試験法Multi-Immuno Toxicity assayの国際validationへ向けての検討	相場 節也	皮膚科	12,308,000	補委	厚生労働省
東日本大震災後に発生した小児への健康被害への対応に関する研究	呉 繁夫	小児科	20,645,000	補委	厚生労働省
コンダクター型総合診療医の養成	石井 正	総合地域医療教育支援部	40,950,000	補委	文部科学省

計382 計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	K Furukawa, M Brendel, S Schöneck, et al.	加齢・老年病科	[18F]-THK5351 PET Correlates with Topology and Symptom Severity in Progressive Supranuclear Palsy.	Front. Aging Neurosci.2018 Jan 17;9:440	Original Article
2	Akiyama, M. Adachi, O.Kumagai, K,et al.	心臓血管外科	Application of actuator-driven pulsed water jet for coronary artery bypass grafting: assessment in a swine model	J Artif Organs2018 Jun;21(2):247-253	Original Article
3	Ito S,Matsuhashi T, Sato T,et al.	腎・高血圧・内分泌科	Mitochondrial Acid 5 (MA-5) Facilitates ATP Synthase Oligomerization and Cell Survival in Various Mitochondrial Diseases.	EBioMedicine2017 Jun;20:27-38.	Original Article
4	Yu Onodera, Toru Nakano, Daisuke Takeyama, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Combined thoracoscopic and endoscopic surgery for a large esophageal schwannoma	World J Gastroenterol. 2017 Dec 14;23(46):8256-8260	Case report
5	Shigehito Miyagi・Yuta Kakizaki・Kenji Shimizu, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Arterial and biliary complications after living donor liver transplantation: a single-center retrospective study and literature review	Surgery Today 2018 Feb;48(2):131-139	Review
6	Kengo Fukuoka, Satoshi Nara, Yoshitaka Honma, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Hepatectomy for Colorectal Cancer Liver Metastases in the Era of Modern Preoperative Chemotherapy: Evaluation of Postoperative Complications	World J Surg. 2017 Apr, 41(4): 1073-1081	Original Article
7	Daijirou Akamatsu	移植・再建・内視鏡外科	Histological Analysis of a New Route After Subintimal Crural Angioplasty	Daijirou Akamatsu2017Nov;45:262.e15-262.e19	Case report
8	Kazuaki Tokodai, Shigehito Miyagi, Chikashi Nakanishi, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Impact of the Trough Level of Calcineurin Inhibitor on the Prevalence of Donor-Specific Human Leukocyte Antigen Antibodies During Long-Term Follow-Up After Pediatric Liver Transplantation: Antibody Strength and Complement-Binding Ability	Transplantation Direct 2017 Jul 11;3(8):e196	Original Article
9	Michihisa Umetsu, Hitoshi Goto, Masato Ohara, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Natural History and Chronological Growth Rate of Renal Artery Aneurysms	Ann Vasc Dis Vol. 10, No. 4; 2017; 2017 Dec 25;10(4):411-416	Original Article
10	Kazuaki Tokodai, Shigehito Miyagi, Chikashi Nakanishi, et al.	移植・再建・内視鏡外科	The utility of superb microvascular imaging for monitoring lowvelocity venous flow following pancreas transplantation: report of a case	Journal of Medical Ultrasonics2018 Jan;45(1):171-174	Case report

11	Ito S, Narumi K, Sato E, et al.	腎・高血圧・内分泌科	(Pro)renin receptor is involved in mesangial fibrosis and matrix expansion	(Pro)renin receptor is involved in mesangial fibrosis and matrix expansion 2018 Jan;8(1):16	Original Article
12	Furumoto S, Okamura N, Yanai K, et al.	加齢・老年病科	[18F]-THK5351 PET Imaging in Patients With Semantic Variant Primary Progressive Aphasia.	Alzheimer Dis Assoc Disord. 2018 Jan-Mar;32(1)62-69	Original Article
13	Sasano H, Iwabuchi E, Miki Y, et al.	病理部	<i>In Situ</i> Evaluation of Estrogen Receptor Dimers in Breast Carcinoma Cells: Visualization of Protein-Protein Interactions.	Acta histochemica et cytochemica 2017 /Apr;50(2)85-93	Original Article
14	Furumoto S, Tago T, Harada R, et al.	加齢・老年病科	18F-Labeled 2-arylquinoline derivatives for tau imaging: chemical, radiochemical, biological and clinical features.	Curr Alzheimer Res. 2017;14(2)178-185	Review
15	Unno M, Ariake K, Motoi F, et al.	肝・胆・膵外科	18-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography Predicts Recurrence in Resected Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	J Gastrointest Surg. 2018J Gastrointest Surg. 2018 Feb;22(2):279-287	Original Article
16	Sasano H, Tokumoto M, Onoda N, et al.	病理部	A case of Adrenocorticotropic hormone - independent bilateral adrenocortical macronodular hyperplasia concomitant with primary aldosteronism.	BMC surgery 2017/Sep; 17(1)97	Original Article
17	Kaneko K, Satake C, Yamamoto J, et al.	糖尿病代謝科	A case of idiopathic type 1 diabetes with subsequent recovery of endogenous insulin secretion despite initial diagnosis of fulminant type 1 diabetes	Endocrine journal. 2017/May ;64(3)369-374	Original Article
18	Fukunaga H, Tatewaki Y, Mutoh T, et al.	加齢・老年病科	A case of low-grade primary cardiac lymphoma with pericardial effusion diagnosed by combined 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography and computed tomography (FDG-PET/CT) imaging and effusion cytology.	Am J Case Rep 2018 Mar;19:292-295	Case report
19	Sasano H, Ito A, Yamazaki Y, et al.	病理部	A case of primary aldosteronism caused by unilateral multiple adrenocortical micronodules presenting as muscle cramps at rest: The importance of functional histopathology for identifying a culprit lesion.	Pathology international 2017 /Apr;67(4)214-221	Original Article
20	Shigehito Miyagi, Shimizu K, Miyazawa K, et al.	移植・再建・内視鏡外科	A Case of Successful Simultaneous Pancreas-Kidney Transplantation Using the Injured Pancreas Graft.	Transplantation Proceedings 2017 Dec;49(10):2315-2317	Case report
21	Furumoto S, Shidahara M, Thomas BA, et al.	加齢・老年病科	A comparison of five partial volume correction methods for Tau and Amyloid PET imaging with [18F]THK5351 and [11C]PIB.	Ann Nucl Med. 2017 Aug;31(7)563-569	Original Article

22	Koike T, Hanzawa T, Matsunaga T, et al.	消化器内科	A new manometry device for evaluating the sphincter of Oddi using a fiber-optic pressure sensor.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2018 Aug;27(4):226-232	Original Article
23	Ito, Sadayoshi, Shima, Hisato, Sasaki, Kensuke, et al.	腎・高血圧・内分泌科	A novel indole compound MA-35 attenuates renal fibrosis by inhibiting both TNF- α and TGF- β 1 pathways.	Sci Rep 2017 May;7(1) 1884-1884	Original Article
24	Masamune A, Shima H, Sasaki K, et al.	消化器内科	A novel indole compound MA-35 attenuates renal fibrosis by inhibiting both TNF- α and TGF- β 1 pathways.	Sci Rep. 2017 May;7(1):1884	Original Article
25	Shiro Mori, Adewale O. Oladipo, Oluwatobi S. Oluwafemi, et al.	歯科顎口腔外科	A novel treatment for 1 metastatic lymph nodes using lymphatic delivery and photothermal therapy	Scientific Reports 2017 Apr;7:45459	Original Article
26	Shimodaira, H., Bando, H., Fujitani, K., et al.	腫瘍内科	A phase II study of nab-paclitaxel in combination with ramucirumab in patients with previously treated advanced gastric cancer	Eur J Cancer 2018 Mar;91:86-91	Original Article
27	Ishii, Tomonori, Ogata, Atsushi, Tanaka, Yoshiya, et al.	血液・免疫科	A randomized, double-blind, parallel-group, phase III study of shortening the dosing interval of subcutaneous tocilizumab monotherapy in patients with rheumatoid arthritis and an inadequate response to subcutaneous tocilizumab every other week: Results of	Mod Rheumatol 2018 Jan;28(1):76-84	Original Article
28	Hatta W, Gotoda T, Oyama T, et al.	消化器内科	A Scoring System to Stratify Curability after Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer: eCura system.	Am J Gastroenterol. 2017 Jun;112(6):874-881	Original Article
29	Suzuki, Naoki, Shijo, Tomomi, Warita, Hitoshi, et al.	神経内科	Aberrant astrocytic expression of chondroitin sulfate proteoglycan receptors in a rat model of amyotrophic lateral sclerosis.	J Neurosci Res 2018 Feb;96(2) 222-233	Original Article
30	Ito S, Oba-Yabana I, Mori T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Acidic organelles mediate TGF- β 1-induced cellular fibrosis via (pro)renin receptor and vacuolar ATPase trafficking in human peritoneal mesothelial cells.	Sci Rep 2018 Feb 8;8(1):2648	Original Article
31	Shiro Mori, Atsumu Kouketsu, Aritsune Matsui, et al.	歯科顎口腔外科	Actinomycosis manifested in the buccal mucosa estimated with scraping cytology: A case report	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 2017 Apr;120(8):1246-1262	Original Article
32	Shimokawa H, Satoh T, Satoh K, et al.	循環器内科	Activated TAFI Promotes the Development of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: A Possible Novel Therapeutic Target.	Circulation Research 2017 Apr;120(8):1246-1262	Original Article
33	Imai J, Asai Y, Yamada T, et al.	糖尿病代謝科	Activation of the Hypoxia Inducible Factor 1 Alpha Subunit Pathway in Steatotic Liver Contributes to Formation of Cholesterol Gallstones.	Gastroenterology 2017/May;152(6) 1521-1535	Original Article

34	Nakazawa, Toru, Mishima, Eikan, Maruyama, Kazuichi, et al.	眼科	Acute Kidney Injury from Excessive Potentiation of Calcium-channel Blocker via Synergistic CYP3A4 Inhibition by Clarithromycin Plus Voriconazole.	Intern Med2017;56(13):1687-1690	Original Article
35	Ito S, Mishima E, Maruyama K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Acute Kidney Injury from Excessive Potentiation of Calcium-channel Blocker via Synergistic CYP3A4 Inhibition by Clarithromycin Plus Voriconazole.	Intern Med2017;56(13):1687-1690	Original Article
36	Sasano H, Masuda N, Lee SJ, et al.	病理部	Adjuvant Capecitabine for Breast Cancer after Preoperative Chemotherapy.	The New England journal of medicine2017/Jun ;376(22)2147-2159	Original Article
37	Nakazawa, Toru, Asano, Yoshimi, Himori, Noriko, et al.	眼科	Age- and sex-dependency of the association between systemic antioxidant potential and glaucomatous damage.	Sci Rep2017/Aug;7(1)8032-8032	Original Article
38	Shimokawa H, Cui Y, Hao K, et al.	循環器内科	Age-Specific Trends in the Incidence and In-Hospital Mortality of Acute Myocardial Infarction Over 30 Years in Japan - Report From the Miyagi AMI Registry Study.	Circulation Journal2017 Mar;81(4):520-528	Original Article
39	Ishioka, C, Miguchi, M., Hinoi, T, et al.	腫瘍内科	Alcohol consumption and early-onset risk of colorectal cancer in Japanese patients with Lynch syndrome: a cross-sectional study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum	Surg Today2018 Aug;48(8):810-814	Original Article
40	Sasano H, Satoh F, Yamazaki Y, et al.	病理部	Aldosterone-Producing Adenomas: Genotypes and Phenotypes.	Hypertension (Dallas, Tex. : 1979)2017Jul;70(1)38-41	Original Article
41	Sasano H, Omata K, Anand SK, et al.	病理部	Aldosterone-Producing Cell Clusters Frequently Harbor Somatic Mutations and Accumulate With Age in Normal Adrenals.	Journal of the Endocrine Society2017/Jul;1(7)787-799	Original Article
42	Muratsubaki T, Kanō M, Van Oudenhove L, et al.	心療内科	Altered brain and gut responses to corticotropin-releasing hormone (CRH) in patients with irritable bowel syndrome	Sci Rep2017Sep;7:12425	Original Article
43	Numasaki M, Kanemitsu Y, Matsumoto Y, et al.	加齢・老年病科	An inhibitory epitope of human Toll-like receptor 4 resides on leucine-rich repeat 13 and is recognized by a monoclonal antibody.	FEBS Lett. 2017 Sep;591(18)2953	Original Article
44	Yamaguchi, S, Okada, C, Watanabe, Y, et al.	高齢者歯科治療部	Analysis of masticatory muscle coordination during unilateral single-tooth clenching using muscle functional magnetic resonance imaging.	J Oral Rehabil2018Jun;45(1)9-16	Original Article
45	Ishii, Tomonori, Ueki, Yukitaka, Kodera, Takao, et al.	血液・免疫科	Anti-citrullinated peptide antibodies are the strongest predictor of clinically relevant radiographic progression in rheumatoid arthritis patients achieving remission or low disease activity: A post hoc analysis of a nationwide cohort in Japan.	PLoS One2017 Mar;81(4):520-528	Original Article
46	Ishioka, C, Saijo, K, Imai, H, et al.	腫瘍内科	Antitumor activity and pharmacologic characterization of the depsipeptide analog as a novel histone deacetylase/ phosphatidylinositol 3-kinase dual inhibitor	Cancer Sci2017 Jul;108(7)1469-1475	Original Article

47	Endo H, Endo T, Nakagawa A, et al.	脳神経外科	Application of actuator-driven pulsed water jet in aneurysmal subarachnoid hemorrhage surgery: its effectiveness for dissection around ruptured aneurysmal walls and subarachnoid clot removal.	Neurosurg Rev2017 Jul;40(3):485-493	Original Article
48	Ota Hideki, Kumamaru Kanako K, Murayama Sadayuki, et al.	放射線診断科	Appropriate imaging utilization in Japan: a survey of accredited radiology training hospitals	Japanese Journal of Radiology2017 Nov;35(11):648-654	Original Article
49	Sasano H, Takagi K, Miki Y, et al.	病理部	ARHGAP15 in Human Breast Carcinoma: A Potent Tumor Suppressor Regulated by Androgens.	International journal of molecular sciences2018Mar; 19(3)	Original Article
50	Sasano H, Murakami K, Hata S, et al.	病理部	Aromatase in normal and diseased liver.	Hormone molecular biology and clinical investigation2018 Feb 28. pii: /j/hmbci.ahead-of-print/hmbci-2017-0081/hmbci-2017-0081.xml	Original Article
51	Itoi, Eiji, Hagiwara, Yoshihiro, Ando, Akira, et al.	整形外科	Arthroscopic Coracohumeral Ligament Release for Patients With Frozen Shoulder.	Arthrosc Tech2018Jan;7(1) e1-e5	Original Article
52	Itoi, Eiji, Hagiwara, Yoshihiro, Sekiguchi, Takuya, et al.	整形外科	Association Between Sleep Disturbance and New-onset Subjective Shoulder Pain in Survivors of the Great East Japan Earthquake: A Prospective Cohort Study in Miyagi Prefecture.	Tohoku J Exp Med2017Jul;242(3)193-201	Original Article
53	Shimokawa H, Ohyama K, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Association of Coronary Perivascular Adipose Tissue Inflammation and Drug-Eluting Stent-Induced Coronary Hyperconstricting Responses in Pigs: 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography Imaging Study.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology2017 Sep;37(9):1757-1764	Original Article
54	Kazuaki Tokodai, Shigehito Miyagi, Chikashi Nakanishi, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Association of post-transplant donor-specific HLA antibody with liver graft fibrosis during long-term follow-up After pediatric liver transplantation	Pediatric Transplantation2018 May;22(3):e13169	Original Article
55	Sasano H, Tokodai K, Miyagi S, et al.	病理部	Association of post-transplant donor-specific HLA antibody with liver graft fibrosis during long-term follow-up after pediatric liver transplantation.	Pediatric transplantation2018 May;22(3):e13169	Original Article
56	Ichinose M	呼吸器内科	ASTHMA PREVENTION AND MANAGEMENT GUIDELINE 2015.	Arerugi. 2017;66(2):77-81	Others
57	Onodera M, Endo K, Kakuta Y, et al.	消化器内科	ATP-binding cassette subfamily B member 1 1236C/T polymorphism significantly affects the therapeutic outcome of tacrolimus in patients with refractory ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2017 Sep;32(9):1562-1569	Original Article

58	Akiyama, M.Ito, K. Masaki, N, et al.	心臟血管外科	Atrial natriuretic peptide induces peroxisome proliferator activated receptor gamma during cardiac ischemia-reperfusion in swine heart	Gen Thorac Cardiovasc Surg2017Feb;65(2)85-95	Original Article
59	Nakazawa, Toru, Nakamura, Ori, Moritoh, Satoru, et al.	眼科	Bilberry extract administration prevents retinal ganglion cell death in mice via the regulation of chaperone molecules under conditions of endoplasmic reticulum stress.	Clin Ophthalmol 2017Oct;11:1825-1834	Original Article
60	Yoda. N., Zheng. K., Chen. J., et al.	咬合回復科	Biomechanical Analysis of Bone Remodeling Following Mandibular Reconstruction using Fibula Free Flap	Med Eng Phys 2018 Jun;56:1-8	Original Article
61	Yoda N, Zheng K, Chen J, et al.	咬合回復科	Bone morphological effects on post-implantation remodeling of maxillary anterior buccal bone: a clinical and biomechanical study	Journal of Prosthodontic Research2017 Oct;61(4):393-402	Original Article
62	Ishii, Tomonori, Harigae, Hideo, Ikeda, Tomoko, et al.	血液・免疫科	Bortezomib treatment induces a higher mortality rate in lupus model mice with a higher disease activity.	Arthritis Res Ther2017Aug;19(1)187-187	Original Article
63	Nakazawa, Toru, Nishikawa, Shohei, Kunikata, Hiroshi, et al.	眼科	Bullous Exudative Retinal Detachment after Retinal Pattern Scan Laser Photocoagulation in Diabetic Retinopathy.	Case Rep Ophthalmol2017Sep;8(3)475-481	Original Article
64	Sasano H, Babaya N, Makutani Y, et al.	病理部	Case report: schwannoma arising from the unilateral adrenal area with bilateral hyperaldosteronism.	BMC endocrine disorders2017Dec ;17(1)74-	Original Article
65	Hashimoto J, Ito S	腎・高血圧・内分泌科	Central diastolic pressure decay mediates the relationship between aortic stiffness and myocardial viability: potential implications for atherosclerosis-induced myocardial ischemia.	J Hypertens 2017Oct;35(10):2034-2043	Original Article
66	Nakazawa, Toru, Kokubun, Taiki, Tsuda, Satoru, et al.	眼科	Characteristic Profiles of Inflammatory Cytokines in the Aqueous Humor of Glaucomatous Eyes.	Ocul Immunol Inflamm2017Jun;1-12	Original Article
67	Nakazawa, Toru, Maruyama, Kazuichi, Maruyama, Yuko, et al.	眼科	Characteristics of cases needing advanced treatment for intractable Posner-Schlossman syndrome.	BMC Ophthalmol2017Apr;17(1)45-45	Original Article
68	Shimokawa S, Tsuji K, Sakata Y, et al.	循環器内科	Characterization of heart failure patients with mid-range left ventricular ejection fraction—a report from the CHART-2 Study.	European Journal of Heart Failure 2017 Oct;19(10):1258-1269	Original Article
69	Furumoto S, Betthausen TJ, Ellison PA, et al.	加齢・老年病科	Characterization of the radiosynthesis and purification of [18F]THK-5351, a PET ligand for neurofibrillary tau.	Appl Radiat Isot. 2017Dec;130:230-237	Original Article

70	Hirano T, Yamada M, Ichinose M	呼吸器内科	Chronic Cholestasis with Dilatation of Intrahepatic Bile Duct Related to Administration of Ceritinib.	J Thorac Oncol.2017Aug;12(8)e123-e125	Case report
71	Nakazawa, Toru, Omodaka, Kazuko, An, Guangzhou, et al.	眼科	Classification of optic disc shape in glaucoma using machine learning based on quantified ocular parameters.	PLoS One 2017 Dec;12(12):e0190012	Original Article
72	Yoda N, Kitaoka A, Akatsuka R, et al.	咬合回復科	Clinical evaluation of monolithic zirconia crowns: A Short-Term Pilot Report	International Journal of Prosthodontics 2018 Mar/Apr;31(2):124-126	Original Article
73	Akio Izumida, Shoko Miura, Shin Kasahara, et al.	総合歯科診療部	Clinical evaluation of zirconia-based all-ceramic single crowns: an up to 12-year retrospective cohort study	Clinical Oral Investigations 2018 Mar;22(2):697-706	Original Article
74	Miura S, Kasahara S, Yamauchi S, et al.	咬合修復科	Clinical evaluation of zirconia-based all-ceramic single crowns: an up to 12-year retrospective cohort study.	Clinical Oral Investigate 2018 Mar;22(2):697-706	Original Article
75	Okuyama Y, Miura S, Kasahara S, et al.	咬合修復科	Clinical Evaluation of Zirconia-Based All-Ceramic Single Crowns:An up to 12-year Retrospective Cohort Study	Clinical Oral Investigations2018 Mar;22(2):697-706	Original Article
76	Nogami S, Koketsu A Yamada-Fujiwara M, Nagai H, et al.	歯科顎口腔外科	Clinical evaluations of complete autologous fibrin glue, produced by the CryoSeal FS system, and polyglycolic acid sheets as wound coverings after oral surgery	J Craniomaxillofac Surg2017/Sep;45(9)1458-1463	Original Article
77	Kanno A, Mine T, Morizane T, et al.	消化器内科	Clinical practice guideline for post-ERCP pancreatitis.	J Gastroenterol. 2017 Sep;52(9):1013-1022	Original Article
78	Shimada S, Saito H, Kawasaki Y, et al.	泌尿器科	Clinical predictors of the estimated glomerular filtration rate 1 year after radical nephrectomy in Japanese patients.	Investig Clin Urol2017 Jul;58(4):228-234	Original Article
79	Harigae H, Muramatsu H, Okuno Y, et al.	血液・免疫科	Clinical utility of next-generation sequencing for inherited bone marrow failure syndromes.	Genet Med.2017Jul;19(7)796-802	Original Article
80	Watanabe, Mika, Itoh, Jun, Ito, Akihiro et al.	病理部	Clinicopathological significance of ganglioside DSGb5 expression in renal cell carcinoma.	Glycoconj J2017Apr;34(2)267-273	Original Article
81	Itoi, Eiji, Sekiguchi, Takuya, Hagiwara, Yoshihiro et al.	整形外科	Coexistence of Trunk or Lower Extremity Pain with Elbow and/or Shoulder Pain among Young Overhead Athletes: A Cross-Sectional Study.	Tohoku J Exp Med2017Nov;243(3)173-178	Original Article

82	Tamada T, Sugiura H, Takahashi T, et al.	呼吸器内科	Coexisting COPD in elderly asthma with fixed airflow limitation: assessment by DLco %predicted and HRCT.	J asthma. 2017Aug;54(6)606-615	Original Article
83	Fujimori J, Baba T, Fujihara K, et al.	高次脳機能障害科	Cognitive impairment in neuromyelitis optica spectrum disorders: A comparison of the Wechsler Adult Intelligence Scale-III and the Wechsler Memory Scale Revised with the Rao Brief Repeatable Neuropsychological Battery.	eNeurologicalSci2017Sep;21(9)3-7	Original Article
84	Ota Hideki, Morita Yoshiaki, Saiki Yoshikatsu, et al.	放射線診断科	Coil embolization of left ventricular outflow tract pseudoaneurysms: techniques and 5-year results	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery2017 Apr;24(4):631-633	Original Article
85	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	Combination of gemcitabine and docetaxel regresses both gastric leiomyosarcoma proliferation and invasion in an imageable patient-derived orthotopic xenograft (iPDOX) model.	Cell Cycle. 2017Cell Cycle. 2017 Jun 3;16(11):1063-1069	Original Article
86	Nochioka K, Sakata Y, Shimokawa H.	循環器内科	Combination Therapy of Renin Angiotensin System Inhibitors and β -Blockers in Patients with Heart Failure.	Advances in Experimental Medicine and Biology2018;1067:17-30	Review
87	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	Combination treatment with recombinant methioninase enables temozolomide to arrest a BRAF V600E melanoma in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse model.	Oncotarget. 2017 Aug 12;8(49):85516-85525.	Original Article
88	Takeda K, Saito M, Kadoya N, et al.	放射線治療科	Comparison of DVH-based plan verification methods for VMAT: ArcCHECK-3DVH system and dynalog-based dose reconstruction.	J Appl Clin Med Phys2017 Jul;18(4):206-214	Original Article
89	Nakazawa, Toru, Maruyama, Kazuichi, Inaba, Tohru, et al.	眼科	Comprehensive analysis of vitreous specimens for uveitis classification: a prospective multicentre observational study.	BMJ Open2017Nov;7(11)e014549-e014549	Original Article
90	Shimokawa H, Aoki T, Sugimura K, et al.	循環器内科	Comprehensive evaluation of the effectiveness and safety of balloon pulmonary angioplasty for inoperable chronic thromboembolic pulmonary hypertension -Long-term effects and procedure-related complications-	European Heart Journal2017Nov 7;38(42):3152-3159	Original Article
91	Suzuki, Naoki, Nishiyama, Ayumi, Niihori, Tetsuya, et al.	神経内科	Comprehensive targeted next-generation sequencing in Japanese familial amyotrophic lateral sclerosis.	Neurobiol Aging2017 May;53:194.e1-194.e8.	Original Article
92	Endo T, Ogita S, Sugiyama SI, et al.	脳神経外科	Convection-enhanced delivery of a hydrophilic nitrosourea ameliorates deficits and suppresses tumor growth in experimental spinal cord glioma models.	Acta Neurochir (Wien)2017 May;159(5):939-946	Original Article
93	Haryu S, Saito R, Jia W, Shoji T, Tominaga T, et al.	脳神経外科	Convection-enhanced delivery of sulfasalazine prolongs survival in a glioma stem cell brain tumor model.	J Neurooncol2018 Jan;136(1):23-31	Original Article

94	Ota Hideki, Ohyama Kazuma, Matsumoto Yasuharu, et al.	放射線診断科	Coronary Adventitial and Perivascular Adipose Tissue Inflammation in Patients With Vasospastic Angina	Journal of the American College of Cardiology 2018 Jan 30;71(4):414-425	Original Article
95	Shimokawa H, Ohyama K, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Coronary Adventitial and Perivascular Adipose Tissue Inflammation in Patients With Vasospastic Angina.	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDI OLOGY 2018 Jan 30;71(4):414-425	Original Article
96	Sasano H, Palmieri C, Stein RC, et al.	病理部	Correction to: IRIS study: a phase II study of the steroid sulfatase inhibitor Irosustat when added to an aromatase inhibitor in ER-positive breast cancer patients.	Breast cancer research and treatment 2018 Jan ;167(1)407	Original Article
97	Azusa Fukushima, Gen Mayanagi, Keiichi Sasaki, et al.	咬合回復科	Corrosive effects of fluoride on titanium under artificial biofilm	Journal of Prosthodontic Research 2017 Sep; 62(10)104-109	Original Article
98	Nogami S, Yamauchi K, Kataoka Y, et al.	歯科顎口腔外科	Cortical bone repositioning technique for horizontal alveolar bone augmentation: A case series	Int J Periodontics Restorative Dent 2018 Sep/Oc t;38(5):691-697	Original Article
99	Sasano H, Gokon Y, Sakurai T, et al.	病理部	Curative resection of advanced esophageal cancer with metachronous stage IV breast cancer: A case report.	International journal of surgery case reports 2018 Mar;4 5(1)133-137	Original Article
100	Sasaki H, Tanaka H, Nio M	小児外科	Current management of long-term survivors of biliary atresia: over 40 years of experience in a single center and review of the literature.	Pediatric surgery international 2017 Dec;33(12)1327- 1333	Original Article
101	Sasano H, Chishiki M, Takagi K, et al.	病理部	Cytochrome c1 in ductal carcinoma in situ of breast associated with proliferation and comedo necrosis.	Cancer science 2017 Jul;10 8(7)1510-1519	Original Article
102	Nishio Y, Yokoi K, Mori E, et al.	高次脳機能障害 科	Deconstructing psychosis and misperception symptoms in Parkinson's disease	Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry 2017 Ju n;88(9)722-729	Original Article
103	Onodera K, Sugiura H, Yamada M, et al.	呼吸器内科	Decrease in an anti-ageing factor, growth differentiation factor 11, in chronic obstructive pulmonary disease.	Thorax. 2017 Oct;72(10)89 3-904	Original Article
104	Ito S, Ogawa S, Shimizu M, et al.	腎・高血圧・内分 泌科	Decreased Glycaemia with Renal Failure in Diabetes Betides in Relation to the Change in Renal Glutamate Metabolism	Journal of Clinical & Experimental Nephrology journal 2018 Feb	Original Article
105	Yanagisawa S, Papaioannou AI, Papaportfyriou A, et al.	呼吸器内科	Decreased serum sirtuin-1 in Chronic obstructive pulmonary disease.	Chest 2017 Aug;15 2(2)343-352	Original Article

106	Yanagisawa S, Ichinose M	呼吸器内科	Definition and Diaganosis of asthma- COPD overlap (ACO).	Allergol Int.2017Apr;67(2) 172-178	Original Article
107	Kazuaki Tokodai, Minami Watanabe, Kai Takaya,et al.	移植・再建・内視 鏡外科	Delayed perforation occurring on the 24th day after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.	Clin J Gastroenterol. 2017 Apr;10(2):124- 127.2017Apr;10(2)124-127	Case report
108	Harigae H, Ishii K, Onishi Y, et al.	血液・免疫科	Development and evaluation of a quantitative assay detecting cytomegalovirus transcripts for preemptive therapy in allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients.	J Med Viro.2017Jul;89(7)1265-1273	Original Article
109	Shimokawa H, Godo S, Irino S, et al.	循環器内科	Diagnosis and Management of Patients with Paroxysmal Sympathetic Hyperactivity following Acute Brain Injuries Using a Consensus-Based Diagnostic Tool: A Single Institutional Case Series.	The Tohoku Journal of Experimental Medicine2017 Sep;243(1):11-18	Case report
110	Itoi, Eiji, Tateda, Satoshi, Hashimoto, Ko, et al.	整形外科	Diagnosis of benign notochordal cell tumor of the spine: is a biopsy necessary?	Clin Case Rep2017 Nov 24;6(1):63-67	Original Article
111	Yusuke Taniyama, Tadashi Sakurai,Hiroshi Okamoto,et al.	移植・再建・内視 鏡外科	Different strategy of salvage esophagectomy between residual and recurrent esophageal cancer after definitive chemoradiotherapy	Journal of Thoracic Disease 2018Mar;10(3)155 4-1562	Original Article
112	Hamada S, Masamune A, Kikuta K, et al.	消化器内科	Disseminated intravascular coagulation on admission predicts complications and poor prognosis of acute pancreatitis: analysis of the nationwide epidemiological survey in Japan.	Pancreas2017 Feb;46(2):e15- e16	Letter
113	Ito S, Nakayama M, Zhu WJ, et al.	腎・高血圧・内分 泌科	Dissolved molecular hydrogen (H ₂) in Peritoneal Dialysis (PD) solutions preserves mesothelial cells and peritoneal membrane integrity.	BMC Nephrol. 2017 Oct 31;18(1):327	Original Article
114	Saito R, , Kanamori M, ,Tominaga T,et al	脳神経外科	Distant recurrences limit the survival of patients with thalamic high-grade gliomas after successful resection.	Neurosurg Rev 2017 Jul;40(3):469-477	Original Article
115	Godo S, Shimokawa H.	循環器内科	Divergent roles of endothelial nitric oxide synthases system in maintaining cardiovascular homeostasis.	Free Radical Biology & Medicine 2017 Aug;109:4-10	Review
116	Itoi, Eiji, Takahashi, Atsushi, de Andres, Maria C, et al.	整形外科	DNA methylation of the RUNX2 P1 promoter mediates MMP13 transcription in chondrocytes.	Sci Rep2017Aug;7(1) 7771-7771	Original Article
117	Sasano H, , Katsushima H, Fukuhara N, et al.	病理部	Does double-hit follicular lymphoma with translocations of MYC and BCL2 change the definition of transformation?	Leukemia & lymphoma2018Mar; r;59(3)758-762	Original Article

118	Takeda K, Kadoya N, Ichiji K, et al.	放射線治療科	Dosimetric evaluation of MLC-based dynamic tumor tracking radiotherapy using digital phantom: Desired setup margin for tracking radiotherapy.	Med Dosim2018 Spring;43(1):74-81	Original Article
119	Kazuaki Tokodai, Shigehito Miyagi, Chikashi Nakanish,et al.	移植・再建・内視鏡外科	Effect of Recipient Age at Liver Transplantation on Prevalence of Post-Transplant Donor-Specific HLA Antibody	Ann Transplant. 2017 Jun 2;22:333-337.2017Jul;2(22) 333-337	Original Article
120	Unno M, Tokodai K, Miyagi S, et al.	肝・胆・膵外科	Effect of Recipient Age at Liver Transplantation on Prevalence of Post-Transplant Donor-Specific HLA Antibody.	Ann Transplant. 2017 Jun 2;22:333-337.	Original Article
121	Sasano H ,Omata F, McNamara KM, et al.	病理部	Effect of the normal mammary differentiation regulator ELF5 upon clinical outcomes of triple negative breast cancers patients.	Breast cancer (Tokyo, Japan)2018 Jul;25(4):489-496	Original Article
122	Sasano H, Kikuchi K, McNamara KM, et al.	病理部	Effects of cytokines derived from cancer-associated fibroblasts on androgen synthetic enzymes in estrogen receptor-negative breast carcinoma.	Breast cancer research and treatment2017Dec;166(3)709-723	Original Article
123	Ishioka, C, Takahashi, M., Komine, K., et al.	腫瘍内科	Efficacy and safety of gemcitabine plus docetaxel in Japanese patients with unresectable or recurrent bone and soft tissue sarcoma: Results from a single-institutional analysis	PLoS One2017May;12(5)e0176972	Original Article
124	Ishii, Tomonori, Yokota, Shumpei, Nomura, Akira, et al.	血液・免疫科	Efficacy and safety of tocilizumab in patients with refractory Takayasu arteritis: results from a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial in Japan (the TAKT study).	Ann Rheum Dis2018 Mar;77(3):348-354	Original Article
125	Shinichi Yamashita, Akihiro Ito, Koji Mitsuzuka, et al.	泌尿器科	Efficacy of early ureteral ligation on prevention of intravesical recurrence after radical nephroureterectomy for upper urinary tract urothelial carcinoma: a prospective single-arm multicenter clinical trial.	Jpn J Clin Oncol 2017 Sep 1;47(9):870-875	Original Article
126	Akamatsu D, Goto H, Kamei T, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Efficacy of iliac inflow repair in patients with concomitant iliac and superficial femoral artery occlusive disease.	"Asian Journal of Surgery Volume 40, Issue 6, November 2017, Pages 475-480 "2017Nov;40(6)475-480	Original Article
127	Keiko Matsui, Tadashi Kawai , Yushi Ezoe, et al.	歯科顎口腔外科	Efficacy of octacalcium phosphate collagen composite for titanium dental implants	Materials2018 Feb 2;11(2). pii: E229	Original Article
128	Unno M, Naitoh T, Kasama K, et al.	肝・胆・膵外科	Efficacy of Sleeve Gastrectomy with Duodenal-Jejunal Bypass for the Treatment of Obese Severe Diabetes Patients in Japan: a Retrospective Multicenter Study.	Obes Surg. 2018Obes Surg. 2018 Feb;28(2):497-505	Original Article
129	Ichinose M, Minakata Y, Motegi T, et al.	呼吸器内科	Efficacy of Tiotropium/Olodaterol on Lung Hyperinflation, Exercise Capacity, and Physical Activity in Japanese Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Adv Ther.2017Jul;34(7)1622-1635	Original Article

130	Kuniyasu Niizuma, Alaa Elkordy, Hidenori Endo, et al.	脳神経外科	Embolization of the choroidal artery in the treatment of cerebral arteriovenous malformations	J Neurosurg 2017 Apr;126(4):1114-1122	Original Article
131	Nakazawa, Toru, Yoshida, Masaaki, Kiyota, Naoki, et al.	眼科	Endogenous Fusarium Endophthalmitis During Treatment for Acute Myeloid Leukemia, Successfully Treated with 25-Gauge Vitrectomy and Antifungal Medications.	Mycopathologia 2018 Apr;183(2):451-457	Original Article
132	Nakazawa, Toru, Yoshida, Masaaki, Yokokura, Shunji, et al.	眼科	Endophthalmitis associated with Purpureocillium lilacinum during infliximab treatment for surgically induced necrotizing scleritis, successfully treated with 27-gauge vitrectomy.	Int Ophthalmol 2018 Apr;38(2):841-847	Original Article
133	Ikeda R, Kikuchi T, Kobayashi T.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Endoscope-assisted silicone plug insertion for patulous Eustachian tube patients.	The Laryngoscope 2017 Feb;127(9):2149-2151	Original Article
134	Moroi R, Kakuta Y, Endo K, et al.	消化器内科	Endoscopic removal of migrated colonic self-expandable metallic stent using a sliding tube	Endoscopy 2017 Oct;49(10):E240-E241	Original Article
135	Nagai H, Kujiraoka S, Tsunematsu T, et al.	歯科顎口腔外科	Establishment and characterization of a clear cell odontogenic carcinoma cell line with EWSR1-ATF1 fusion gene.	Oral Oncol. 2017 Jun;69:46-55	Original Article
136	Satake Y, Kaiho Y, Saito H, et al.	泌尿器科	Estimated Minimal Residual Membranous Urethral Length on Preoperative Magnetic Resonance Imaging Can Be a New Predictor for Continence After Radical Prostatectomy.	Urology 2018 Feb;112:138-144	Original Article
137	Nakazawa, Toru, Yamazaki, Mai, Omodaka, Kazuko, et al.	眼科	Estimated retinal ganglion cell counts for assessing a wide range of glaucoma stages, from preperimetric to advanced.	Clin Exp Ophthalmol 2017 Apr;45(3):310-313	Original Article
138	Asano N, Torihata Y, Asanuma K, et al.	消化器内科	Estrogen-dependent Nrf2 expression protects against reflux-induced esophagitis	Digestive Disease and Sciences 2018 Feb;63(2):345-355	Original Article
139	Asanuma K, Torihata Y, Iijima K, et al.	消化器内科	Estrogen-dependent Nrf2 expression protects against reflux-induced esophagitis.	Dig Dis Sci. 2018 Feb;63(2):345-355	Original Article
140	Shimokawa H, Satoh K, Takahashi J, et al.	循環器内科	European Society of Cardiology (ESC) Annual Congress Report From Barcelona 2017.	Circulation Journal 2017 Nov 24;81(12):1758-1763	Review
141	Hihara H, Kanetaka H, Kanno A, et al.	咬合回復科	Evaluating age-related change in lip somatosensation using somatosensory evoked magnetic fields.	PLoS One 2017 Jun 15;12(6):e0179323	Original Article
142	Nakazawa, Toru, Yabana, Takeshi, Shiga, Yukihiko, et al.	眼科	Evaluating retinal vessel diameter with optical coherence tomography in normal-tension glaucoma patients.	Jpn J Ophthalmol 2017 Sep;61(5):378-387	Original Article

143	Sasano H, Inoue K, Yamazaki Y, et al.	病理部	Evaluation of Cortisol Production in Aldosterone-Producing Adenoma.	Hormone and metabolic research = Hormon- und Stoffwechselforschung = Hormones et metabolisme2017 Nov;49(11):847-853	Original Article
144	Takeda K, Kadoya N, Miyasaka Y, et al.	放射線治療科	Evaluation of rectum and bladder dose accumulation from external beam radiotherapy and brachytherapy for cervical cancer using two different deformable image registration techniques.	J Radiat Res 2017 Sep 1;58(5):720-728	Original Article
145	Nakazawa, Toru, Miura, Naoki, Omodaka, Kazuko, et al.	眼科	Evaluation of retinal nerve fiber layer defect using wide-field en-face swept-source OCT images by applying the inner limiting membrane flattening.	PLoS One2017 Oct 27;12(10):e0185573	Original Article
146	Shiro Mori, Mamoru Mikada, Ariunbuyan Sukhbaatar, et al.	歯科顎口腔外科	Evaluation of the enhanced permeability and retention effect in the early stages of lymph node metastasis	Cancer Science2017 May;108(5):846-852.	Original Article
147	Saito K, Endo S, Katsumi M, Kaku M, et al.	総合感染症科	Evaluation of the FilmArray Blood Culture Identification Panel on Detection of Pathogenic Microorganisms in Positive Blood Cultures: the First Clinical Report in Japan.	Jpn J Infect Dis.2018 Mar;71(2):145-147	Others
148	Ito, Sadayoshi, Mishima, Eikan, Fukuda, Shinji, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Evaluation of the impact of gut microbiota on uremic solute accumulation by a CE-TOFMS-based metabolomics approach.	Kidney Int2017Sep;92(3)634-645	Original Article
149	Tode N, Kikuchi T, Sakakibara T, et al.	呼吸器内科	Exome sequencing deciphers a germline MET mutation in familial epidermal growth factor receptor-mutant lung cancer.	Cancer Sci. 2017Jun;108(6)1263-1270	Original Article
150	Takikawa T, Masamune A, Yoshida N, et al.	消化器内科	Exosomes derived from pancreatic stellate cells: microRNA signature and effects on pancreatic cancer cells.	Pancreas2017 Jan;46(1):19-27	Original Article
151	Nogami S, Yamauchi K, Shimizu Y, et al.	歯科顎口腔外科	Experimental comparison between tractional and compressive stress on temporomandibular joint.	Oral Diseases 2017 Jul;23(5):644-652	Original Article
152	Sasano H, Hata S, Ise K, et al.	病理部	Expression of AR, 5 α R1 and 5 α R2 in bladder urothelial carcinoma and relationship to clinicopathological factors.	Life sciences2017Dec; 190:15-20	Original Article
153	Atsumu Kouketsu, Ikuro Sato, Mariko Oikawa, et al.	歯科顎口腔外科	Expression of immunoregulatory molecules PD-L1 and PD-1 in oral cancer and precancerous lesions: a cohort study of Japanese patients,	J Craniomaxillofac Surg2018;138(3): 243-248	Original Article
154	Sasano H, Kumata H, Miyagi S, et al.	病理部	Extrahepatic bile duct hepatocellular carcinoma due to recurrence of hematogenous metastasis 50 months after hepatectomy.	Surgical case reports2017Dec;3 (1)30	Original Article

155	Nakazawa, Toru, Kiyota, Naoki, Kunikata, Hiroshi, et al.	眼科	Factors associated with deep circulation in the peripapillary chorioretinal atrophy zone in normal-tension glaucoma with myopic disc.	Acta Ophthalmol2018 May;96(3):e290-e297	Original Article
156	Asano N, Ami R, Hatta W, et al.	消化器内科	Factors Associated With Metachronous Gastric Cancer Development After Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer	J Clin Gastroenterol2017 Jul;51(6)494-499	Original Article
157	Masamune A, Hata T, Kawamoto K, et al.	消化器内科	Fatty acid-mediated stromal reprogramming of pancreatic stellate cells induces inflammation and fibrosis that fuels pancreatic cancer.	Pancreas2017 Nov/Dec;46(10):1259-1266	Original Article
158	Ken Takeda, Kengo Ito, Noriyuki Kadoya, et al.	放射線治療科	Feasibility of a Direct-Conversion Method from Magnetic Susceptibility to Relative Electron Density for Radiation Therapy Treatment Planning	Int J Med Phys Clin Eng Radiat Oncol2017Jul;(6)252-265	Original Article
159	Shiga H, Ohba R, Matsuhashi T, et al.	消化器内科	Feasibility of colorectal endoscopic submucosal dissection (ESD) carried out by endoscopists with no or little experience in gastric ESD.	Dig Endosc.2017 Apr;29 Suppl 2:58-65	Original Article
160	Ito S, Narumi K, Mishima E, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Focal Segmental Glomerulosclerosis Associated with Chronic Progressive External Ophthalmoplegia and Mitochondrial DNA A3243G Mutation.	Nephron2018;138(3):243-248	Original Article
161	Harigae H, Fujiwara T, Sasaki K, et al.	血液・免疫科	Forced FOG1 expression in erythroleukemia cells: Induction of erythroid genes and repression of myeloid transcription factor PU.1.	Biochem Biophys Res Commun.2017 Apr 1;485(2):380-387	Original Article
162	Unno M, Sato H, Ishida M, et al.	肝・胆・膵外科	Frey's procedure for chronic pancreatitis improves the nutritional status of these patients.	Surg Today. 2018 Jan;48(1):80-86.	Original Article
163	Inoue J, Miura M, Tsuruoka M, et al.	消化器内科	Full-length genomic sequence analysis of new subtype 3k hepatitis E virus isolates with 99.97% nucleotide identity obtained from two consecutive acute hepatitis patients in a city in northeast Japan.	J Med Virol.2017 Jun;89(6):1116-1120	Original Article
164	Nakazawa, Toru, Sato, Haruka, Kunikata, Hiroshi, et al.	眼科	Functional visual acuity measurement in glaucoma.	Clin Exp Ophthalmol2017 May;45(4)414-415	Original Article
165	Inoue J, Kogure T, Kakazu E, et al.	消化器内科	Gastroesophageal Variceal Bleeding Successfully Controlled by Partial Splenic Embolization.	Intern Med.2017;56(11):1339-1343	Case report
166	Nakazawa, Toru, Shiga, Yukihiro, Nishiguchi, Koji et al.	眼科	Genetic analysis of Japanese primary open-angle glaucoma patients and clinical characterization of risk alleles near CDKN2B-AS1, SIX6 and GAS7.	PLoS One2017 Dec 20;12(12):e0186678	Original Article

167	Sasano H, Omata K, Yamazaki Y, et al.	病理部	Genetic and Histopathologic Intertumor Heterogeneity in Primary Aldosteronism.	The Journal of clinical endocrinology and metabolism 2017 Jun;102(6):1792-1796	Original Article
168	Kanamori M, Mashiyama S, Tominaga T, et al.	脳神経外科	Glioblastoma in neurofibromatosis 1 patients without IDH1, BRAF V600E, and TERT promoter mutations.	Brain Tumor Pathol 2018 Jan;35(1):10-18	Original Article
169	Ishioka, C, Horie, S, Oya, M, et al.	腫瘍内科	Guidelines for treatment of renal injury during cancer chemotherapy 2016	Clin Exp Nephrol 2018 Feb; 22(1):210-244	Original Article
170	Shimokawa H, Kimura Y, Noda T, et al.	循環器内科	Heart failure in patients with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy: What are the risk factors?	International Journal of Cardiology 2017 Aug 15;241:288-294	Original Article
171	Ito S, Oe Y, Ko M, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Hepatic dysfunction and thrombocytopenia induced by excess sFlt1 in mice lacking endothelial nitric oxide synthase	Sci Rep 2018 Jan 8;8(1):102	Original Article
172	Watanabe, Mika, Katagiri, Munetoshi, Karasawa, Hideaki, et al.	病理部	Hexokinase 2 in colorectal cancer: a potent prognostic factor associated with glycolysis, proliferation and migration.	Histol Histopathol 2017 Apr;32(4):351-360	Original Article
173	Ito S, Shimada H, Kogure N, et al.	腎・高血圧・内分泌科	High glucose stimulates expression of aldosterone synthase (CYP11B2) and secretion of aldosterone in human adrenal cells.	High glucose stimulates expression of aldosterone synthase (CYP11B2) and secretion of aldosterone in human adrenal cells. 2017 Aug 29;7(9):1410-1421	Original Article
174	Sasano H, Kasajima A, Papotti M, et al.	病理部	High interlaboratory and interobserver agreement of somatostatin receptor immunohistochemical determination and correlation with response to somatostatin analogs.	Human pathology 2018 Feb;72(1):144-152	Original Article
175	Eriguchi T, Kawamorita N, Hayashi N, et al.	泌尿器科	High luteinizing hormone weakens urinary continence mechanisms in association with prostaglandin E2 elevation in a postmenopausal rat model.	Neurourol Urodyn. 2018 Apr;37(4):1294-1301	Original Article
176	Sasano H, Yamazaki Y, Nakamura Y, et al.	病理部	Histopathological Classification of Cross-Sectional Image-Negative Hyperaldosteronism.	The Journal of clinical endocrinology and metabolism 2017 Apr;102(4):1182-1192	Original Article
177	Katori Y, Yamauchi D, Hara Y, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	How I do it: underwater endoscopic ear surgery for plugging in superior canal dehiscence syndrome	Journal of laryngology and otology 2017 May; 131(8):745-748	Original Article

178	Hiramoto K, Suzuki T, Seki S, et al.	消化器内科	Hyperactivation of Nrf2 in early tubular development induces nephrogenic diabetes insipidus.	Nat Commun. 2017 Feb;8:14577	Original Article
179	Yoda N, Zhang D, Han X, et al.	咬合回復科	Identification of dynamic load for prosthetic structures	International Journal for Numerical Methods in Biomedical Engineering 2017 Dec;33(12).	Original Article
180	Inoue J, Kanno A, Wakui Y, et al.	消化器内科	Identification of Genotype 2 HCV in Serotype 1 Patients Unresponsive to Daclatasvir plus Asunaprevir Treatment.	Tohoku J Exp Med. 2017 Jan;241(1):21-28	Original Article
181	Aoyagi T, Newstead MW, Zeng X, et al.	総合感染症科	IL-36 receptor deletion attenuates lung injury and decreases mortality in murine influenza pneumonia.	Mucosal Immunol. 2017 Jul;10(4):1043-1055	Original Article
182	Ishioka, C, Ito, S. E., Shirota, H, et al.	腫瘍内科	IL-4 blockade alters the tumor microenvironment and augments the response to cancer immunotherapy in a mouse model	Cancer Immunol Immunother 2017 Nov;66(11):1485-1496	Original Article
183	Ota Hideki, Takahashi Yuki, Omura Kensuke, et al.	放射線診断科	Image quality and radiation dose of low-tube-voltage CT with reduced contrast media for right adrenal vein imaging	European Journal of Radiology 2018 Jan;98:150-157	Original Article
184	Takeda K, Abe K, Kadoya N, et al.	放射線治療科	Impact of a commercially available model-based dose calculation algorithm on treatment planning of high-dose-rate brachytherapy in patients with cervical cancer	J Radiat Res 2018 Mar 1;59(2):198-206	Original Article
185	Hikage M, Tokunaga M, Makuuchi R, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Impact of an Ultrasonically Activated Device in Robot-Assisted Distal Gastrectomy.	Innovations (Phila). 2017 Nov/Dec;12(6):453-458	Original Article
186	Endo H, Rashad S, Sugiyama SI, et al.	脳神経外科	Impact of bifurcation angle and inflow coefficient on the rupture risk of bifurcation type basilar artery tip aneurysms	J Neurosurg 2018 Mar;128(3):723-730	Original Article
187	Sasano H, Ueno T, Saji S, et al.	病理部	Impact of clinical response to neoadjuvant endocrine therapy on patient outcomes: a follow-up study of JFMC34-0601 multicentre prospective neoadjuvant endocrine trial.	ESMO open 2018 Feb 14;3(2):e000314	Original Article
188	Hikage M, Kamei T, Nakano T, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Impact of routine recurrent laryngeal nerve monitoring in prone esophagectomy with mediastinal lymph node dissection.	Surg Endosc. 2017 Jul;31(7):2986-2996	Original Article
189	Harigae H, Inokura K, Fujiwara T, et al.	血液・免疫科	Impact of TET2 deficiency on iron metabolism in erythroblasts.	Exp Hematol. 2017 Feb 5. 2017 May;49:56-67	Original Article

190	Ito S, Sato E, Saigusa D, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Impact of the Oral Adsorbent AST-120 on Organ-Specific Accumulation of Uremic Toxins: LC-MS/MS and MS Imaging Techniques.	Toxins (Basel)2017 Dec 28;10(1).	Original Article
191	Unno M, Tokodai K, Miyagi S, et al.	肝・胆・膵外科	Impact of the Trough Level of Calcineurin Inhibitor on the Prevalence of Donor-Specific Human Leukocyte Antigen Antibodies During Long-Term Follow-Up After Pediatric Liver Transplantation: Antibody Strength and Complement-Binding Ability.	Transplant Direct. 2017 Transplant Direct. 2017 Jul 11;3(8):e196	Original Article
192	Shimokawa H, Tanaka S, Shiroto T, et al.	循環器内科	Important role of endothelium-dependent hyperpolarization in the pulmonary microcirculation in male mice: implications for hypoxia-induced pulmonary hypertension.	American Journal of Physiology2018 May 1;314(5):H940-H953	Original Article
193	Sasano H, McNamara KM, Guestini F, et al.	病理部	In breast cancer subtypes steroid sulfatase (STS) is associated with less aggressive tumour characteristics.	British journal of cancer2018 May;118(9):1208-1216	Original Article
194	Furumoto S, Betthausner T, Lao PJ, et al.	加齢・老年病科	In vivo comparison of tau radioligands 18F-THK-5351 and 18F-THK-5317.	J Nucl Med. 2017 Jun;58(6):996-1002	Original Article
195	Takeshita N, Hasegawa M, Sasaki K, et al.	矯正歯科	In vivo expression and regulation of genes associated with vascularization during early response of sutures to tensile force.	J Bone Miner Metab. 2017 Jan;35(1):40-51	Original Article
196	Muratsubaki T, Kanazawa M, Kano M, et al.	心療内科	Increase in visceral pain sensitivity to colorectal distention after peripheral administration of corticotropin-releasing hormone in patients with irritable bowel syndrome	Gastroenterology 2017 Apr;152:S723-S723	Original Article
197	Kakuta Y, Kimura T, Negoro K, et al.	消化器内科	Increased expression of IL12B mRNA transcribed from the risk haplotype for Crohn's disease is a risk factor for disease relapse in Japanese patients.	J Gastroenterol. 2017 Dec;52(12):1230-1239	Original Article
198	Fujimura M, Niizuma K, Tominaga T, et al.	脳神経外科	Increased serum production of soluble CD163 and CXCL5 in patients with moyamoya disease: Involvement of intrinsic immune reaction in its pathogenesis	Brain Res 2018 Jan 15;1679:39-44	Original Article
199	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	Individualized doxorubicin sensitivity testing of undifferentiated soft tissue sarcoma (USTS) in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model demonstrates large differences between patients.	Cell Cycle. 2018;17(5):627-633.	Original Article
200	Sasano H, Kasajima A, Ishikawa Y, et al.	病理部	Inflammation and PD-L1 expression in pulmonary neuroendocrine tumors.	Endocrine-related cancer 2018 Mar;25(3):339-350	Original Article
201	Shima K, Tsuchiya M, Oizumi T, et al.	矯正歯科	Inflammatory Effects of Nitrogen-Containing Bisphosphonates (N-BPs): Modulation by Non-N-BPs.	Biol Pharm Bull. 2017;40(1):25-33	Original Article

202	Ebina-Shibuya R, Matsumoto M, Kuwahara M, et al.	呼吸器内科	Inflammatory responses induce an identity crisis of alveolar macrophages leading to pulmonary alveolar proteinases.	J Biol Chem 2017 Nov 3;292(44):18098-18112	Original Article
203	Matsui Keiko, Kajii Fumihiko, Iwai Atsushi, et al.	歯科顎口腔外科	Influence of Electron Beam Irradiation Doses on Bone Regeneration by Octacalcium Phosphate Collagen Composite.	Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine 2018 Feb;12(2):e1186-e1194	Original Article
204	Muratsubaki T, Kano M, Morishita J, et al.	心療内科	Influence of uncertain anticipation on brain responses to aversive rectal distension in patients with irritable bowel syndrome	Psychosom Med 2017 Nov/Dec;79(9):988-999	Original Article
205	Sasano H, Sakurai M, Miki Y, et al.	病理部	Interaction with adipocyte stromal cells induces breast cancer malignancy via S100A7 upregulation in breast cancer microenvironment.	Breast cancer research : BCR2017 Jun;19(1):70	Original Article
206	Masamune A, Van Audenaerde JRM, Waele JD, et al.	消化器内科	Interleukin 15 stimulates natural killer cell-mediated killing of both human pancreatic cancer and K562 stellate cells.	Oncotarget 2017 May;8(34):56968-56979	Original Article
207	Aoyagi T, Newstead MW, Zeng X, et al.	総合感染症科	Interleukin-36 γ and IL-36 receptor signaling mediate impaired host immunity and lung injury in cytotoxic <i>Pseudomonas aeruginosa</i> pulmonary infection: Role of prostaglandin E2.	PLoS Pathog. 2017 Nov;13(11):e1006737	Original Article
208	Masamune A, Okazaki K, Chari ST, et al.	消化器内科	International consensus for the treatment of autoimmune pancreatitis.	Pancreatology 2017 Jan - Feb;17(1):1-6	Original Article
209	Kuniyasu Niizuma, Hiroki Uchida, Hidenori Endo, et al.	脳神経外科	Intra-operative hemorrhage due to hyperperfusion during direct revascularization surgery in an adult patient with moyamoya disease: a case report	Neurosurg Rev 2017 Oct;40(4):679-684	Original Article
210	Hirano T, Yamada M, Sato K, et al.	呼吸器内科	Invasive pulmonary mucormycosis: rare presentation with pulmonary eosinophilia.	BMC Pulm Med. 2017Apr;17(1)76	Case report
211	Sasano H, Palmieri C, Szydlowski R, et al.	病理部	IPET study: an FLT-PET window study to assess the activity of the steroid sulfatase inhibitor irosustat in early breast cancer.	Breast cancer research and treatment 2017 Nov;166(2):527-539	Original Article
212	Sasano H, Palmieri C, Stein RC, et al.	病理部	IRIS study: a phase II study of the steroid sulfatase inhibitor Irosustat when added to an aromatase inhibitor in ER-positive breast cancer patients.	Breast cancer research and treatment 2017 Sep;165(2):343-353	Original Article
213	Shimokawa H, Kimura Y, Takaki H, et al.	循環器内科	Isolated Late Activation Detected by Magnetocardiography Predicts Future Lethal Ventricular Arrhythmic Events in Patients With Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy.	Circulation Journal 2017 Dec 25;82(1):78-86	Original Article

214	Ichinose M, Sugiura H, Nagase H, et al.	呼吸器内科	Japanese Society of Allergology. Japanese guidelines for adult asthma 2017	Allergol Int. 2017Apr;66(2)163-189	Original Article
215	Yoshida N, Masamune A, Hamada S, et al.	消化器内科	Kindlin-2 in pancreatic stellate cells promotes the progression of pancreatic cancer.	Cancer Letters2017 Apr 1;390:103-114	Original Article
216	Tamada T, Ichinose M	呼吸器内科	Leukotriene Receptor Antagonists and Antiallergy Drugs.	Handb Exp Pharmacol 2017;237:153-169	Review
217	Takayama S, Kaneko S, Numata T, et al.	総合地域医療教育支援部・漢方内科	Literature Review: Herbal Medicine Treatment after Large-Scale Disasters.	Am J Chin Med. 2017Sep ;45(7)1345-1364	Review
218	Itoi, Eiji, Hagiwara, Yoshihiro, Sekiguchi, Takuya, et al.	整形外科	Living status, economic hardship and sleep disturbance were associated with subjective shoulder pain in survivors of the Great East Japan Earthquake: A cross sectional study.	J Orthop Sci2017May;22(3) 442-446	Original Article
219	Hino-Fukuyo N, Kikuchi A, Yokoyama H, et al.	遺伝科	Long-term outcome of a 26-year-old woman with West syndrome and an nuclear receptor subfamily 2 group F member 1 gene (NR2F1) mutation.	Seizure.2017 Aug;50:144-146	Case report
220	Shimokawa H, Nochioka K, Biering-Sorensen T, et al.	循環器内科	Long-term outcomes in patients with rheumatologic disorders undergoing percutaneous coronary intervention: a BAsel Stent Kosten-Effektivitäts Trial-PROspective Validation Examination (BASKET-PROVE) sub-study.	European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care2017 Dec;6(8):778-786	Original Article
221	Shimokawa H, Miyata S, Sakata Y, et al.	循環器内科	Long-term prognostic impact of the Great East Japan Earthquake in patients with cardiovascular disease - Report from the CHART-2 Study.	Journal of Cardiology 2017 Sep;70(3):286-296	Original Article
222	Ichinose M, Kato M, Takizawa A, et al.	呼吸器内科	Long-term safety and efficacy of combined tiotropium and olodaterol in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Respir Investig. 2017Mar;55(2)121-129	Original Article
223	Kanno A, Kubota K, Kamisawa T, et al.	消化器内科	Low-dose maintenance steroid treatment could reduce the relapse rate in patients with type 1 autoimmune pancreatitis: a long-term Japanese multicenter analysis of 510 patients.	J Gastroenterol.2017 Aug;52(8):955-964	Original Article
224	Shimokawa H, Kagaya Y, Ito K, et al.	循環器内科	Low-energy cardiac shockwave therapy to suppress left ventricular remodeling in patients with acute myocardial infarction: a first-in-human study.	Coronary Artery Disease 2018 Jun;29(4):294-300	Original Article
225	Shimokawa H, Ogata T, Ito K, et al.	循環器内科	Low-intensity pulsed ultrasound enhances angiogenesis and ameliorates contractile dysfunction of pressure-overloaded heart in mice.	PLOS ONE2017 Sep 28;12(9):e0185555	Original Article
226	Naito T, Liu TC, Liu Z, et al.	消化器内科	LRRK2 but not ATG16L1 is associated with Paneth cell defect in Japanese Crohn's disease patients	JCI Insight2017 Mar 23; 2(6): e91917.	Original Article

227	Uno K, Koike T, Takahashi S, et al.	消化器内科	Management of aorto-esophageal fistula secondary after thoracic endovascular aortic repair: a review of literature.	Clin J Gastroenterol.2017 Oct;10(5):393-402	Original Article
228	Miyashita S, Ahmed NE, Murakami M, et al,	歯科顎口腔外科	Mechanical forces induce odontoblastic differentiation of mesenchymal stem cells on three-dimensional biomimetic scaffolds.	J Tissue Eng Regen Med. 2017 Feb;11(2):434-446	Original Article
229	Miwa M, Takayama S, Kaneko S.	総合地域医療教育支援部・漢方内科	Medical support with acupuncture and massage therapies for disaster victims.	J Gen Fam Med.2017Dec ;19(1)15-19	Original Article
230	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	MEK inhibitors cobimetinib and trametinib, regressed a gemcitabine-resistant pancreatic-cancer patient-derived orthotopic xenograft (PDOX).	Oncotarget. 2017Oncotarget. 2017 Jul 18;8(29):47490-47496	Original Article
231	Koji Mitsuzuka, Yoichi Arai	泌尿器科	Metabolic changes in patients with prostate cancer during androgen deprivation therapy.	Int J Urol 2018 Jan;25(1):45-53	Original Article
232	Ishioka, C, Takahashi, H, Takahashi, M, et al.	腫瘍内科	microRNA-193a-3p is specifically down-regulated and acts as a tumor suppressor in BRAF-mutated colorectal cancer	BMC Cancer2017Nov ;17(1)723-737	Case report
233	Sasano H, Miyashita M, Tada H, et al.	病理部	Minimal impact of postmastectomy radiation therapy on locoregional recurrence for breast cancer patients with 1 to 3 positive lymph nodes in the modern treatment era.	Surgical oncology2017Jun; 26(2)163-170	Original Article
234	Kanno SI, Suzuki T, Abe T,et al.	小児科	Mitochondrial Acid 5 (MA-5) facilitates ATP synthase oligomerization and cell survival in various mitochondrial diseases.	EBioMedicine2018Mar;20(0)27-38	Original Article
235	Ishioka, C, Yamaguchi, S, Takahashi, S, et al.	腫瘍内科	Molecular and clinical features of the TP53 signature gene expression profile in early-stage breast cancer	Oncotarget2018 Mar;9(18)14193-14206	Original Article
236	Sato T, Takemura T, Ouchi T, et al.	泌尿器科	Monitoring of blood vessel density using contrast-enhanced high frequency ultrasound may facilitate early diagnosis of lymph node metastasis.	J Cancer2017 Feb;8(5):704-715	Original Article
237	Satoh F, Kobayashi Y, Yatsu K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Monozygotic twins discordant for primary aldosteronism: a case report.	Journal of Human Hypertension2017 Nov;31(11):760	Original Article
238	Bando K, Tanaka Y, Sasaki K,et al.	矯正歯科	Mouse Model of Hydroquinone Hypersensitivity via Innate and Acquired Immunity, and its Promotion by Combined Reagents.	J Invest Dermatol. 2017 May;137(5):1082-1093	Original Article
239	Nakazawa, Toru, Hariya, Takehiro, Maruyama, Kazuichi, et al.	眼科	Multiplex polymerase chain reaction for pathogen detection in donor/recipient corneal transplant tissue and donor storage solution.	Sci Rep2017/Jul;7(1) 5973-5973	Original Article

240	Unno M, Iseki M, Kushida Y, et al.	肝・胆・膵外科	Muse Cells, Nontumorigenic Pluripotent-Like Stem Cells, Have Liver Regeneration Capacity Through Specific Homing and Cell Replacement in a Mouse Model of Liver Fibrosis.	Cell Transplant. 2017Cell Transplant. 2017 May 9;26(5):821-840	Original Article
241	Kanazawa Y, Zhang H, Zheng L, et al.	消化器内科	Myeloid ATG16L1 Facilitates Host-Bacteria Interactions in Maintaining Intestinal Homeostasis.	J Immunol.2017 Mar;198(5):2133-2146	Original Article
242	Shimodaira, H, Shitara, K, Takashima, A, et al.	腫瘍内科	Nab-paclitaxel versus solvent-based paclitaxel in patients with previously treated advanced gastric cancer (ABSOLUTE): an open-label, randomised, non-inferiority, phase 3 trial	Lancet Gastroenterol Hepatol2017Apr; 2(4)277-287	Original Article
243	Masamune A, Kikuta K, Nabeshima T, et al.	消化器内科	Nationwide epidemiological survey of early chronic pancreatitis in Japan.	J Gastroenterol. 2018 Jan;53(1):152-160	Original Article
244	Kuniyasu Niizuma, Daiki Aburakawa, Miki Fujimura, et al.	脳神経外科	Navigation-guided clipping of a de novo aneurysm associated with superficial temporal artery-middle cerebral artery bypass combined with indirect pial synangiosis in a patient with moyamoya disease	Neurosurg Rev2017Jul;40(3) 517-521	Original Article
245	Yanagisawa S, Inoue C, Ichinose M	呼吸器内科	Necrobiotic Pulmonary Nodules of Rheumatoid Arthritis.	Am J Med Sci. 2017Sep;354(3)329	Case report
246	Fukunaga H, Mutoh T, Tatewaki Y, et al.	加齢・老年病科	Neuro-myelomatosis of the brachial plexus - An unusual site of disease visualized by FDG-PET/CT: A case report.	Am J Case Rep2017May ;18(4)478-481	Case report
247	Imai J, Yamamoto J, Izumi T, et al.	糖尿病代謝科	Neuronal signals regulate obesity induced beta-cell proliferation by FoxM1 dependent mechanism.	Nature communications2 017Dec;8(1)1930	Original Article
248	Aoki Y, Wei W, Inuzuka H, et al.	遺伝科	NOTCH2 Hajdu-Cheney Mutations Escape SCFFBW7-Dependent Proteolysis to Promote Osteoporosis.	Mol Cell. 2017 Nov;68(4):645-658	Original Article
249	Ito S, Nakayama M, Itami N, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Novel haemodialysis (HD) treatment employing molecular hydrogen (H ₂)-enriched dialysis solution improves prognosis of chronic dialysis patients: A prospective observational study	Sci Rep 2018 Jan 10;8(1):254	Original Article
250	Ito S, Nezu M, Souma T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Nrf2 inactivation enhances placental angiogenesis in a preeclampsia mouse model and improves maternal and fetal outcomes.	Sci Signal.2017 May 16;10(479)	Original Article
251	Hamada S, Taguchi K, Masamune A, et al.	消化器内科	Nrf2 promotes mutant K-ras/p53-driven pancreatic carcinogenesis.	Carcinogenesis 2017 Jun;38(6):661-670	Original Article

252	Asano N, Watanabe T, Kudo M, et al.	消化器内科	Nucleotide-binding oligomerization domain 1 and gastrointestinal disorders	The Proceedings of the Japan Academy, Series B2017Oct;93(8)578-599	Original Article
253	Kakuta Y, Sato T, Takagawa T, et al.	消化器内科	NUDT15, FTO, and RUNX1 genetic variants and thiopurine intolerance among Japanese patients with inflammatory bowel diseases.	Intest Res.2017 Jul;15(3):328-337	Original Article
254	Yanagisawa S, Miyauchi E, Ichinose M	呼吸器内科	Numb Chin Syndrome: An Ominous Sign of Lung Cancer.	J Thorac Oncol. 2018Apr;12(8)e114-e116	Case report
255	Miyashita H, Alsaegh MA, Taniguchi T, et al.	歯科顎口腔外科	Odontogenic epithelial proliferation is correlated with COX-2 expression in dentigerous cyst and ameloblastoma.	Exp Ther Med.2017 Jan;13(1):247-253	Original Article
256	Takahashi M, Chiba N, Shimodaira H, et al.	腫瘍内科	OLA1 gene sequencing in patients with BRCA1/2 mutation-negative suspected hereditary breast and ovarian cancer.	Breast Cancer2017 Mar;24(2):336-340	Original Article
257	Munakata Y, Yamada T, Imai J, et al.	糖尿病代謝科	Olfactory receptors are expressed in pancreatic β -cells and promote glucose-stimulated insulin secretion.	Scientific reports2018Jan;8(1)1499	Original Article
258	Kanamori M, Sakurada K, Kumabe T, Tominaga T, et al.	脳神経外科	Opening the ventricle during surgery diminishes survival among patients with newly diagnosed glioblastoma treated with carmustine wafers: a multi-center retrospective study	J Neurooncol2017 Aug;134(1):83-88	Original Article
259	Nakazawa, Toru, Himori, Noriko, Kunikata, Hiroshi, et al.	眼科	Optic nerve head microcirculation in autosomal dominant optic atrophy and normal-tension glaucoma.	Acta Ophthalmol2017Dec;95(8)e799-e800	Original Article
260	Goto H, Hashimoto M, Akamatsu D, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Oral Steroid Use and Abdominal Aortic Aneurysm Expansion— Positive Association —	"Circulation Journal Circ J 2017; 81: 1774 - 1782"2017Nov;81(1)1774-1782	Original Article
261	Satoh F, Kitamoto KK, Morimoto R, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Outcomes after adrenalectomy for unilateral primary aldosteronism: an international consensus on outcome measures and analysis of remission rates in an international cohort.	Lancet Diabetes Endocrinol2017 Sep;5(9):689-699	Original Article
262	Sasano H, Nakayama S, Karasawa H, et al.	病理部	p62/sequestosome 1 in human colorectal carcinoma as a potent prognostic predictor associated with cell proliferation.	Cancer medicine2017Jun; 6(6)1264-1274	Original Article
263	Sasano H, Nonaka K, Matsuda Y, et al.	病理部	Pancreatic gangliocytic paraganglioma harboring lymph node metastasis: a case report and literature review.	Diagnostic pathology2017Aug;12(1)57	Original Article
264	Kanno A, Basturk O, Berger MF, et al.	消化器内科	Pancreatic intraductal tubulopapillary neoplasm is genetically distinct from intraductal papillary mucinous neoplasm and ductal adenocarcinoma.	Mod Pathol.2017 Dec;30(12):1760-1772	Original Article

265	Masamune A, Wu YS, Chung I, et al.	消化器内科	Paracrine IL-6 signaling mediates the effects of pancreatic stellate cells on epithelial-mesenchymal transition via Stat3/Nrf2 pathway in pancreatic cancer cells.	Biochem Biophys Acta 2017 Feb;1861(2):296-306	Original Article
266	Suzuki M, Sugeno N, Aoki M, et al	高次脳機能障害科	Parkinson's disease-linked DNAJC13 mutation aggravates alpha-synuclein-induced neurotoxicity through perturbation of endosomal trafficking.	Human Molecular Genetics2018Jan; 27(5)823-836	Original Article
267	Nakazawa, Toru, Tatewaki, Yasuko, Mutoh, Tatsushi, et al.	眼科	Phase Difference-Enhanced Magnetic Resonance (MR) Imaging (PADRE) Technique for the Detection of Age-Related Microstructural Changes in Optic Radiation: Comparison with Diffusion Tensor Imaging (DTI).	Med Sci Monit2017Nov;23(0)5495-5503	Original Article
268	Morimoto R, Fujimura T, Hidaka T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Phase I study of nivolumab combined with IFN- β for patients with advanced melanoma.	Oncotarget2017 Apr 13;8(41):71181-71187	Original Article
269	Fujino N, Kubo H, Maciewicz RA	呼吸器内科	Phenotypic screening identifies Axl kinase as a negative regulator of an alveolar epithelial cell phenotype.	Lab Invest.2017Aug;97(9)1047-1062	Original Article
270	Shimokawa H, Odaka Y, Takahashi J, et al.	循環器内科	Plasma concentration of serotonin is a novel biomarker for coronary microvascular dysfunction in patients with suspected angina and unobstructive coronary arteries.	European Heart Journal2017 Feb 14;38(7):489-496	Original Article
271	Masamune A, Teraoka R, Hara M, et al.	消化器内科	Plasma Kallikrein-dependent TGF-beta activation in patients with chronic pancreatitis and pancreatic cancer.	Pancreas2017 Mar;46(3):e20-e22	Original Article
272	Ito S, Nakayama M, Itami N, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Possible clinical effects of molecular hydrogen (H ₂) delivery during hemodialysis in chronic dialysis patients: Interim analysis in a 12 month observation.	PLoS One2017 Sep 13;12(9):e0184535	Original Article
273	Takano Y, Kunitoki K, Tatewaki Y, et al.	加齢・老年病科	Posterior associative and cingulate cortex involvement of brain single-photon emission computed tomography (SPECT) imaging in semantic dementia with probable Alzheimer disease pathology: A case report.	Am J Case Rep2018Feb;19(0)153-157	Case report
274	Kawasumi Yusuke, Usui Akihito, Kawasumi Yusuke, et al.	放射線診断科	Postmortem Computed Tomographic Analysis of Death Caused by Oral Drug Intoxication.	Tohoku J Exp Med2017Jul;242(3)183-192	Original Article
275	Yusuke Kawasumi, Akihito Usui, Tomoya Ikeda, et al.	放射線診断科	Post-mortem computed tomography findings of the frozen brain	Journal of Forensic Radiology and Imaging2017Oct;10:37-40	Original Article
276	Yoda N, Koyama S, Fuji T, et al.	咬合回復科	Practice-based Longitudinal Study of Multifactorial Risk Assessment for Periodontal Condition and Survival of Remaining Teeth in Patients with Removable Partial Dentures	International Journal of Prosthodontics 2018 SeptemberOctober;31(5):502-508	Original Article

277	Furumoto S, Arakawa Y, Nai Y, et al.	加齢・老年病科	Prediction of the clinical standardized uptake value ratio in amyloid PET imaging using a biomathematical modeling approach towards the efficient development of a radioligand.	J Nucl Med. 2017Aug;58(8):1285-1292	Original Article
278	Unno M, Ariake K, Motoi F, et al.	肝・胆・膵外科	Predictive risk factors for peritoneal recurrence after pancreatic cancer resection and strategies for its prevention.	Surg Today. 2017Surg Today. 2017 Dec;47(12):1434-1442	Original Article
279	Nakazawa, Toru, Aizawa, Naoko, Kunikata, Hiroshi, et al.	眼科	Preperimetric Glaucoma Prospective Observational Study (PPGPS): Design, baseline characteristics, and therapeutic effect of tafluprost in preperimetric glaucoma eye.	PLoS One2017 Dec;12(12):e0188692	Original Article
280	Nakazawa, Toru, Shiga, Yukihiro, Aizawa, Naoko, et al.	眼科	Preperimetric Glaucoma Prospective Study (PPGPS): Predicting Visual Field Progression With Basal Optic Nerve Head Blood Flow in Normotensive PPG Eyes.	Transl Vis Sci Technol2018Jan;7 (1)11-11	Original Article
281	Nakazawa, Toru, Kunikata, Hiroshi, Fujita, Kosuke, et al.	眼科	Prevalence of anti-retinal antibodies in epiretinal membranes and macular holes.	Clin Exp Ophthalmol 2018 Jul;46(5):556-558	Original Article
282	Fujimura M, Hatta M, Tominaga T,et al.	脳神経外科	Preventive Effect of Clazosentan against Cerebral Vasospasm after Clipping Surgery for Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage in Japanese and Korean Patients	Cerebrovasc Dis2017;44(1- 2):59-67	Original Article
283	Nakagawa A, Kushimoto S, Tominaga T ,et al	脳神経外科	Primary blast-induced traumatic brain injury: lessons from lithotripsy.	Shock Waves2017;27(6): 863-878	Original Article
284	Numakura T, Sugiura H, Akaike T, et al.	呼吸器内科	Production of reactive persulfide species in chronic obstructive pulmonary disease.	Thorax. 2017 Dec;72(12):1074- 1083	Original Article
285	Shimokawa H, Yamauchi T, Sakata Y, et al.	循環器内科	Prognostic Impact of Atrial Fibrillation and New Risk Score of Its Onset in Patients at High Risk of Heart Failure - A Report From the CHART-2 Study.	Circulation Journal2017 Jan;81(2):185- 194	Original Article
286	Shimokawa H, Oikawa T, Sakata Y, et al.	循環器内科	Prognostic Impact of Statin Intensity in Heart Failure Patients With Ischemic Heart Disease: A Report From the CHART-2 (Chronic Heart Failure Registry and Analysis in the Tohoku District 2) Study.	Journal of the American Heart Association2018 Mar 14;7(6). pii: e007524	Original Article
287	Shimokawa H, Ohtsuki T, Satoh K, et al.	循環器内科	Prognostic Impacts of Plasma Levels of Cyclophilin A in Patients With Coronary Artery Disease.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology 2017 Apr;37(4):685- 693	Original Article
288	Takeda K, Yamamoto T, Kadoya N,et al.	放射線治療科	Prognostic Value of Radiation Pneumonitis After Stereotactic Body Radiotherapy: Effect of Pulmonary Emphysema Quantitated Using CT Images.	Clin Lung Cancer2018 Jan;19(1):e85-e90	Original Article

289	Itoi, Eiji, Hatta, Taku, Giambini, Hugo, et al.	整形外科	Quantifying extensibility of rotator cuff muscle with tendon rupture using shear wave elastography: A cadaveric study.	J Biomech2017Aug; 61(1)131-136	Original Article
290	Masamune A, Nishimori I, Kikuta K, et al.	消化器内科	Randomized controlled trial of long-term maintenance corticosteroid therapy in patients with autoimmune pancreatitis. Randomized controlled trial of long-term maintenance corticosteroid therapy in patients with autoimmune pancreatitis.	Gut2017Mar;66(3)487-494	Original Article
291	Sasano H, Tamaki K, Fukuyama AK, et al.	病理部	Randomized trial of aromatherapy versus conventional care for breast cancer patients during perioperative periods.	Breast cancer research and treatment2017Apr ;162(3)523-531	Original Article
292	Tominaga T, Tashiro R, Ogawa Y, et al.	脳神経外科	Rapid Deterioration of Latent HBV Hepatitis during Cushing Disease and Posttraumatic Stress Disorder after Earthquake.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg 2017 Jul;78(4):407-411	Case report
293	Sasano H, Morimoto R, Ono Y, et al.	病理部	Rapid Screening of Primary Aldosteronism by a Novel Chemiluminescent Immunoassay.	Hypertension (Dallas, Tex. : 1979)2017 Aug;70(2):334-341	Original Article
294	Kanno A, Hijioka S, Hosoda W, et al.	消化器内科	Rb Loss and KRAS Mutation Are Predictors of the Response to Platinum-Based Chemotherapy in Pancreatic Neuroendocrine Neoplasm with Grade 3: A Japanese Multicenter Pancreatic NEN-G3 Study.	Clin Cancer Res. 2017 Aug;23(16):4625-4632	Original Article
295	Shimokawa H, Satoh K.	循環器内科	Recent Advances in the Development of Cardiovascular Biomarkers.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology2018 May;38(5):e61-e70	Review
296	Ueno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	Recombinant methioninase (rMETase) is an effective therapeutic for BRAF-V600E-negative as well as -positive melanoma in patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse models.	Oncotarget. 2018Oncotarget. 2017 Dec 12;9(1):915-923	Original Article
297	Ota Hideki, Suzuki Hideaki, Matsumoto Yasuharu, et al.	放射線診断科	Reduced brain-derived neurotrophic factor is associated with cognitive dysfunction in patients with chronic heart failure	Geriatrics & Gerontology International2017 May;17(5):852-854	Original Article
298	Arai H, Suzuki H, Matsumoto Y, et al.	加齢・老年病科	Reduced brain-derived neurotrophic factor is associated with cognitive dysfunction in patients with chronic heart failure.	Geriatr Gerontol Int. 2017May;17(5)852-854	Letter
299	Furumoto S, Sone D, Imabayashi E, et al.	加齢・老年病科	Regional tau deposition and subregion atrophy of medial temporal structures in early Alzheimer's disease: A combined positron emission tomography/magnetic resonance imaging study.	Alzheimers Dement (Amst). 2017Aug;9(3)35-40	Original Article
300	NOGAMI S, Takahashi T, Yamauchi K, et al.	歯科顎口腔外科	Relationship between arthroscopic findings of synovitis and levels of tumor necrosis factor-alpha and matrix metalloproteinases in synovial lavage fluid from patients with unilateral high mandibular condyle fractures	J Oral Rehabil 2018 Jun;45(6):452-458	Original Article

301	Nakazawa, Toru, Kiyota, Naoki, Kunikata, Hiroshi, et al.	眼科	Relationship between laser speckle flowgraphy and optical coherence tomography angiography measurements of ocular microcirculation.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2017 Aug;255(8):1633-1642	Original Article
302	Suzukamo Y, Sato E, Ochiai R, et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Reliability and validity of revised and short form versions of diabetes diet-related quality of life scale	Diabetology International 2017 Jun;8(2):181-192	Original Article
303	Shimokawa H, Uzuka H, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Renal Denervation Suppresses Coronary Hyperconstricting Responses After Drug-Eluting Stent Implantation in Pigs In Vivo Through the Kidney-Brain-Heart Axis.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology 2017 Oct;37(10):1869-1880	Original Article
304	Ogasawara H. · Nakanishi C. · Miyagi S. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Renoportal Anastomosis in Left Lateral Lobe Living Donor Liver Transplantation: A Pediatric Case	Case Rep Gastroenterol 2017;11:584-592 2017Nov;11(584-592)	Case report
305	Shimokawa H, Ohyama K, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Reply: New Aspects of Vasospastic Angina: Coronary Adventitial and Perivascular Adipose Tissue Inflammation.	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY 2018 Jun ;71(23):2709-2710	Review
306	Takagi K, Tsuji K, Utsunomiya H, et al.	病理部	Retinoic Acid Receptor β : A Potential Therapeutic Target in Retinoic Acid Treatment of Endometrial Cancer.	International journal of gynecological cancer : official journal of the International Gynecological Cancer Society 2017May; 27(4):643-650	Original Article
307	Ishioka, C., Ouchi, K., Takahashi, S., et al.	腫瘍内科	Retrospective analysis on the clinical outcomes of recombinant human soluble thrombomodulin for disseminated intravascular coagulation syndrome associated with solid tumors	Int J Clin Oncol 2018 Aug;23(4):790-798	Original Article
308	Endo H, Sugiyama SI, Endo T, et al.	脳神経外科	Revascularization of the anterior cerebral artery by Y-shaped superficial temporal artery interposition graft for the treatment of de novo aneurysm arising at a site of A3-A3 bypass: technical case report	J Neurosurg 2017 Dec 22:1-5	Case report
309	Kusaka J, Shiga H, Kuroha M, et al.	消化器内科	Risk factors associated with postoperative recurrence and repeat surgery in Japanese patients with Crohn's disease.	Int J Colorectal Dis. 2017 Oct;32(10):1407-1413	Original Article
310	Katori Y, Hidaka H, Ozawa D, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Risk factors for delayed oral dietary intake in patients with deep neck infections including descending necrotizing mediastinitis.	European archives of otorhinolaryngology 2017 Aug;274(11):3951-3958	Original Article
311	Itoi, Eiji, Yamamoto, Nobuyuki, Mineta, Mitsuyoshi, et al.	整形外科	Risk Factors for Tear Progression in Symptomatic Rotator Cuff Tears: A Prospective Study of 174 Shoulders.	Am J Sports Med 2017 Sep;45(11):2524-2531	Original Article

312	Nogami S, Yamauchi K, Satomi N, et al.	齒科顎口腔外科	Risk factors related to aggressive condylar resorption after orthognathic surgery for females: retrospective study.	CRANIO2017 Jul;35(4):250-258	Original Article
313	Uno K, Koike T, Kusaka G, et al.	消化器内科	Risk of metachronous recurrence after endoscopic submucosal dissection of esophageal squamous cell carcinoma.	Dig Esophagus.2017 Jun;30(6):1-8	Original Article
314	Sasano H, Miki Y, Hata S, et al.	病理部	Roles of Aryl Hydrocarbon Receptor in Aromatase-Dependent Cell Proliferation in Human Osteoblasts.	International journal of molecular sciences2017 Oct 17;18(10)	Original Article
315	Ishioka, C., Yamada, Y., Denda, T., et al.	腫瘍内科	S-1 and irinotecan plus bevacizumab versus mFOLFOX6 or CapeOX plus bevacizumab as first-line treatment in patients with metastatic colorectal cancer (TRICOLORE): a randomized, open-label, phase III, noninferiority trial	Ann Oncol2018Mar ;29(3)624-631	Original Article
316	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	Salmonella typhimurium A1-R targeting of a chemotherapy-resistant BRAF-V600E melanoma in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model is enhanced in combination with either vemurafenib or temozolomide.	Cell Cycle. 2017Cell Cycle. 2017 Jul 3;16(13):1288- 1294	Original Article
317	Nogami S, Tanaka K, Sailer I, et al.	齒科顎口腔外科	Sandwich bone graft for vertical augmentation of the posterior maxillary region: a case report with 9-year follow-up	Int J Implant Dent2017Dec;3(1) 20	Original Article
318	Hamada S, Masamune A, Kikuta K, et al.	消化器内科	Severity assessment of acute pancreatitis using four prognostic factors - a nationwide multicenter study of 3682 cases in Japan.	United European Gastroenterol J.2017 Dec;5(8):1136- 1137	Letter
319	Shimokawa H, Onose T, Sakata Y, et al.	循環器内科	Sex differences in post-traumatic stress disorder in cardiovascular patients after the Great East Japan Earthquake: a report from the CHART-2 Study.	European Heart Journal - Quality of Care and Clinical Outcomes2017 Jul;3(3):224-233	Original Article
320	Shimokawa H, Kikuchi N, Satoh K.	循環器内科	Shrinking Basic Cardiovascular Research in Japan: The Tip of the Iceberg.	Circulation Research2017 Aug;121(4):331- 334	Review
321	Yoda N, Liao Z, Chen J, et al.	咬合回復科	Simulation of multi-stage non-linear bone remodeling induced by fixed partial dentures of different configurations: a comparative clinical and numerical study	Biomechanics and Modeling in Mechanobiology2 017Sep;16(2)	Original Article
322	Matsui Keiko, Kajii Fumihiko, Iwai Atsushi, et al.	齒科顎口腔外科	Single-dose local administration of teriparatide with a octacalcium phosphate collagen composite enhances bone regeneration in a rodent critical-sized calvarial defect	Journal of Biomedical Materials Research: Part B - Applied Biomaterials2018 Jul;106(5):1851- 1857	Original Article

323	Sasano H, Takahashi N, Tanabe A, et al.	病理部	Slowly Growing Adrenal Mass: A 20-Year Incubation.	The American journal of medicine2017Nov;130(11)e479-e483	Original Article
324	Imai J, Kawana Y, Sawada S, et al.	糖尿病代謝科	Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitor Improves Complications of Lipodystrophy: A Case Report.	Ann Intern Med2017May;166(6)450-451	Original Article
325	Sasano H, Ishida H, Kasajima A, et al.	病理部	SOX2 and Rb1 in esophageal small-cell carcinoma: their possible involvement in pathogenesis.	Modern pathology : an official journal of the United States and Canadian Academy of Pathology, Inc2017May;30(5)660-671	Original Article
326	Nakazawa, Toru, Fujita, Kosuke, Nishiguchi, Koji M, et al.	眼科	Spatially and Temporally Regulated NRF2 Gene Therapy Using Mcp-1 Promoter in Retinal Ganglion Cell Injury.	Mol Ther Methods Clin Dev2017Jun;5(0)130-141	Original Article
327	Kazuaki Tokodai, N. Kawagishi, S. Miyagi, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Splenectomy for Severe Intestinal Bleeding Caused by Portal Hypertensive Enteropathy After Pediatric Living-Donor Liver Transplantation: A Report of Three Cases.	Transplantation Proceedings, 49, 1129-1132 (2017)2017 Jun;49(5):1129-1132	Case report
328	Tojo Y, Yanagisawa S, Miyauchi E, et al.	呼吸器内科	Splenic tuberculosis.	Int J Infect Dis2018Feb;67(0)41-42	Original Article
329	Endo H, Rashad S, Ogawa Y, et al.	脳神経外科	Stereotactic radiosurgery as a feasible treatment for intramedullary spinal arteriovenous malformations: a single-center observation.	Neurosurg Rev2017 Apr;40(2):259-266	Original Article
330	Shimokawa H, Suzuki H, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Structural brain abnormalities and cardiac dysfunction in patients with chronic heart failure.	European Journal of Heart Failure 2018 May;20(5):936-938	Original Article
331	Nakazawa, Toru, Akaishi, Tetsuya, Kaneko, Kimihiko, et al.	眼科	Subclinical retinal atrophy in the unaffected fellow eyes of multiple sclerosis and neuromyelitis optica.	J Neuroimmunol2017Dec;313(0)10-15	Original Article
332	Nabeshima T, Kanno A, Masamune A, et al.	消化器内科	Successful Endoscopic Treatment of Severe Pancreaticojejunostomy Strictures by Puncturing the Anastomotic Site with an EUS-guided Guidewire: A Report of Two Cases.	Intern Med.2018 Feb 1;57(3):357-362	Case report
333	Endo H, Osada Y, Sato K, et al.	脳神経外科	Successful endovascular management of venous sinus thrombosis complicated in a case of high-grade cerebral arteriovenous malformation	Intervent Neuroradiol2017 Dec;23(6):656-660	Case report
334	Adachi, O. Kumagai, K.Saiki, Y,et al.	心臓血管外科	Successful management of antibody-mediated rejection after cardiac transplantation in a patient supported by a left ventricular assist device for more than 3 years	Gen Thorac Cardiovasc Surg,2017Dec;65(12)710-712	Original Article

335	Miyauchi E, Ichinose M, Inoue A.	呼吸器内科	Successful Osimertinib Rechallenge in a Patient with T790M-Mutant Non-Small Cell Lung Cancer after Osimertinib-Induced Interstitial Lung Disease.	J Thorac Oncol. 2017May;12(5)e5 9-e61	Letter
336	Kawasumi Yusuke, Igari Yui, Takahashi Shirushi, et al.	放射線診断科	Sudden death in a child caused by a giant cavernous hemangioma of the anterior mediastinum.	J Forensic Leg Med2017Nov;52(0 93-97	Original Article
337	Saito K, Nakano Kaku M, Yano H, et al.	総合感染症科	Suitability of Carbapenem Inactivation Method (CIM) for Detection of IMP Metallo-β-Lactamase-Producing Enterobacteriaceae	J Clin Microbiol.2017 Apr;55(4):1220- 1222	Letter
338	Ito S, Suzuki D, Saito-Hakoda A, et al.	腎・高血圧・内分泌 科	Suppressive effects of RXR agonist PA024 on adrenal CYP11B2 expression, aldosterone secretion and blood pressure.	PLoS One2017 Aug 11;12(8):e018105 5	Original Article
339	Arai, Yoichi, Kaiho, Yasuhiro, Masuda, Hitoshi, et al.	泌尿器科	Surgical and Patient Reported Outcomes of Artificial Urinary Sphincter Implantation: A Multicenter, Prospective, Observational Study.	J Urol2018Jan;199(1)245-250	Original Article
340	Hikage M, Tokunaga M, Makuuchi R, et al.	移植・再建・内視 鏡外科	Surgical outcomes after gastrectomy in very elderly patients with gastric cancer.	Surg Today2018 Aug;48(8):773- 782	Original Article
341	Hatta W, Suzuki S, Gotoda T, et al.	消化器内科	Survival Benefit of Additional Surgery After Non-curative Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer: A Propensity Score Matching Analysis.	Ann Surg Oncol.2017 Oct;24(11):3353- 3360	Original Article
342	Shimokawa H, Godo S, Kawazoe Y, et al.	循環器内科	Switching Therapy from Intravenous Landiolol to Transdermal Bisoprolol in a Patient with Thyroid Storm Complicated by Decompensated Heart Failure and Gastrointestinal Dysfunction.	Internal Medicine2017 Oct 1;56(19):2603- 2609	Case report
343	Ishioka, C., Okada, Y., Kato, S., et al.	腫瘍内科	Synthetic lethal interaction of CDK inhibition and autophagy inhibition in human solid cancer cell lines	Oncol Rep2017Jul;38(1) 31-42	Original Article
344	Takayama S, Iwasaki K.	総合地域医療教 育支援部・漢方内 科	Systematic review of traditional Chinese medicine for geriatrics.	Geriatr Gerontol Int.2017May;17(5)679-688	Review
345	Harigae H, Suzuki T, Murakami S, et al.	血液・免疫科	Systemic Activation of NRF2 Alleviates Lethal Autoimmune Inflammation in Scurfy Mice.	Mol Cell Biol2017 Jul 14;37(15). pii: e00063-17	Original Article
346	Unno M, Kawaguchi K, Miyake K, et al.	肝・胆・膵外科	Targeting altered cancer methionine metabolism with recombinant methioninase (rMETase) overcomes partial gemcitabine-resistance and regresses a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model of pancreatic cancer.	Cell Cycle. 2018Cell Cycle. 2018;17(7):868- 873	Original Article

347	Unno M, Kawaguchi K, Han Q, et al.	肝・胆・膵外科	Targeting methionine with oral recombinant methioninase (o-rMETase) arrests a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model of BRAF-V600E mutant melanoma: implications for chronic clinical cancer therapy and prevention.	Cell Cycle. 2018Cell Cycle. 2018;17(3):356-361	Original Article
348	Furumoto S, Kang JM, Lee SY, et al.	加齢・老年病科	Tau positron emission tomography using [18F]THK5351 and cerebral glucose hypometabolism in Alzheimer's disease.	Neurobiol Aging. 2017Nov;59(2):210-219	Original Article
349	Sasaki, K. Haga, M. Bao, S. et al.	心臓血管外科	The Cardiac Sympathetic Nerve Activity in the Elderly Is Attenuated in the Right Lateral Decubitus Position	Gerontol Geriatr Med2017Jan;(3):1-9	Original Article
350	Shimokawa H, Godo S, Yoshida Y, et al.	循環器内科	The Dramatic Recovery of a Patient with Biguanide-associated Severe Lactic Acidosis Following Thiamine Supplementation.	Internal Medicine2017;56(4):455-459	Case report
351	Ito S, Ogawa S, Shimizu M, et al.	腎・高血圧・内分泌科	The Dynamics of Carnitine, γ -butyrobetaine and Trimethylamine N-oxide in Diabetics and the Effects of Changes in Renal Function	J Nephrol Ren Dis2017Mar	Original Article
352	Nakazawa, Toru, Kiyota, Naoki, Shiga, Yukihiko, et al.	眼科	The Effect of Systemic Hyperoxia on Optic Nerve Head Blood Flow in Primary Open-Angle Glaucoma Patients.	Invest Ophthalmol Vis Sci2017Jun;58(7):3181-3188	Original Article
353	Sugimura K, Tatebe S, Aoki T, et al.	循環器内科	The Efficacy of a Genetic Analysis of the BMP2 Gene in a Patient with Severe Pulmonary Arterial Hypertension and an Atrial Septal Defect Treated with Bilateral Lung Transplantation.	Internal Medicine2017 Dec 1;56(23):3193-3197	Case report
354	Shimokawa H, Yamashita T, Uchiyama S, et al.	循環器内科	The EXPAND study: Efficacy and safety of rivaroxaban in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation.	International Journal of Cardiology2018 May 1;258:126-132	Original Article
355	Yuta Kakizaki, Shigehito Miyagi, Yasuyuki Hara, et al.	移植・再建・内視鏡外科	The Extra-Anatomical Jump Graft Reconstruction of the Right Hepatic Artery after Resection of a Biliary Tract Malignancy with a Common Hepatic Artery Aneurysm: A Case Report	"Clinical Case Report, Volume 5, Issue 11, November 2017, Pages 1841-1846." 2017Nov;5(11):1841-1845	Case report
356	Aoyagi T, Baba H, Kakuta R, et al.	総合感染症科	The first case report of septic abortion resulting from β -lactamase-negative ampicillin-resistant non-typeable Haemophilus influenzae infection.	JMM Case Rep. 2017 Oct 12;4(10):e005123	Case report
357	Mizuta K, Matoba A, Matsuyama N, et al.	歯科麻酔疼痛管理科	The free fatty acid receptor 1 promotes airway smooth muscle cell proliferation through MEK/ERK and PI3K/Akt signaling pathways.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol2018 Mar 1;314(3):L333-L348	Original Article
358	Unno M, Watanabe K, Nagao M, et al.	肝・胆・膵外科	The functional outcome and factors influencing the quality of life after ileal pouch anal anastomosis in patients with ulcerative colitis.	Surg Today. 2018Surg Today. 2018 Apr;48(4):455-461	Original Article

359	Ishioka, C, Takahashi, M., Takahashi, M., et al.	腫瘍内科	The G8 screening tool enhances prognostic value to ECOG performance status in elderly cancer patients: A retrospective, single institutional study	PLoS One2017Jun;12(6) e0179694	Original Article
360	Nakazawa, Toru, Maekawa, Shigeto, Sato, Kota, et al.	眼科	The neuroprotective effect of hesperidin in NMDA-induced retinal injury acts by suppressing oxidative stress and excessive calpain activation.	Sci Rep2017Jul;7(1)6 885-6885	Original Article
361	Kengo Fukuoka, Akiko Inagaki, Yasuhiro Nakamura, et al.	移植・再建・内視 鏡外科	The optimization of short-term hepatocyte preservation prior to transplantation	Transplantation Direct2017 Jun 19;3(7):e176	Original Article
362	Satomi Suzuki Uematsu, Akiko Inagaki, Yasuhiro Nakamura, et al.	移植・再建・内視 鏡外科	The Optimization of the Prevascularization Procedures for Improving Subcutaneous Islet Engraftment	Transplantation. 2018 Mar;102(3):387- 395	Original Article
363	Yoshihiro Kamiyama, Shinichi Yamashita, Atsuhiko Nakagawa, et al.	泌尿器科	The piezo actuator-driven pulsed water jet system for minimizing renal damage after off-clamp laparoscopic partial nephrectomy.	Tohoku J Exp Med2017 Sep;243(1):57-65	Original Article
364	Takagi S, Aoki S, Saito-Hakoda A, et al.	病理部	The reduction of heparan sulphate in the glomerular basement membrane does not augment urinary albumin excretion.	Nephrology, dialysis, transplantation : official publication of the European Dialysis and Transplant Association - European Renal Association2018J an;33(1)26-33	Original Article
365	Ito S, Aoki S, Saito-Hakoda A, et al.	腎・高血圧・内分 泌科	The reduction of heparan sulphate in the glomerular basement membrane does not augment urinary albumin excretion.	Nephrol Dial Transplant2018 Jan 1;33(1):26-33	Original Article
366	Sasano H, Chan MSM, Saito R, et al.	病理部	The re-emerging importance of radiologic-pathologic correlation in reaching the pathology diagnosis.	Pathology international2017 Nov;67(11)537- 538	Original Article
367	Nogami S, Ito K, Yamazaki F, et al.	歯科顎口腔外科	The relationship between intracapsular fracture patterns and arthroscopic findings	J Oral Maxillofac Surg2018Mar	Original Article
368	Ito S, Ogawa S, Takiguchi J, et al.	腎・高血圧・内分 泌科	The relationship between the renal reabsorption of cysteine and the lowered urinary pH in diabetics	Clin Exp Nephrol2017 Dec;21(6):1044- 1052	Original Article
369	Asano N, Hatta W, Koike T, et al.	消化器内科	The Risk Factors for Metastasis in Non-Ampullary Duodenal Neuroendocrine Tumors Measuring 20 mm or Less in Diameter	Digestion2017Mar ;95(3)201-209	Original Article
370	Nakazawa, Toru, Kunimatsu-Sanuki, Shiho, Iwase, et al.	眼科	The role of specific visual subfields in collisions with oncoming cars during simulated driving in patients with advanced glaucoma.	Br J Ophthalmol2017J ul;101(7)896-901	Original Article

371	Sasano H, Saito R, Miki Y, et al.	病理部	The Significance of MMP-1 in EGFR-TKI-Resistant Lung Adenocarcinoma: Potential for Therapeutic Targeting.	International journal of molecular sciences 2018 Feb 18;19(2)	Original Article
372	Asano N, Takahashi K, Hatta W, et al.	消化器内科	The slow progressive nature of duodenal neuroendocrine tumor: a case report of long-term observation over 14 years	Clinical Journal of Gastroenterology 2017 Oct;10(5):469-473	Original Article
373	Unno M, Tokodai K, Miyagi S, et al.	肝・胆・膵外科	The utility of superb microvascular imaging for monitoring low-velocity venous flow following pancreas transplantation: report of a case.	J Med Ultrason (2001). 2018J Med Ultrason (2001). 2018 Jan;45(1):171-174	Original Article
374	Miura S, Kasahara S, Yamauchi S, et al.	咬合修復科	Three-dimensional finite element analysis of zirconia all-ceramic cantilevered fixed partial dentures with different framework designs.	European Journal of Oral Science 2017 Jun;125(3):208-214	Original Article
375	Nakazawa, Toru, Kikuchi, Akiko, Shiga, Yukihiko, et al.	眼科	Traditional medicine as a potential treatment for Flammer syndrome.	EPMA J 2017 Jun;8(2)171-175	Original Article
376	Kuniyasu Niizuma, Mika Sato-Maeda, Miki Fujimura, et al.	脳神経外科	Transient Global Cerebral Ischemia Induces RNF213, a Moyamoya Disease Susceptibility Gene, in Vulnerable Neurons of the Rat Hippocampus CA1 Subregion and Ischemic Cortex	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 2017 Sep; 26(9)1904-1911	Original Article
377	Hamada S, Masamune A, Shimosegawa T.	消化器内科	Transition of early-phase treatment for acute pancreatitis: an analysis of nationwide epidemiological survey.	World J Gastroenterol. 2017 Apr 28;23(16):2826-2831	Original Article
378	Shimokawa H, Sakata Y, Tsuji K, et al.	循環器内科	Transition of Left Ventricular Ejection Fraction in Heart Failure.	Advances in Experimental Medicine and Biology 2018;1067 :5-15	Review
379	Takeda Y, Suto Y, Ito K, et al.	歯科顎口腔外科	TRAV7-2*02 Expressing CD8 ⁺ T Cells Are Responsible for Palladium Allergy.	Int J Mol Sci 2017 May 31;18(6)	Original Article
380	Mori S, Matsuki D, Oladipo A, et al.	歯科顎口腔外科	Treatment of tumor in lymph nodes using near-infrared laser light-activated thermosensitive liposome-encapsulated doxorubicin and gold nanorods	Journal of Biophotonics 2017 Dec;10(12):1676-1682	Original Article
381	Sasano H, Kitawaki Y, Nakamura Y, et al.	病理部	Tumor Microenvironment in Functional Adrenocortical Adenomas: Immune Cell Infiltration in Cortisol-producing Adrenocortical Adenoma.	Human pathology 2018 Jul;77:88-97	Original Article
382	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	肝・胆・膵外科	Tumor-Targeting Salmonella typhimurium A1-R Sensitizes Melanoma With a BRAF-V600E Mutation to Vemurafenib in a Patient-Derived Orthotopic Xenograft (PDOX) Nude Mouse Model.	J Cell Biochem. 2017J Cell Biochem. 2017 Aug;118(8):2314-2319	Original Article

383	Kuniyasu Niizuma, Xian-kun Tu, Miki Fujimura, et al.	脳神経外科	Uneven cerebral hemodynamic change as a cause of neurological deterioration in the acute stage after direct revascularization for moyamoya disease: cerebral hyperperfusion and remote ischemia caused by the 'watershed shift'	Neurosurg Rev2017Jul;40(3) 507-512	Original Article
384	Nakazawa, Toru, Omodaka, Kazuko, Kikawa, Tsutomu, et al.	眼科	Usefulness of axonal tract-dependent OCT macular sectors for evaluating structural change in normal-tension glaucoma.	PLoS One 2017 Oct 3;12(10):e0185649	Original Article
385	Ito S, Takahashi N, Li F, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Vitamin B3 Nicotinamide: A Promising Candidate for Treating Preeclampsia and Improving Fetal Growth	Tohoku J Exp Med2018 Mar;244(3):243-248	Original Article
386	Yamaguchi Y, Yamauchi K, Suzuki H, et al.	歯科顎口腔外科	Volumetric comparison of maxillofacial soft tissue morphology: computed tomography in the supine position versus three-dimensional optical scanning in the sitting position.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol 2018 Apr;125(4):351-357	Original Article
387	Mizuta K, Hoshijima H, Takeuchi R, et al.	歯科麻酔疼痛管理科	Weekend versus weekday admission and short-term mortality: A meta-analysis of 88 cohort studies including 56,934,649 participants	Medicine (Baltimore)2017 Apr;96(17):e6685	Original Article

計387件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	菅野 敦, 正宗 淳, 下瀬川徹, 他	消化器内科	【ERCPのエキスパートを目指して】トラブルシューティング ERCP後膵炎の予防と対処(解説/特集).	消化器内視鏡・29・946・951・2017	Original Article
2	糸 潔, 正宗 淳, 下瀬川徹.	消化器内科	【アルコールと消化器疾患】アルコールと膵炎・膵臓癌.	消化器・肝臓内科・2・216・221・2017	Original Article
3	正宗 淳, 下瀬川徹.	消化器内科	【ここまで進んだ膵炎・膵がんの診療】膵炎の診療の実際 遺伝性膵炎. 臨床と研究.	臨床と研究・94・680・684・2017	Original Article
4	濱田 晋, 正宗 淳, 下瀬川徹.	消化器内科	【ニュートリゲノミクスから斬る肝胆膵疾患】糖代謝 膵星細胞による膵癌細胞の代謝調節.	肝・胆・膵・75・47・52・2017	Original Article
5	正宗 淳, 糸 潔, 下瀬川徹他	消化器内科	【肝胆膵とアルコール -serendipityを目指して】アルコール性膵炎の遺伝的背景.	肝・胆・膵・76・129・135・2017	Original Article
6	正宗 淳, 中野絵里子, 下瀬川徹	消化器内科	【今日から役立つ肝胆膵疾患の遺伝子診断学】臨床応用中の遺伝子診断 遺伝性膵炎の遺伝子検査の実際.	肝・胆・膵・74・203・209・2017	Original Article
7	菅野 敦, 正宗 淳, 下瀬川徹, 他	消化器内科	【胆膵EUSを極める-私ならこうする(There is always a better way)-】診断 EUS-FNA 私はこうする(解説/特集).	胆と膵・38・973・981・2017	Original Article
8	正宗 淳, 下瀬川徹	消化器内科	【胆膵疾患診療の進歩】炎症性疾患 全国調査からみえてきた早期慢性膵炎診断基準の課題.	医学のあゆみ・261・41・45・2017	Original Article
9	菅野 敦, 正宗 淳, 下瀬川徹	消化器内科	【膵・胆道癌の早期診断を目指せ!】主膵管発生の上皮内癌 膵上皮内癌をいかに診断するか.	肝・胆・膵・75・589・594・2017	Original Article
10	正宗 淳, 滝川哲也, 濱田 晋, 下瀬川徹	消化器内科	【膵癌研究Cutting Edge】エクソソーム・マイクロRNAを介した膵星細胞-膵癌細胞間相互作用の制御.	肝・胆・膵・75・831・840・2017	Original Article
11	小池智幸, 正宗淳, 下瀬川徹, 他.	消化器内科	Barrett食道のフォローアップ.	消化器の臨床・20・449・457・2017	Original Article

12	遠藤英徳、富永悌二	脳神経外科	Bath plug closure for cerebrospinal fluid leakage by endoscopic endonasal approach: cooperative treatment with neurosurgeons and otolaryngologists	脳神経外科・45・12・1067・1073・2017	Original Article
13	菅野武, 小池智幸, 浅野直喜他	消化器内科	non-H. pylori, non-NSAID潰瘍(ストレス潰瘍).	日本ヘリコクター学会誌・19・2017	Review
14	清流正弘、井田裕人、山本照子他	矯正歯科	ガミースマイルを伴う上顎前突症例における歯科矯正用アンカースクリューの有用性	東北大学歯学雑誌・35巻、36巻合併号・35巻2号、36巻1号・98・108・2017	Case report
15	阿部倫明、石井正、伊藤貞嘉他	総合地域医療教育支援部	経口アルカリ性化剤により薬物的血液浄化される尿毒症物質の検討	日本腎臓学会誌・59・3・234・234・2017,04	Original Article
16	阿部倫明、高山真	総合地域医療教育支援部	気仙沼市立病院における震災前後の透析導入患者の推移について	日本医療・病院管理学会誌・54・124・124・2017.09	Original Article
17	小池智幸, 浅野直喜, 下瀬川徹他	消化器内科	ここまで内視鏡でわかる食道胃接合部の構造と機能.	消化器内視鏡・29・1632・1642・2017	Original Article
18	榊信廣, 上堂文也, 小池智幸	消化器内科	酸分泌機能障害の内視鏡診断.	消化器内視鏡・29・1857・1859・2017	Original Article
19	阿部倫明、黒田仁、高山真他	総合地域医療教育支援部	東北大学医学部医学科1年次の東日本大震災被災地見学実習の経過報告 宮城コースと奈美枝コースの比較	医学教育・48・123・123・2017,08	Original Article
20	依田信裕, 末永華子, 佐々木啓一	咬合回復科	バイオメカニクス・メカノバイオロジーの観点から欠損歯科補綴を考える	日本補綴歯科学会雑誌・9・291・296・2017	Original Article
21	岩崎将也、清流正弘、山本照子	矯正歯科	リングブラケットを用いた上顎歯列遠心移動における歯科矯正用アンカースクリューの有用性	東北大学歯学雑誌・35巻、36巻合併号・35巻2号、36巻1号・137・145・2017	Case report
22	角田洋一、遠藤克哉、木内喜孝	消化器内科	炎症性腸疾患における遺伝要因.	日本臨床・79・482・487・2017	Original Article
23	千葉宏文、黒羽正剛、下瀬川徹他	消化器内科	炎症性腸疾患に対する中心静脈栄養療法における末梢挿入型中心静脈カテーテルの有用性.	日本消化器病学会雑誌・114・1639・1648・2017	Original Article
24	小坂 萌	顎顔面口腔再建治療部	下顎欠損患者における顎義歯装着後の唾液中コルチゾール変化について検討を行った1例	顎顔面補綴・40・1・7・12・20170601	Original Article

25	大竹義雄、山内健介、高橋哲他	歯科顎口腔外科	下顎埋伏智歯抜去時に下顎下縁部までゼクリアバーが迷入した1例	口腔顎顔面外傷誌・16・37・41・2017	Original Article
26	中村琢也、中野創、下瀬川 徹他	消化器内科	肝障害を契機に遺伝子学的に診断され、肝生検で経時的な線維化の進行を確認できた骨髄性プロトポルフィリン症の1例.	肝臓・58・289・295・2017	Original Article
27	濱田 晋, 正宗 淳	消化器内科	急性膵炎診療ガイドライン-初期治療方針と重症度判定-	Medical Practice・34・1143・1146・2017	Original Article
28	青沼智、清流正弘、山本照子他	矯正歯科	骨格性Ⅲ級症例の矯正歯科再治療における歯科矯正用アンカースクリューの有用性	東北大学歯学雑誌・35巻、36巻合併号・35巻2号、36巻1号・109・117・2017	Case report
29	武田 賢、高井良尋、吉澤誠他	放射線治療科	最大リャプノフ指数推定に基づく呼吸性移動時系列の予測可能性の検討	東北医誌・129・1・47・47・201706	Original Article
30	菅野武、小池智幸、下瀬川徹他	消化器内科	災害時急性期ストレスと上部消化管.	心身医学・57・999・1004・2017	Review
31	木村桂介、小川紗衣香、北浦英樹他	矯正歯科	歯科矯正用Ni-Tiワイヤーに対する表面コーティングによる耐食性の解析	東北矯正歯科学会雑誌・25・1・9・15・2017	Original Article
32	吉澤光弘、北浦英樹、山本照子他	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューを用いて水平的な咬合平面の傾斜を改善した正中離開症例	東北大学歯学雑誌・35巻、36巻合併号・35巻2号、36巻1号・146・153・2017	Case report
33	井田裕人、清流正弘、山本照子	矯正歯科	歯列正中不一致の改善における歯科矯正用アンカースクリューの有用性	東北大学歯学雑誌・35巻、36巻合併号・35巻2号、36巻1号・127・136・2017	Case report
34	正宗 淳, 下瀬川 徹	消化器内科	実地医家が知っておくべき治療のポイント膵外分泌機能不全に対する消化酵素補充療法.	Medical Practice・34・1195・1199・2017	Original Article
35	宍戸敦子、猪狩和子、埴 総司他	咬合回復科	小型3軸力覚センサを利用したブラッシング動作の解析	日本歯科衛生学会雑誌・12・2・53・61・2018	Original Article
36	高橋 重文、川口奉洋、新妻 邦泰他	脳神経外科	食道癌放射線治療後に生じたcarotid blowout syndromeに対する血管内治療: 症例報告	Neurological Surgery 脳神経外科・45・9・791・798・2017	Original Article
37	勝美奈央、埴総司、野口由里香、佐々木啓一	咬合回復科	食品のテクスチャーが顎・舌筋活動に与える影響の筋電図学的検討	日本顎口腔機能学会雑誌・23・96・106・2017	Original Article

38	下田 元	歯科顎口腔外科	心移植待機患者に対する口腔外科処置時の全身管理経験	臨床麻酔・41・4・659・661・201704	Original Article
39	荒井陽一、鈴嶋よしみ、山田成幸他	肢体不自由リハビリテーション科	精巣腫瘍に特異的なQOL 質問票EORTC QLQ-TC26 日本語版の開発	日泌尿会誌・108・3・128・136・2017	Original Article
40	日原大貴、菅野彰剛、中里信和他	咬合回復科	大口蓋神経および舌神経電気刺激における大脳皮質反応の初期成分	日本生体磁気学会誌・30・1・170・171・2017	Original Article
41	菊田和宏、正宗淳、下瀬川徹他	消化器内科	超高齢者における病態の特性、治療の適応、治療の実際 急性・慢性膵炎.	肝・胆・膵・74・437・442・2017	Original Article
42	齋木佳克	心臓血管外科	定常流型左心補助人工心臓治療における消化管出血	医学のあゆみ・262・1・109・112・2017	Original Article
43	梅山広勝、武田睦、館正弘	形成外科	乳房縮小術後に再発をきたした若年性乳腺肥大症の1例	日本形成外科学会会誌・37・11・653・658・2017	Original Article
44	依田 信裕	咬合回復科	熱可塑性樹脂を使用した部分床義歯(ノンメタルクラスプデンチャー)を検証する.	仙歯会報・368・7・15・2017	Original Article
45	野上晋之介、千葉雅俊、高橋 哲他	歯科顎口腔外科	片側性習慣性顎関節脱臼に対して超音波切削器具を用いた関節結節削除術の治療経験	東北大学歯学雑誌・35・112・116・2017	Original Article
46	曾木 靖仁、井樋栄二、小澤 浩司他	整形外科	保存療法により歩行能力を維持できた高齢者不安定型骨脆弱性骨盤骨折の1例	東日本整形災害外科学会雑誌・29・2・158・162・2017	Original Article
47	菊田和宏、下瀬川徹.	消化器内科	慢性膵炎の治療と栄養管理のポイント.	Nutrition Care・10・120・123・2017	Original Article
48	齋木佳克	心臓血管外科	林立する学会の近未来	日本外科学会・118・4・385・42917	Original Article
49	菅野 敦、正宗淳、下瀬川徹他	消化器内科	膵癌早期診断の現状 膵癌早期診断研究会における多施設研究の結果をもとに.	膵臓・32・16・22・2017	Original Article
50	正宗 淳、佐々木洋治、中村雅史他	消化器内科	膵石症治療に関する全国実態調査.	膵臓・32・714・726・2017	Original Article

計50件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、有害事象への適切な対応と評価、臨床研究における品質管理と質保証、臨床研究におけるモニタリングと監査、臨床研究法の適用で変わる審査体制など。	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、大学院で学位を併行して取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。

平成 30 年度から開始した新専門医制度による専門医研修において、19 全基本領域の専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャリティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	93.83 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科(総合診療科)	准教授	24年	
下川 宏明	循環器内科	教授	39年	
青柳 哲史	感染症内科	講師	17年	
伊藤 貞嘉	腎臓・内分泌内科	教授	40年	
張替 秀郎	血液内科	教授	32年	
石井 智徳	リウマチ科	特任教授	30年	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	31年	
浅野 直喜	消化器内科	助教	19年	
沖永 壮治	老年内科	准教授	27年	
高山 真	漢方内科	准教授	22年	
福土 審	心療内科	教授	35年	
玉田 勉	呼吸器内科	講師	25年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	35年	
海野 倫明	外科(肝臓・胆のう・膵臓外科)	教授	33年	
内藤 剛	外科(胃腸外科)	特任教授	28年	
亀井 尚	外科(移植・食道・血管外科)	教授	27年	
石田 孝宣	外科(乳腺・内分泌外科)	教授	31年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	28年	
井樋 栄二	整形外科	教授	38年	
館 正弘	形成外科	教授	33年	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	30年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山内 正憲	麻酔科	教授	28年	
八重樫伸生	産婦人科	教授	35年	
伊藤 明宏	泌尿器科	准教授	28年	
青木 正志	神経内科	教授	26年	
齋藤 竜太	脳神経外科	助教	19年	
松本 和紀	精神科	科長	27年	
笹原 洋二	小児科	准教授	27年	
和田 基	小児外科	准教授	25年	
和田 基	小児腫瘍外科	准教授	25年	
菊地 克子	皮膚科	講師	30年	
西口 康二	眼科	准教授	21年	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	28年	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	28年	
上月 正博	リハビリテーション科	教授	37年	
高瀬 圭	放射線科	教授	29年	
入野田 崇	救急科	講師	23年	
渡辺 みか	病理診断科	准教授	28年	
山田 聡	歯科	教授	24年	
高橋 哲	歯科顎口腔外科	教授	35年	
福本 敏	小児歯科	教授	25年	
溝口 到	矯正歯科	教授	35年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために、「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数

平成29年4月～平成30年3月 期間中47回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 2,802人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護管理について人を育成しながら、組織運営に係わる資質向上のために、「看護実践能力（クリニカルラダー）」に加えて、「看護実践の組織化能力（マネジメントラダー）」システムを導入し、目標管理、人間関係能力、看護の質評価・改善、教育・研究、倫理の5項目について、経験年数別、職位別の教育プログラムを組んでいる。また、看護師長、副看護師長の研修では、更に安全・安心で質の高い看護の提供のために導入したPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム[®]）を推進するために研修を実施した。

・研修の期間・実施回数

平成29年5月～平成29年12月 期間中7回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 756人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 八重樫 伸生
管理担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史 ・ 医事課長 前田 光男

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部 電子カルテ	診療記録(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む)は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績 閲覧実績	総務課 総務課及び医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	地域医療連携課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	地域医療連携課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	地域医療連携課
			患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計し、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
			年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		院内感染対策のための委員会の開催状況		地域医療連携課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		地域医療連携課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		地域医療連携課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	電子ファイルで保管(医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書)
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室	

		保管場所	管理方法		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況			
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室		毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課		年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報室		
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課		
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 経営管理課		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 医薬品安全管理室		
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課		
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	地域医療連携課		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	地域医療連携課		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	地域医療連携課		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	地域医療連携課		
		職員研修の実施状況	地域医療連携課		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	地域医療連携課		
		管理者が有する権限に関する状況	総務課内		年度ごとに紙媒体を1つにまとめ、簿冊として保管している。
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課内		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課内				

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 八重樫 伸生	
閲覧担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史 ・ 医事課長 前田 光男	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要		
閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <p>(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。</p> <p>(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的に開催する。</p> <p>(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。</p> <p>(4) 上記3つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。</p> <p>① 医療安全管理責任者 本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。</p> <p>② 医療安全推進委員会 本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。 イ 分類別、職種別、レベル別の月間分析結果 ロ 分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果 ハ レベル3 b以上の事案についての詳細とその改善状況 ニ 警鐘的事例に関すること ホ その他、重大事例に関すること</p> <p>③ 医療安全推進室 医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。</p> <p>④ 専門部会 医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。 イ マニュアル作成部会 ロ 標準化推進部会 ハ 広報・教育部会 ニ インシデント審議部会</p> <p>⑤ リスクマネージャー会議 医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。</p> <p>⑥ 医薬品安全管理室 本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑦ 医療機器安全管理室 本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑧ インシデント対応委員会 本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院と</p>	

- しての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。
- ⑨ 医療事故調査委員会
医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた医療安全推進委員会委員長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。
- ⑩ 特別医療事故調査委員会
病院長は、医療法第6条の10第1項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 開催状況：年 12回
- ・ 活動の主な内容：
医療安全推進委員会
以下の内容についての審議及び報告を行う。
 - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
 - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
 - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
 - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
 - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
 - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
 - (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
 - (8) 前項の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
 - (9) 前項の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
 - (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
 - (11) 前項に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
 - (12) その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年37回

- ・ 研修の内容 (すべて)：
 - 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会 (新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全必修コース)
 - 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習 (年5回)
 - ブラッシュアップ研修 (年4回)
 - 歯科部門の医療安全研修 (年2回)
 - 医療安全管理全般に関する講演会
 - 医療倫理講演会
 - 院内救急勉強会

- せん妄対策勉強会
- その他医療安全管理に関する研修会（随時）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。
 - 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。
 - 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。
 - 毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っていること。
 - 毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRM3名が、毎週、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	④・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策に関する基本的な考え方 ●感染対策のための委員会 ●感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ●感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ●院内における感染症発生時の対応に関する基本方針 ●患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ●その他の感染対策の推進のために必要な指針 <p>『東北大学病院における感染対策の指針』 医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策ならびに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。</p> <p>(1) 感染対策のための委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> ①感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。 ②感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染予防対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。 ③当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。 ④感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT (Infection Control Team) を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。 ⑤抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST (Antimicrobial Stewardship Team) を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。 <p>(2) 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な立案・実践を行う。 ②感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。 ③ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。 <p>(3) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。 ②感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。 ③感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合においては、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。 ④感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。 <p>(4) 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。 ②患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。 ③当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。 ④死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指 	

示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所に届出をし、報告を行う。
 ⑤ 集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。又必要に応じて、外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。

② 院内感染対策のための委員会の開催状況

年12回

- ・ 活動の主な内容：
 - 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。
 - 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。
 - 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。
 - 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。
 - 医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。
 - 感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況

年41回

- ・ 研修の内容（すべて）：
 - 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象感染対策必修コース）
 - 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するインターネット研修会）
 - 感染管理全般に関する定期講演会（年7回）
 - 歯科部門の感染対策研修（年2回）
 - その他感染管理に関する研修会（随時）

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

「感染対策の指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。

また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の4職種が、毎週、火曜日に全病棟30部署のラウンドを実施し、金曜日には外来・中央診療部門をラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年27回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 ・ 医薬品の管理に関する業務 ・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 ・ 患者に対する与薬 ・ 未承認等医薬品の使用に関すること 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)： <ul style="list-style-type: none"> 内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品 (全238品目, 平成30年3月31日現在) や、薬剤師が把握した未承認等医薬品 (累積416件, 平成30年9月12日現在) の情報を管理している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑義照会事例、副作用報告事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知 ・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟 (月1回) 及び外来診療科 (2ヶ月に1回) の巡視を実施 ・ 医薬品安全管理室巡視を年2回実施 ・ 未承認等医薬品を使用した診療科に対し未承認等医薬品使用状況報告書の提出を依頼し、使用状況を把握 (H29年度分はH30年6月実施) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無										
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年45回										
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施 ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項 ○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項 											
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況											
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>保守点検の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工心肺装置及び補助循環装置</td> <td rowspan="7">始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器</td> </tr> <tr> <td>血液浄化装置</td> </tr> <tr> <td>除細動装置</td> </tr> <tr> <td>閉鎖式保育器</td> </tr> <tr> <td>診療用高エネルギー放射線発生装置</td> </tr> <tr> <td>診療用放射線照射装置</td> </tr> </tbody> </table>	機器	保守点検の主な内容	人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検	人工呼吸器	血液浄化装置	除細動装置	閉鎖式保育器	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用放射線照射装置	
機器	保守点検の主な内容										
人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検										
人工呼吸器											
血液浄化装置											
除細動装置											
閉鎖式保育器											
診療用高エネルギー放射線発生装置											
診療用放射線照射装置											
<p>上記保守点検について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録 ② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し 											
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況											
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○末梢動脈瘤治療のための未承認ステント (MF M) の使用 2件 ○静脈狭窄治療のための腸骨動脈用ステント/血管用ステントの適用外使用 2件 ○砕石破碎のための電極放電式破碎装置の適用外使用 30件 ○術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用 6件 ○上下肢麻痺を治療するためのバスリーダーの適用外使用 12件 ○上行大動脈-冠動脈バイパス吻合部仮性瘤塞栓術に際してのアンブラッツバスキューラプラグの適用外使用 1件 ○大動脈瘤治療のためのMF Mの未承認使用 1件 ○同種大動脈基部グラフト劣化による大動脈弁狭窄症に対するTAVIの適用外使用 1件 ○歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントの適用外使用 1件 <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未承認等医療機器を使用した診療に関しての届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。 ○添付文書等の管理 ○医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告 ○毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発 											

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副院長が、医療安全管理部門(医療安全推進室)、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p>	

- ・ 通常診療において原則として説明すべき事項
- ・ 説明は原則として主治医が行うこと
- ・ 説明は原則として患者本人に行うこと
- ・ 説明の方法
- ・ 説明の記録方法

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

④・無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録に必要な事項の記載があるか、記載内容に齟齬がないか等確認の上、各診療科において記載の質の向上がなされるよう指導している。

なお、チェックシートを使用して、医師経過記録、入院診療計画書、インフォームド・コンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約の評価を実施している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

④・無

・ 所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（1）名

うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・ 活動の主な内容：

◎医療安全推進室

- (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。
- (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。
- (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。
- (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。
- (5) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施、その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。
- (6) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。
- (7) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
- (8) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。

なお、手術オカレンスと血管造影・心カテの造影剤アレルギー及び被ばく量について、医療安全推進室がモニタリングを行い、毎月の状況を医療安全推進委員会に報告している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 7 件）、及び許可件数（ 7 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 高難度新規医療技術担当部門の設置について
 - ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
 - ・ 体制に変更があった場合の確認について
 - ・ 高難度新規医療技術評価委員会について
 - ・ 報告及び通知について
 - ・ 実施状況等の確認について
 - ・ センター長及び病院長への報告について
 - ・ 病院長からの停止命令について
 - ・ 審査資料等の保管について
 - ・ 秘密の保持について
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
 - ・ 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
 - ・ 未承認新規医薬品評価委員会について
 - ・ 報告及び通知について
 - ・ 使用状況等の確認について
 - ・ センター長及び病院長への報告について
 - ・ 審査資料等の保管について

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 658 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 78 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡報告については、毎月、医療安全推進室が死亡の原因や死亡と手術との関連性の検証結果、解剖や Ai の結果等について医療安全推進委員会に報告している。

3 b 以上の事例についても、毎月、医療安全推室が内容を検証し、インシデントの原因や対策等の詳細を医療安全推進委員会に報告すると共に、必要に応じて医療安全推進委員会でも改善策の検討を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り ((病院名：高知大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：神戸大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況

○ 高知大学医学部附属病院へ

- (1) 限られた医療資源の中で、医療安全業務に積極的に取り組まれている。高難度新規医療技術についても各診療科に対する意識付けがしっかりとされていた。
- (2) 重要なインシデントについてはオカレンス報告を実施されており、大変参考になる取り組みである。
- (3) 医療安全体制については、医師が専任であるとのことだが、医療安全管理責任者である副病院長が医療安全業務に積極的に取り組んでおり、しっかりとした体制で対応されていることを確認した。
- (4) 医療安全管理部がアクティブにフットワーク良く活動しており、また、職員に対しても伝わりやすいようにデータ分析等がなされているために、各職員の医療安全に対する意識が高いことが伺われた。
- (5) 高難度新規医療技術については、審査件数も多く、個別の症例についてのモニタリングを行う等、精力的に取り組まれていたが、導入決定までのプロセスが外部からは分かりづらいのではないかと感じた。高難度新規医療技術や未承認薬等を用いた医療の導入においては、各担当部門の長が委員会の意見を踏まえて決定を行うこととされているので、将来的には、各部門で判断を行う方向でのご検討もお願いしたい。
- (6) 薬剤師が病棟においてもセントラルにおいてもしっかりと業務を行っており、特に病棟薬剤師がカンファレンスに出席することによって、チェック機能が働いている点が素晴らしい。

- (7) 未承認薬等の医薬品の使用の情報収集について、新規については、審査を行う体制が整備されていたので、今後は、導入済みの医薬品の使用状況について、出来る限り把握を行われるよう取り組まれることが期待される。

○神戸大学医学部附属病院から

- (1) 病院長のトップダウンが可能な、よくガバナンスが堅持されている医療安全管理体制である。
- (2) 携帯版「医療安全管理・感染対策マニュアル」は、見やすく携帯し易いサイズで作成されている点が評価できる。
- (3) 医薬品と高難度医療の審査対象案件の区別が明確になされ、実際に良く機能している。
- (4) 医療安全に関する必修講習の出席率は97%であるため、100%になるように努力願いたい。
- (5) 手術部のオカレンス報告が41項目で集積されており、多くのクリニカル・インジケーターを取っている点が優れている。
- (6) 高難度新規医療技術の審査担当部署である手術部運営委員会の委員構成が、看護部等のコメントカルからの委員が少なく、医師中心となっている。多職種の委員を加え、技術のみの審査だけではなく、術後の管理体制も含めた総合的な医療安全管理体制を審査されるよう検討願いたい。
- (7) 医療安全管理部門の人員配置について、看護師及び事務員の配置が少なく、補充を検討いただきたい。
- (8) 院内製剤について、3月までに審査のルール化が既に図られていた点は優れている。
- (9) 未承認と適用外医薬品の審査についても研究と臨床に分けて整理されている点は評価できる。
- (10) 夜間の抗がん剤の調剤に関して、薬剤師が関与している点、経口抗がん剤の確認書を作成し、院外薬局と情報共有されている点は、優れている。
- (11) 残薬の返品手順（書）が作成されていない点は、是非整備願いたい。
- (12) 抗がん剤のオーダーがレジメンオーダー以外からもできる。薬剤師の管理がしっかりできてはいるが、万が一の事故も考えられることから、レジメンオーダー以外からのオーダーはできないようにする方が良い。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・医療安全研修、ブラッシュアップ研修、新規採用者オリエンテーションでの研修、医療安全講演会での警鐘事例研修等を実施しており、e-learningの活用も行っている。
- ・平成29年9月22日に特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。なお、毎年実施しているトリビア編（マークシートによる回答）によってテストを実施することにより学習効果を測定している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の平成29年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講済み

管理者:平成29年11月14日～15日

医療安全管理責任者:平成30年2月21日～22日

医薬品安全管理責任者:平成29年11月14日～15日

医療機器安全管理責任者:平成30年3月13日～14日

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 一 医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。 二 東北大学病院（以下「本院」という。）の管理運営上必要な資質及び能力 本院又は本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。 三 本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 無 ） ・ 公表の方法 <p>平成30年9月26日東北大学役員会にて「東北大学病院長の資質及び能力に関する基準」を決定したところである。当該基準の公表については、今後、websiteで行う予定である。</p>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 無 ） ・ 公表の方法 <p>(*) 東北大学病院においては、平成22年度から副学長（病院担当）選考会議を大学本部に設置して、病院長の選考を行ってきている。委員構成としては以下の表のとおりである。 前年度平成29年度の選考に当たっては、選考時期が平成30年5月30日付医政発0530第1号の通達前であったため、当該通達に拠らない選考方法となっている。 次回の病院管理者選考については、平成30年5月30日付医政発0530第1号に則るべく各種学内規程、選考委員会の人選等を進めている。</p>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
里見 進	東北大学総長	○		有
植木 俊哉	東北大学理事			有

花輪 公雄	東北大学理事			有
伊藤 貞嘉	東北大学理事			有
兵頭 英治	東北大学副学長			有
青木 孝文	東北大学副学長			有
林 富	宮城県立こども病院理事長			有
近藤 丘	東北医科薬科大学病院長			有
五十嵐和彦	東北大学医学系研究科長			有
佐々木啓一	東北大学歯学研究科長			有
川島 隆太	東北大学加齢医学研究科長			有
大野 英男	東北大学電気通信研究所長			有

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項。 ・審議の概要の従業者への周知状況 合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 無 ） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 無 ） 	
合議体の委員名簿	

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
八重樫 伸 生	○	医師	病院長
高 橋 哲		歯科医師	総括副病院長
張 替 秀 郎		医師	副病院長
石 岡 千加史		医師	副病院長
富 永 悌 二		医師	副病院長
福 本 敏		歯科医師	副病院長
江 草 宏		歯科医師	副病院長
藤 森 研 司		医師	病院長特別補佐
高 野 忠 夫		医師	病院長特別補佐
門 間 典 子		看護師	病院長特別補佐
下 川 宏 明		医師	循環器内科長
伊 藤 貞 嘉		医師	腎・高血圧・内分泌科長
片 桐 秀 樹		医師	糖尿病代謝科長
正 宗 淳		医師	消化器内科長
荒 井 啓 行		医師	加齢・老年病科長

福 土 審		医師	心療内科長
一ノ瀬 正 和		医師	呼吸器内科長
海 野 倫 明		医師	総合外科長
内 藤 剛		医師	総合外科長
亀 井 尚		医師	総合外科長
石 田 孝 宣		医師	総合外科長
齋 木 佳 克		医師	心臓血管外科長
井 樋 栄 二		医師	整形外科長
館 正 弘		医師	形成外科長
山 内 正 憲		医師	麻酔科長
井 上 彰		医師	緩和医療科長
岡 田 克 典		医師	呼吸器外科長
久志本 成 樹		医師	救急科長
島 田 宗 昭		医師	婦人科長
齋 藤 昌 利		医師	産科長
伊 藤 明 宏		医師	泌尿器科長
青 木 正 志		医師	神経内科長
松 本 和 紀		医師	精神科長
呉 繁 夫		医師	小児科長
青 木 洋 子		医師	遺伝科長
仁 尾 正 記		医師	小児外科長
坂 本 修		医師	小児腫瘍科長
相 場 節 也		医師	皮膚科長
中 澤 徹		医師	眼科長
香 取 幸 夫		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科長
出 江 紳 一		医師	肢体不自由リハビリテーション科長
中 里 信 和		医師	てんかん科長
上 月 正 博		医師	内部障害リハビリテーション科長
鈴 木 匡 子		医師	高次脳機能障害科長
神 宮 啓 一		医師	放射線治療科長
高 瀬 圭		医師	放射線診断科長

小 関 健 由		歯科医師	予防歯科長
溝 口 到		歯科医師	矯正歯科長
五十嵐 薫		歯科医師	咬合機能成育室長
齋 藤 正 寛		歯科医師	保存修復科長
佐々木 啓 一		歯科医師	咬合回復科長
山 田 聡		歯科医師	歯周病科長
賀 来 満 夫		医師	検査部長
江 島 豊		医師	材料部長
笹 野 公 伸		医師	病理部長
石 井 正		医師	総合地域医療教育支援部長
宮 崎 真理子		医師	血液浄化療法部長
中 山 雅 晴		医師	メディカル IT センター部長
菊 池 雅 彦		歯科医師	総合歯科診療部長
服 部 佳 功		歯科医師	高齢者歯科治療部長
小 山 重 人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部
眞 野 成 康		薬剤師	薬剤部長
鈴 木 由 美		看護師	看護部長
梁 川 功		放射線技師	診療技術部長
中 野 正 昭		事務職員	事務部長
飯久保 正 弘		歯科医師	周術期口腔支援センター長
加 藤 裕 光		歯科技工士	診療技術部歯科技術部門長
佐 藤 智 昭		歯科医師	総括副病院長特別補佐
黒 澤 一		医師	安全衛生管理室長
藤 盛 啓 成		医師	医療安全推進室長
徳 田 浩 一		医師	感染管理室長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（一部有）
- ・ 公表の方法

病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。

病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副院長及び副院長に関する申合せ」、「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。

- ・ 規程の主な内容

「東北大学会計規程」においては、部局の長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。

「東北大学病院の総括副院長及び副院長に関する申合せ」では、病院長が総括副院長及び副院長候補者を指名し、総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。「東北大学病院専門別診療科内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は、病院長が任命することを定めている。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

本院では、歯科部門の責任者として総括副院長を1名置き、医科部門の副院長3名、歯科部門の副院長を2名置いている。また、現在、病院長特別補佐を23名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、次世代の病院運営を担う層に対して「トップセミナー」も実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回（1回目：平成29年7月6日/2回目：平成30年1月15日）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> イ 医療安全管理に係る体制 ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況 ハ 医療安全推進室の業務の状況 ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況 ホ その他医療安全管理に関して必要な事項 ・ 必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。 ・ その結果を公表すること。 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・無	2
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
東北大学の内部に「監査室」が設置されており、この部署に法令適合の確認をさせるよう調整をしている。どのように確認作業を進めるかについての具体的内容は、今後検討していく。
- ・ 専門部署の設置の有無（ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 無 ）
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。 この会議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。 ・ 会議体の実施状況（年2回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有）（年2回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（無） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：東北大学病院運営諮問会議			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
林 富	医療法人社団スズキ病院 スズキ記念病院理事長	○	無
近藤 丘	東北医科薬科大学病院・院長		有
朴澤 泰治	学校法人朴沢学園理事長		無
一力 雅彦	河北新報社代表取締役社長		無
大山 健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長		無
田苗 博	東北電力株式会社取締役副社長		無
小林 英文	株式会社七十七銀行取締役頭取		無
深澤 ひとみ	ブルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社 執行役員		無
伊藤 直之	伊藤・根本法律事務所弁護士		有

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年0件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)
- ・ 周知の方法
 窓口が設置された平成29年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。
 また、毎年4月当初に開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成 27 年 2 月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。 また、病院広報誌の刊行を定期的で開催するほか、河北新報に「気になる症状すっきり診断」と題した連載を掲載し、本院の診療に関する取り組みについて紹介している。 さらに、これまで仙台市内で開催していた市民公開講座を刷新し、宮城県内の地域に出向いて最新の医療を分かりやすく紹介する「つながる健康講座」を開催することとしている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し、効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を整備している。 また、平成 29 年度には個別化医療センターを設置し、複数診療科体制で、血液検体や組織検体を採取し、がんゲノム医療をはじめとする未来型医療を邁進している。	